

Ⅱ 施策評価・進捗管理調書

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
子ども未来課	服部 智昭

重点目標	1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します
基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 就学前教育の環境整備	①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。
2. 保幼小の連携強化	①保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、認定こども園及び小学校で実施します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市保育所再編等推進計画	将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定	平成23年3月	平成23年度～平成27年度	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定(平成29年度～平成33年度)
京丹後市子ども・子育て支援計画	市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定	平成27年3月	平成27年度～平成31年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。						
② 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。						
③ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。						
1	保育所管理運営事業	子ども未来課	145,074	211,907	150,372	縮小
施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。						
2	保育業務委託事業	子ども未来課	625,276	528,526	548,741	現状維持
保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。						
3	保育所保育事業等補助金	子ども未来課	29,918	32,805	49,774	現状維持
私立保育所が事業を円滑に実施するための体制づくり等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。						
4	子育て支援センター事業	子ども未来課	12,257	13,967	17,980	拡大
保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。						
5	保育支援事業	子ども未来課		3,123	3,370	現状維持
保護者が疾病等で養育することが一時的に困難になった場合に当該児童を乳児院等に入所させ必要な保護を行う。また、病気等の回復期にあり集団保育や登校が困難な児童を保育施設等で看護する。						
	子育て短期支援事業	子ども未来課	684			統合(整理)
保護者が就労や疾病等の理由により家庭で養育することが一時的に困難となった場合、当該児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。						
	病後児保育事業	子ども未来課	2,415			統合(整理)
病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。						

6	保育所一般経費	子ども未来課	479,749			統合(整理)
保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。						
7	園児等健康管理事業	子ども未来課	274	53		終了・廃止
幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。						
8	幼稚園スクールサポーター等設置事業	子ども未来課	36,545	5,574		終了・廃止
幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。						
9	幼稚園管理運営事業	子ども未来課	13,833	2,623		終了・廃止
適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実に図る。						
10	幼稚園施設管理事業	子ども未来課	30,819	1,061		終了・廃止
幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。						
11	教育利用管理運営事業	子ども未来課		43,745	75,680	現状維持
認定こども園(1号認定児)の運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や臨時職員の雇用を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。						
12	保育利用管理運営事業	子ども未来課		484,751	578,047	現状維持
認定こども園(2号・3号認定児)の運営が円滑に行えるよう、職員研修・児童の健康管理や臨時職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務を実施する。また、私立認定こども園に対し施設給付を行うとともに、市外の認定こども園を利用した際の施設給付を行う。						
2. 保幼小の連携強化			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)						
① 保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。						
13	小中一貫教育推進事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14	保育所整備事業	子ども未来課		87,163		休止
平成31年度開設予定の網野こども園への移行をスムーズに行うため、網野みなみ保育所の環境整備工事を実施する。また、統廃合により空き施設となっている老朽化した旧保育所施設について2施設を解体する。						
15	保育所施設管理事業	子ども未来課	-	8,951	12,037	現状維持
適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。						
16	認定こども園施設管理事業	子ども未来課		7,877	39,114	現状維持
適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。						
17	ファミリーサポートセンター事業	子ども未来課	65	67	56	現状維持
子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。						
18	子ども未来まちづくり審議会事業	子ども未来課	66	38	184	現状維持
すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画等、特定教育・保育施設の利用定員の設定を審議する。						
計			1,376,975	1,432,231	1,475,355	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。					
	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値	
主な目標指標	幼稚園の数	園	4 H25	1 H30	6	R6
	病後児保育の実施事業所数	事業所	0 H25	1 H30	1	R6
	子育て支援センター数	か所	7 H25	8 H30	8	R6
	一時預かり実施事業所数	事業所	6 H25	10 H30	9	R6
	保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3 H25	3 H30	5	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《幼稚園の数》 第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、令和3年度(平成33年度)までの5ヶ年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めている。6町すべての町域において認定こども園に移行することができた。</p> <p>《病後児保育の実施事業所数》 平成27年度の開設から4年目を迎え、徐々に利用が増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。</p> <p>《子育て支援センター数》 市内8か所で開設しており、保健師、助産師など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を定めるという調整をせざるを得ない点が課題となっている。</p> <p>《一時預かり実施事業所数》 平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。</p> <p>《保育所・幼稚園職員の全体研修数》 計画どおり全体研修を実施することができた。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあるため、これ以外にも機会を捉えて研修を実施していく必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	保育所の利用において、0～2歳の低年齢児の利用が増える傾向にあり、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、平成27年3月に策定した京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る。なお、旧6町域すべてに設置していた幼稚園は、平成30年度に5施設、平成31年度に1施設を「認定こども園」に移行運営するため、「幼稚園の数」について目標指標及び目標値の見直しを行う。
	2	「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取組みの充実を図る。

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	05保育所事業	決算書	P.94	
細事業名	01 保育所管理運営事業						
総合計画	25 子育て支援の総合的な推進						
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率	
211,907千円		213,729千円	1,822千円			99.1%	
目的	児童の健康管理や臨時職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。						
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理実施経費 3,594千円 医師報酬、費用弁償（嘱託医師）、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等 119,141千円 ○臨時職員の雇用関連経費 476千円 共済費（社会保険料等）、賃金 ○職員研修実施経費 31,818千円 報償費（研修講師謝金）、職員旅費、研修参加負担金等 ○給食調理業務委託 11,040千円 調理業務委託料 ○保育所送迎車両関連経費 2,704千円 業務委託経費、修理費、重量税等 ○広域入所関連経費 24,195千円 業務委託経費 ○入所児童の保育に要する経費 16,998千円 保育材料費、賄材料費 ○保育所運営に要する経費 1,941千円 光熱水費、通信運搬費、備品購入費、廃家電処理、ピアノ調律等 ○その他必要経費 共通物品（コピー用紙等の事務消耗品）、印刷製本費（料金収納用等） 日本スポーツ振興センター負担金、保育協会負担金等 						
主な財源	<p>（参考）京丹後市内の保育所（H31.3.31現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立（公設公営）：網野みなみ、浅茂川、島津、たちばな、宇川、久美浜保育所 ・公立（公設民営）：大宮北保育所 ・私立：あみの夢保育園、こうりゅう虹保育園、ゆうかり乳児保育所 						
主な財源	負担金	保育料現年度分	41,779千円				
	国・国庫	子どものための教育・保育給付費負担金	643千円				
	府・府庫	子どものための教育・保育給付費負担金	6,937千円				
	諸収入	保育所職員給食費、保育所広域入所児童委託保育料（ほか）	17,452千円				
	寄附金・市債	ふるさと応援寄附金、過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	7,900千円				
成果・課題	職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより円滑な保育所運営を行うことができた。						
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課						

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	05保育所事業	決算書	P.94	
細事業名	02 保育業務委託事業						
総合計画	25 子育て支援の総合的な推進						
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率	
528,526千円		529,617千円	1,091千円			99.7%	
目的	保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。						
主要な事務・事業の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月以上児から2歳児まで、「ゆうかり子ども園」「あみの夢保育園」「こうりゅう虹保育園」に6か月以上児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・産休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳児保育委託料 65,072千円 ・ゆうかり乳児保育所 <ul style="list-style-type: none"> 定員30人 平成31年3月末未入所児童数：34人 ○公立保育所運営委託料 216,930千円 ・大宮北保育所 <ul style="list-style-type: none"> 定員230人 平成31年3月末未入所児童数：227人 ○保育所運営委託料 246,524千円 ・あみの夢保育園 <ul style="list-style-type: none"> 定員90人 平成31年3月末未入園児童数：103人 ・こうりゅう虹保育園 <ul style="list-style-type: none"> 定員120人 平成31年3月末未入園児童数：145人 						
主な財源	負担金	保育料現年度分	90,816千円				
	国・国庫	子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	117,393千円				
	府・府庫	子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	53,705千円				
	諸収入	一時預かり事業利用料、延長保育料	748千円				
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	40,000千円				
成果・課題	保育を委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者の保育ニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。						
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課						

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	05保育所事業	決算書	P.94
細事業名	03 保育所保育事業等補助金					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率			(参考)当初予算額
32,805千円	33,150千円	345千円	98.9%			34,386千円
目的	民間保育所が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○私立保育所保育事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり乳児保育所 25,547千円 ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代等) 300千円 ・あみの夢保育園 3,273千円 ・一時預かり事業(人件費、光熱水費、おやつ代等) 1,284千円 ・障害児保育事業(加配保育士の人件費) 344千円 ・障害児保育事業(加配職員の人件費) 1,645千円 ・こうりゅう虹保育園 9,684千円 ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代等) 1,342千円 ・一時預かり事業(配置保育士の人件費) 110千円 ・障害児保育事業(加配職員の人件費) 5,964千円 ・通所バス運行費補助金(189千円×12月) 2,268千円 ・ゆうかり子ども園 12,290千円 ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代等) 3,356千円 ・一時預かり事業(配置保育士の人件費) 706千円 ・障害児保育事業(加配職員の人件費) 8,228千円 <p>○私立保育所施設整備事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり子ども園 7,193千円 <p>○保育対策総合支援事業費補助金 65千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮北保育所 落下事故防止対策事業(児童遊具用安全マット更新) 					
主な財源	<p>国補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 2,563千円</p> <p>国補 保育所等整備交付金(5.5/10) 4,945千円</p> <p>府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 2,563千円</p> <p>府補 京都府保育対策総合支援事業費補助金(1/2) 43千円</p>					
成果・課題	<p>○延長保育や一時預かりなどを推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。</p> <p>○施設修繕や保育備品購入及び加配職員の配置を行い、保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応した。</p>					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	03子育て支援わが事業	決算書	P.94																														
細事業名	01 子育て支援わが事業																																			
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進																																			
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率			(参考)当初予算額																														
13,967千円	14,292千円	325千円	97.7%			15,195千円																														
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。																																			
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園・こども園入園前、保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士の間での交流の場として、8か所の支援センターを設置すること、地域に密着した子育て支援を推進した。</p> <p>11月5日に開催した子育て講演会は、保護者71人、子ども84人、計155人の参加があった。また、旧浅茂川保育所において、平成31年4月から網野地域子育て支援センターを開設するための準備を行った。</p>																																			
主な財源	<p>○支援センター利用数</p> <table border="1"> <tr> <th>地域子育て支援センター</th> <th>延べ利用人数</th> <th>保護者</th> </tr> <tr> <td>陣山</td> <td>1,938人</td> <td>1,719人</td> </tr> <tr> <td>大宮北</td> <td>1,770人</td> <td>1,494人</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>995人</td> <td>839人</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>1,731人</td> <td>1,603人</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>1,012人</td> <td>973人</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,063人</td> <td>813人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山</td> <td>1,457人</td> <td>1,051人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう</td> <td>1,202人</td> <td>1,027人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,163人</td> <td>9,519人</td> </tr> </table> <p>○臨時職員賃金及び共済費 9,509千円</p> <p>○親子体操教室講師謝礼 152千円</p> <p>○通信運搬費(電話代) 211千円</p> <p>○その他経費(消耗品費等) 510千円</p> <p>○支援センター運営委託料(こうりゅう虹保育園) 2,256千円</p> <p>○網野地域子育て支援センター開設準備経費(IPJ設置、保育備品等) 1,329千円</p> <p>国補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 4,654千円</p> <p>府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 4,654千円</p>					地域子育て支援センター	延べ利用人数	保護者	陣山	1,938人	1,719人	大宮北	1,770人	1,494人	大宮南	995人	839人	網野	1,731人	1,603人	丹後	1,012人	973人	弥栄	1,063人	813人	かぶと山	1,457人	1,051人	こうりゅう	1,202人	1,027人	合計	11,163人	9,519人	
地域子育て支援センター	延べ利用人数	保護者																																		
陣山	1,938人	1,719人																																		
大宮北	1,770人	1,494人																																		
大宮南	995人	839人																																		
網野	1,731人	1,603人																																		
丹後	1,012人	973人																																		
弥栄	1,063人	813人																																		
かぶと山	1,457人	1,051人																																		
こうりゅう	1,202人	1,027人																																		
合計	11,163人	9,519人																																		
成果・課題	<p>保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。</p>																																			
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	04保育支援事業	決算書	P.94
細事業名	01 保育支援事業					
総合計画	25 子育て支援の総合的な推進					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	3,123千円	3,155千円	32千円	98.9%	3,451千円	
目的	<p>保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や、病気の回復期にある児童を一時的に保育し、児童の福祉の向上を図る。</p> <p>保護者の疾病や就労などの理由により、養育することが一時的に困難となった家庭の児童(小学4年生まで)及び、病気の回復期にあり、集団保育や登校が困難な児童(小学6年生まで)を一時的に保育・看護し、保護者の子育てと就労を支援する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託した。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て短期支援事業委託料 (延べ利用児童数等) <ul style="list-style-type: none"> ・0、1歳児 3,123千円 ・2歳児以上 682千円 生活保護・母子父子非課税世帯 (5人) 非課税・母子父子課税世帯 (17人) その他の世帯 (18人) <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育事業委託料 (利用実績) 2,441千円 申請件数 16件 (利用予定日 17日) 利用実績 15件 (利用日数 16日) 申請取下げ 1件 <p>取下げ理由：児童の病気が回復したため</p>					
主な財源	<p>国補 1,040千円</p> <p>府補 子ども・子育て支援交付金 (1/3) 1,040千円</p> <p>子ども・子育て支援交付金 (1/3)</p>					
成果・課題	<p>○保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校等行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童とその家庭の福利向上につなげることができた。</p> <p>○病気の回復期にある児童の子育てと保護者の就労の両方を支援することができた。</p> <p>○事業の円滑な利用のため、家庭ことも相談室との連携が必要なほか、制度の周知が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	04園児等健康管理事業	決算書	P.142
細事業名	01 園児等健康管理事業					
総合計画	25 子育て支援の総合的な推進					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	53千円	65千円	12千円	81.5%	65千円	
目的	<p>学校保健安全法に基づき、専門医による園児の健康診断、保健衛生、その他の保健、安全に関する事業を実施し、園児の健康の保持増進を図る。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 (ハンドソープ等) 27千円 医薬材料費 (消毒液) 24千円 3千円 <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児検診委託料 (尿検査、眼科検診、耳鼻科検診) 22千円 <p>○使用料及び賃借料</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車借上料 (眼科検診分) 4千円 					
主な財源						
成果・課題	<p>学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりに努めた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業	決算書	P.142
細事業名	02 幼稚園ｽｸｰﾙ林'ｰﾀﾞ等設置事業					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					(参考)当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率			
	5,574千円	5,654千円	80千円	98.5%	7,448千円	
目的	介護、預かり保育職員及び作業員を配置し、円滑な幼稚園運営を実施する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○介護職員・預かり保育職員（臨時職員） 介護職員 2人 預かり保育職員 4人 網野幼稚園において、障害等により特別な支援を要する園児の個々の指導計画を作成し、障害に応じた指導を計画的・継続的に実施するため、介護職員を配置した。 また、預かり保育のための職員を配置することにより、14時以降の保育についても適正な体制を整えた。＊預かり保育利用実績：82人（実人数）</p> <p>○作業員（臨時職員） 1人 施設の維持管理、給食の配膳等の業務のため、網野幼稚園に作業員を配置した。</p> <p>・臨時職員賃金 5,037千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料） 537千円</p>					
主な財源	幼稚園保育料 第3子以降保育料無償化事業費補助金				1,219千円 204千円	
成果・課題	特別な支援を必要とする園児を視野に入れた職員配置を行うとともに、預かり保育のニーズに対応できる職員配置を行うことで、円滑な幼稚園運営を行うことができた。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業	決算書	P.142
細事業名	01 幼稚園管理運営事業					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					(参考)当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率			
	2,623千円	2,810千円	187千円	93.3%	4,430千円	
目的	幼稚園運営を円滑に行い、就学前教育の充実を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○職員研修実施経費 202千円 職員旅費、バス運転委託料、有料道路通行料等</p> <p>○幼稚園教諭免許更新経費（受講実人数：18人） 1,014千円 職員旅費 474千円 幼稚園免許状更新講習受講料 487千円 幼稚園教諭免許更新負担金 53千円</p> <p>○入園児童の保育に要する経費 153千円 保育材料費、脂材料費</p> <p>○幼稚園運営に要する経費 969千円 光熱水費、通信運搬費、備品購入費（絵本）、ピアノ調律等</p> <p>○その他必要経費 285千円 共通物品（コピー用紙等の事務消耗品）、全国公立幼稚園・こども園長会負担金等</p> <p>（参考）京丹後市の幼稚園（H31.3.31現在） ・公立：網野幼稚園</p>					
主な財源	幼稚園保育料 第3子以降保育料無償化事業費補助金 幼稚園預かり保育料				573千円 122千円 680千円	
成果・課題	職員の資質向上、幼稚園教諭免許状の確保を保持に努めるとともに、適切な教育・保育の提供により円滑な幼稚園運営を行うことができた。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	05幼稚園施設管理事業	決算書	P.142
細事業名	01 幼稚園施設管理事業					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	④ 執行率	(参考)当初予算額	
1,061千円	1,122千円	61千円	94.5%		130千円	
目的	適切な維持管理に努め、児童、職員が安全かつ快適に過ごせる環境を整える。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 施設修繕費 13千円 ○役員費 火災保険料 11千円 ○委託料 学校警備委託料、消防設備等保守点検委託料 46千円 ○工事請負費 網野幼稚園ブロック崩撤去及びフェンス新設工事 991千円 					
主な財源	府庫 未だつくり交付金(70%) 崩撤去事業)					300千円
成果・課題	老朽化等に伴う網野幼稚園の修繕及び工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	06認定こども園事業	決算書	P.94
細事業名	01 教育利用管理運営事業					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	④ 執行率	(参考)当初予算額	
43,745千円	44,079千円	334千円	99.2%		45,244千円	
目的	児童の健康管理や臨時職員を雇用することにより、円滑な認定こども園(1号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理実施経費 939千円 医師・薬剤師報酬、児童検診委託料、幼児健康診断票印刷代 ○臨時職員の雇用関連経費 24,532千円 共済費(社会保険料等)、賃金 ○こども園運営に要する経費 159千円 印刷機借上料、備品購入費(絵本) ○日本スポーツ振興センター負担金 44千円 ○認定こども園施設給付費 18,071千円 ゆうかり子ども園：3歳以上児の幼児教育業務(1号認定児)定員12人 平成31年3月末入園児童数：12人 					
主な財源	(参考)京丹後市内の幼保連携型認定こども園(H31.3.31現在) ・公立：峰山、大宮、丹後、弥栄、かふと山こども園 ・私立：ゆうかり子ども園					<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園保育料 10,454千円 子ども園のための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金 7,560千円 子ども園のための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金 6,970千円 第3子以降保育料無償化事業費補助金 1,241千円 幼稚園預かり保育料 5,471千円
成果・課題	職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園運営を行うことができた。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	06認定こども園事業	決算書	P.94										
細事業名	02 保育利用管理運営事業															
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進															
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額												
484,751千円	489,664千円	4,913千円	98.9%	548,712千円												
目的	児童の健康管理や臨時職員を雇用することにより、円滑な認定こども園(2号・3号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。															
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理実施経費 3,702千円 <ul style="list-style-type: none"> 医師報酬、費用弁償(嘱託医師)、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等 248,984千円 ○臨時職員の雇用関連経費 985千円 <ul style="list-style-type: none"> 共済費(社会保険料等)、賃金 ○職員研修実施経費 9,766千円 <ul style="list-style-type: none"> 職員旅費、自動車借上料 ○給食調理業務委託 26,430千円 <ul style="list-style-type: none"> 調理業務委託料 ○こども園送迎車両関連経費 61,315千円 <ul style="list-style-type: none"> 業務委託経費、修理費、重量税等 ○入園児童の保育に要する経費 131,759千円 <ul style="list-style-type: none"> 保育材料費、消耗料費 ○こども園運営に要する経費 30,406千円 <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費、通信運搬費、備品購入費、廃家電処理等 認定こども園施設給付費 101,353千円 <ul style="list-style-type: none"> ゆうかり子ども園 6か月月～5歳児の保育業務(2号及び3号認定児) 定員138人 平成31年3月末入園児童数: 161人 ○その他必要経費 1,810千円 <ul style="list-style-type: none"> 共通物品(コピー用紙等の事務消耗品)、日本スポーツ振興センター負担金 全国公立幼稚園・こども園長会負担金等 															
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>負担金</td> <td>94,265千円</td> </tr> <tr> <td>国庫</td> <td>45,228千円</td> </tr> <tr> <td>府庫</td> <td>36,661千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>8,328千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金・市債</td> <td>19,400千円</td> </tr> </table>						負担金	94,265千円	国庫	45,228千円	府庫	36,661千円	諸収入	8,328千円	寄附金・市債	19,400千円
負担金	94,265千円															
国庫	45,228千円															
府庫	36,661千円															
諸収入	8,328千円															
寄附金・市債	19,400千円															
成果・課題	職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園運営を行うことができた。															
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課															

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	05保育所事業	決算書	P.94				
細事業名	04 保育所整備事業									
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進									
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額						
87,163千円	128,866千円	41,703千円	67.6%	91,971千円						
目的	網野こども園の平成31年4月開設に向け、網野みなみ保育所の環境整備工事を実施する。また、統廃合により空き施設となっている旧保育所施設(2施設)を解体する。									
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○網野みなみ保育所環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・網戸設置、調理室回転盤移送工事 347千円 ・エアコン及びブール設置、乳児トイレ改修ほか 59,436千円 工事設計委託料 1,953千円 工事監理委託料 1,287千円 工事請負費 56,196千円 ○旧保育所施設解体撤去 <ul style="list-style-type: none"> ・旧河辺保育所 27,380千円 工事設計委託料 25,409千円 工事監理委託料 1,347千円 産業廃棄物処理委託料(複写機) 382千円 ごみ持込・廃消火器処理・廃家電処理等手数料 24千円 重機借上料 84千円 13千円 工事請負費(施設解体・敷地整備、光ケーブル撤去) 23,609千円 ・旧田村保育所 1,971千円 工事設計委託料 1,645千円 産業廃棄物処理委託料(印刷機) 25千円 ごみ持込・廃消火器処理・廃家電処理手数料 61千円 重機借上料 13千円 工事請負費(光ケーブル撤去) 227千円 									
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>市債</td> <td>59,400千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>25,800千円</td> </tr> </table>						市債	59,400千円	市債	25,800千円
市債	59,400千円									
市債	25,800千円									
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○網野みなみ保育所の環境整備工事を実施したことにより、受入態勢を整えることができた。 ○平成31年4月に網野こども園をスムーズに開設することができた。 ○旧河辺保育所については、計画どおり年度内に工事を終えることができた。また、旧田村保育所については、建物に基礎杭があることが判明し、杭の撤去に時間を要することから次年度に繰越して実施する。 									
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課									

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	05保育所事業	決算書	P.94	
細事業名	05 保育所施設管理事業						
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進						
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①	執行率	
8,951千円		9,045千円		94千円		98.9%	
目的	適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。						
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 3千円 土地使用謝金（たちはな保育所園庭入口） ○需用費 4,111千円 消耗品費 263千円 施設修繕費 3,691千円 旧奥大野保育所及び旧下宇川保育所ブロック塀解体撤去 ○役務費 794千円 貯水槽法定検査、消防設備点検、浄化槽法定検査等手数料 98千円 火災保険料（19施設分）※旧施設含む 696千円 ○委託料 2,685千円 施設警備、グリストラップ収集・処理、浄化槽維持管理等 ○使用料及び賃借料 157千円 土地借上料（たちはな保育所駐車場等用地） 10千円 清掃用具借上料 147千円 ○工事請負費 1,201千円 たちはな保育所 調理室エアコン撤去・設置工事 358千円 久美浜保育所 食器洗浄機更新工事 843千円 						
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 負担金 1,760千円 保育料現年度分 府補 第3子以降保育料無償化事業費補助金 118千円 						
成果・課題	○老朽化等に伴う施設の修繕及び工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○施設や設備が老朽化していることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。						
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課						

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	06認定こども園事業	決算書	P.94	
細事業名	03 認定こども園施設管理事業						
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進						
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①	執行率	
7,877千円		8,009千円		132千円		98.3%	
目的	適切な維持管理に努め、児童、職員が安全かつ快適に過ごせる環境を整える。						
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 4,297千円 消耗品費 479千円 施設修繕費 3,818千円 ○役務費 967千円 貯水槽法定検査、調理設備処分手数料 108千円 電気設備検査手数料（大宮こども園空調設備） 76千円 火災保険料（5施設分） 783千円 ○委託料 2,387千円 施設警備、グリストラップ収集・処理、自動ドア保守点検 2,312千円 消防設備点検、自家用電気工作物安全管理、害虫駆除等 丹後こども園コンクリートブロック塀 控柱構造検討業務 75千円 ○使用料及び賃借料 226千円 重機借上料（大宮・丹後こども園園庭整備） 45千円 清掃用具借上料 181千円 						
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 負担金 1,532千円 保育料現年度分 府補 幼稚園保育料 第3子以降保育料無償化事業費補助金 1,883千円 府補 市有建物積立増資 116千円 諸収入 22千円 						
成果・課題	○突発的な事案に伴う施設の修繕等を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○建設してから年数が経過している施設もあることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。						
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課						

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	047ファミリーサポートセンター事業	決算書	P.92	
細事業名	01ファミリーサポートセンター事業					決算書	P.92
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進						
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額			
	67千円	68千円	1千円	98.5%	68千円		
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月から小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。						
主要な事務・事業の概要	<p>新規及び登録済みのまかせて会員を対象に、援助活動に必要な専門的な知識の取得やスキルアップを目的とした講習会を実施した。また、会員の交流を深めるための会員交流会を実施した。</p> <p>○実施事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録会員講習会及び登録更新講習会 参加者 6人 ・救命講習会 参加者 6人 <p>○会員数(平成31年3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おながい会員 53人 ・まかせて会員 22人 ・両方会員 2人 <p>※活動延件数 9件 ※利用者実人数 依頼(おながい)会員:4人 援助(まかせて)会員:1人</p> <p>○事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費(普通旅費) 11千円 ・役務費(補償保険料) 56千円 						
主な財源	国補 府補					22千円 22千円	
成果・課題	<p>○援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や害病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上を図った。</p> <p>○援助会員による子どもへの送迎や一時的な預かりにより子育て支援をすることができた。一層の円滑な運営に向け、援助会員の確保が課題である。</p>						
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課						

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	06子ども未来まちづくり審議会事業	決算書	P.92				
細事業名	01子ども未来まちづくり審議会事業					決算書	P.92			
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進									
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額						
	38千円	56千円	18千円	67.8%	184千円					
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画等、特定教育・保育施設の利用定員の設定を審議する。									
主要な事務・事業の概要	<p>平成27年度に策定した子ども子育て支援事業計画及び京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況を確認するとともに、計画の見直しに向け審議会を開催した。</p> <p>○報酬(審議会委員) 委員:10人 1回開催 32千円</p> <p>○旅費(費用弁償) 6千円</p> <p>○審議会開催状況</p> <table border="1"> <tr> <th>日程</th> <th>審議内容</th> </tr> <tr> <td>12月27日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について </td> </tr> </table>						日程	審議内容	12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について
日程	審議内容									
12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について 									
主な財源										
成果・課題	<p>○子ども・子育て支援事業計画や保育所再編等推進計画に基づき、事業の進捗状況や子育て支援における課題、計画の見直し等について議論することができた。</p> <p>○本計画は令和元年度までの計画であることから、多様化する子育て支援ニーズへの対応、子どもや子育てに関わる調査の実態把握した計画に見直しする必要がある。</p>									
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課									

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 晃治

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本的方針	小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。

1. 施策の方向性

PLAN

1. 小中一貫教育の推進	<p>①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。</p> <p>②中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。</p> <p>③小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。</p> <p>④学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。</p>
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	<p>①子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>②教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。</p> <p>⑧放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制づくりを進めます。</p>
3. 確かな学力の育成	<p>①小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。</p> <p>②全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。</p> <p>③すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>
4. 社会を生き抜く力の育成	<p>①子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>②「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

CHECK

ACT

1. 小中一貫教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。</p> <p>② 中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。</p> <p>③ 小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。</p> <p>④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤ 小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。</p>						
1	小中一貫教育推進事業	学校教育課	530	309	1,066	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。						
2	小中一貫教育実践事業	学校教育課	6,132	5,777	6,197	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。						
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>② 教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥ 中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦ 市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。</p> <p>⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。</p>						
3	授業実践力向上対策事業	学校教育課	353			統合(整理)
授業実践力開発講座、小中一貫検証講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。						
4	学習支援体制整備事業	学校教育課	1,743	1,242	2,078	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。						
5	学校支援地域本部事業《再掲》	生涯学習課	-	-	-	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。						
3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。</p> <p>② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。</p> <p>③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤ 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥ 家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>						
6	教科用図書採択事業	学校教育課	40	25	154	現状維持
市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行う。						
7	小学校教育振興事業	学校教育課	26,471	22,438	47,156	現状維持
副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。						
8	小学校教育振興備品整備事業	学校教育課	11,131	11,347	10,055	現状維持
授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。						
9	小学校就学援助事業	学校教育課	19,042	18,452	21,315	現状維持
要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。						
10	中学校教育振興事業	学校教育課	32,444	29,511	30,367	現状維持
副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。						

11	中学校教育振興備品整備事業	学校教育課	9,010	7,953	7,531	現状維持
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。					
12	中学校就学援助事業	学校教育課	26,123	20,771	23,391	現状維持
	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。					
4. 社会を生き抜く力の育成			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。						
② 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。						
③ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。						
④ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。						
13	学校情報化推進事業	学校教育課	32,782	18,161	71,556	拡大
	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を推進する。					
14	小・中学校情報教育環境整備事業【再編交付金活用事業】《再掲》	学校教育課	-	-	-	統合(整理)
	平成26年度に整備した市内の全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、平成30年度分のリース料を支出する。					
15	児童生徒国際交流事業	学校教育課	3,345	2,977	4,682	現状維持
	語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、国際交流事業を推進する。					
16	外国語指導助手招致事業	教育総務課	25,858	26,626	28,080	現状維持
	外国青年を外国語指導助手(ALT)として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。					
17	国際交流員招致事業	学校教育課	4,265	3,079	4,365	現状維持
	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
18	奨学金事業	教育総務課	23,672	11,492	16,564	改善・効率化
	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。					
19	奨学基金	教育総務課	984	10,607	23	改善・効率化
	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある大学・専門学校生等に対し、奨学金の給付することを目的とした奨学基金への積立金					
		計	223,925	190,767	274,580	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。								
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値		
主な目標指標	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0	H25	6学園	H30	6(全中学校区で実施)	R6	
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2	H25	79.6	H30	80%以上	R6	
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合<中学生>	%	50.6	H25	57.8	H30	70%以上	R6	
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率			H30	市平均の全教科全国平均以上	R6	
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0	H25	72.0	H30	90%以上	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	《学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》 各学校の関係者評価は、小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤に作成している。また、各学園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定することで、学園の取組み等の検証・評価を各学園単位でPDCAサイクルにより進めることができた。今後は、すべての学園に設置されている学校と地域との連携組織による学園評価について、更に充実させるための体制整備が必要である。 《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》 学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合は、小学生では3.4%増加したものの中学生は4.2%減少した。各学園で「家庭学習の手引き」を作成・配布するなど、学習習慣の定着に向けた取組みや指導の効率は表れてきているものの、小中学生とも目標値にはあと一歩届いていない状況である。引き続き、家庭学習の充実に向けた家庭との連携を日常的に進め、家庭学習習慣の定着をより図っていく必要がある。 《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》 全国学力・学習状況調査結果は、小学校において一部の教科で全国平均を下回ったものの、おおむね全国平均以上の学力を付けている。各学園が学力調査の結果を分析し、授業改善や個に応じた支援を丁寧に行っていることや、一貫性のある系統的な指導が確実に進んでいる成果と捉えている。引き続き、児童生徒の学力向上を図るため、各学園の授業改善や授業研究等を推進していく必要がある。 《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》 将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合は、前年度比で4.3%増加し、おおむね全国平均と同じ状況となっている。引き続き、キャリア教育の視点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用するとともに、生徒の自己肯定感を高める取組や小中一貫教育によるキャリア教育のより一層の推進・充実を図っていく必要がある。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	28年度からの小中一貫教育の全市展開を踏まえ、学園単位によるPDCAサイクルの確立とその検証・評価に基づく小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、各学園を会場とした市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
	2	学園コーディネーター等の配置を継続するとともに、各学園に設置された学校・地域連携協議会の学園運営協議会(コミュニティ・スクール)への移行を図るとともに、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組みを推進する。
	3	小中一貫教育モデルカリキュラム及び保幼小接続モデルプラン等を活用した各学園での系統的で一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の学園分析結果を活用し個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
	4	総合的な学習の時間を活用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校園化に向けた取組みと興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣や児童生徒の国際交流等を推進することにより、国際社会を生きる日本人としての基礎的な能力の育成を図る。

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業	決算書 P.136
細事業名	01 小中一貫教育推進事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	309千円	450千円	141千円	68.6%	571千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>小中一貫教育推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行った。また、本市学校教育指導の重点をより明確にし、教職員への周知徹底を図るため、学校教育の指導の重点ダイジェスト版ポスター及びリーフレットを作成し、配布した。</p> <p>○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 88千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会委員 13人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） 協議会の開催 2回 調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 <p>○学校教育連携専門部会（印刷製本費） 112千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門部会 学校運営部員 6人 開催回数 学校運営部会 2回 <p>○学力向上対策会議研修会（消耗品費） 5千円</p> <p>○教育フォーラムの開催（消耗品費） 20千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育フォーラム（参加者：117人） 開催日：平成30年12月6日（木） 場所：弥栄中学校 <p>○小中一貫教育に係る先進地域調査研究視察（旅費、燃料費等） 84千円</p> <p>開催日：平成31年2月22日（金） 開催地：京都市 京都教育大学附属桃山地区区学校園（参加者：16人）</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、小中一貫教育推進基本計画に基づきより良い教育体制の整備を推進することができた。</p> <p>○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業	決算書 P.136
細事業名	02 小中一貫教育実践事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	5,777千円	6,003千円	226千円	96.2%	6,493千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,972千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 峰山学園（合唱祭、授業研究会、部活動体験、リーフレット作成等） 大宮学園（小中合同研修会、講演会、体験学習、リーフレット作成等） 網野学園（合唱祭、部活動体験、新入生体験入学、リーフレット作成等） 丹後学園（あいさつ運動、合同学習、リーフレット作成等） 弥栄学園（授業研究会、保小中行事交流、部活動体験等） 久美浜学園（あいさつ運動、授業体験、リーフレット作成等） <p>○特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,805千円</p> <p>実施校：小学校17校、中学校6校</p> <p>主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、ものづくり体験 地域連携、性の学習、人権学習、伝統文化体験等</p>				
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 3,000千円				
成果・課題	<p>○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。</p> <p>○合唱祭等の小中連携、合同授業等の小中連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。</p>				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	決算書	P.136
細事業名	02 学習支援体制整備事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	1,242千円		1,267千円	25千円	98.0%	2,520千円
目的	<p>「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。</p> <p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動の実証研究を行った。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生の放課後学習支援 <ul style="list-style-type: none"> 小学生放課後わくわく自習室（運営委託料） 120千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。 実施地区（地域）：宇川連合区、佐野甲区 中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 958千円 <ul style="list-style-type: none"> 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。 土曜日を活用した教育活動（消耗品費、バス運転委託料） 164千円 <ul style="list-style-type: none"> 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の実証研究を全小中学校で実施した。 					
主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3) 706千円					
	府委 土曜日を活用した教育の任り方実践研究事業費委託金(10/10) 118千円					
成果・課題	<p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を2地区（地域）で継続実施すること、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習支援を行うことができた。</p> <p>○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09教科用図書採択事業	決算書	P.136
細事業名	01 教科用図書採択事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	25千円		25千円	0千円	100.0%	102千円
目的	<p>市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行う。</p> <p>令和元年度から使用する小中学校の教科用図書について、公正かつ適正な採択を 行うために、丹後教科用図書採択地区協議会において文部科学省の教科書目録に掲載された教科用図書を調査・研究した。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○負担金、補助及び交付金（丹後教科用図書採択地区協議会分担金） 25千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成団体（2市2町1組合） <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町教育委員会 与謝野町宮津市中学校組合教育委員会 委員（20人） <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会教育長 4人 教育委員会委員 16人 採択教科 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 11教科（特別の教科 道徳を除く） 中学校 特別の教科 道徳 					
主な財源						
成果・課題	<p>丹後教科用図書採択地区協議会からの選定結果に沿って、令和元年度から市立小中学校で使用される教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うことができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業	決算書	P.138
細事業名	01 小学校教育振興事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額		
22,438千円	23,128千円	690千円	97.0%	35,161千円		
目的	<p>副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品 (380人) 1,287千円 ・卒業記念品 (454人) 291千円 ○旅費 996千円 ○費用弁償 (大地の学習講師費用弁償) 1千円 ○需用費 13,654千円 ・消耗品費 13,461千円 ・学用品、児童会活動費、理科実験費、部活動費、学力検査、教師用教科書・指導書ほか ・燃料費 (大地の学習研修送迎車用燃料) 1千円 ・印刷製本費 192千円 ・社会科副読本「わたしたちのさようたんこ」 470部 (3年生) 4,751千円 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料 2,740千円 ○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料 5千円 ○負担金、補助及び交付金 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加負担金 (山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会) 開催日：平成30年10月27日 (土) 場 所：但馬ドーム周辺駅伝コース 参加校：橋小 					
主な財源	府補 1,000千円 未来づくり交付金 (教育振興事業)					
成果・課題	<p>校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業	決算書	P.138
細事業名	01 小学校教育振興備品整備事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額		
11,347千円	11,579千円	232千円	97.9%	10,777千円		
目的	<p>授業に必要な教材備品や学校図書や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用し、管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 272千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 (教材備品の修繕) ○役員費 25千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア再設定手数料 16千円 ・家電リサイクル料 9千円 ○使用料及び賃借料 97千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料 (全小学校) ○備品購入費 10,953千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 4,379千円 ・学校図書整備 4,517千円 ・理科教育等設備整備 (理科・算数備品) 2,057千円 					
主な財源	<p>国補 1,028千円 香附金 1,000千円 ふるさと応援寄附金 3,000千円 ふるさと応援基金繰入金</p> <p>理科教育設備整備費等補助金 (1/2)</p>					
成果・課題	<p>計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科 (算数) 教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領の実施を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。 					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業	決算書	P.138
細事業名	01 小学校就学援助事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率			20,797千円
18,452千円	18,830千円	378千円	97.9%			
目的	要保護者、要保護者及び特別支援学級に入学する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○就学援助費 17,292千円 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護認定者 21人 (H29 21人) 69千円 修学旅行費 36千円 医療費 ・準要保護認定者 239人 (H29 243人) 15,812千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 4,032千円 給食費 10,463千円 修学旅行費 1,093千円 医療費 224千円 ・準要保護認定者 (被災児童) 2人 (H29 2人) 117千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 29千円 給食費 88千円 <p>※申請者数 296人 (H29 297人) 認定者数 262人 (H29 266人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度入学新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,259千円 支給者数 31人 ※平成31年2月22日支給 <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育就学奨励費 1,160千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 37人 (H29 40人) 1,160千円 学用品費等 285千円 給食費 713千円 修学旅行費 162千円 					
主な財源	国補 就学援助費補助金 (1/2) 51千円 国補 特別支援教育就学奨励費補助金 (1/2) 568千円					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業	決算書	P.140
細事業名	01 中学校教育振興事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率			33,741千円
29,511千円	30,373千円	862千円	97.1%			
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,142千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品 (463人) 256千円 ・卒業記念品 (519人) 886千円 ○需用費 12,107千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 11,799千円 学用品、学力検査、指導書、道徳副読本ほか ・印刷製本費 308千円 ・社会科副読本「京丹後市の歴史」500部 ※中学1年生に配付 58千円 ○役員費 58千円 ・楽器運搬手数料 11,880千円 ○委託料 ・スクールバス定期外運行運転委託料 ○負担金、補助及び交付金 4,324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会等選手派遣費補助金 					
主な財源	国補 未来づくり交付金 (教育振興事業) 1,500千円					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。 					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業	決算書	P.140
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	7,953千円	8,014千円	61千円	99.2%	8,308千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。					
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p> <p>○需用費 ・修繕料（教材備品の修繕） 480千円</p> <p>○役務費 ・楽器調整手数料 321千円</p> <p>○使用料及び賃借料 ・図書システムソフトウェア使用料（全中学校） 32千円</p> <p>○備品購入費 ・教材備品整備 7,120千円 4,579千円 1,849千円 692千円</p> <p>・学校図書整備 ・理科教育等設備整備（理科・数学備品）</p>					
主な財源	国補 繰入金			理科教育設備整備費等補助金（1/2） ふるさと応援基金繰入金 345千円 2,000千円		
成果・課題	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（数学）教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った学習環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の実施を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業	決算書	P.140
細事業名	01 中学校就学援助事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	20,771千円	21,132千円	361千円	98.2%	24,236千円	
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費 ・要保護認定者 19人（H29 16人） 487千円 修学旅行費 医療費 0千円</p> <p>・準要保護認定者 143人（H29 172人） 17,053千円 学用品費等 6,280千円 給食費 6,763千円 修学旅行費 4,006千円 医療費 4千円</p> <p>※申請者数 188人（H29 205人） 認定者数 162人（H29 188人）</p> <p>・令和元年度入学者新入学児童生徒学用品費入学前支給分 支給者数 40人 ※平成31年2月22日支給 1,896千円</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 ・対象者 29人（H29 32人） 1,335千円 学用品費等 508千円 給食費 617千円 修学旅行費 210千円</p>					
主な財源	国補 国補			就学援助費補助金（1/2） 特別支援教育就学奨励費補助金（1/2） 243千円 647千円		
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業	決算書	P.134
細事業名	01 学校情報化推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	18,161千円		18,187千円	26千円	99.8%	18,795千円
目的	<p>小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>市内小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、小中学校（小学3年から中学3年）の普通教室及び、特別支援教室に整備した電子黒板等の維持管理及び利用促進を行った。</p> <p>○ 需用費 ・ パソコン・校内LAN関連消耗品 2,219千円 ・ パソコン・校内LAN関連修繕費（47件） 95千円 ・ パソコン・校内LAN関連修繕費（47件） 2,124千円</p> <p>○ 役務費 電子黒板移設手数料（2台） 43千円</p> <p>○ 委託料 ・ サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料 4,377千円 ・ 校務支援システム保守委託料 3,519千円 ・ パソコン整備委託料（教職員異動に伴うパソコン設定作業） 778千円 80千円</p> <p>○ 使用料及び賃借料 ・ パソコン借上料 8,293千円 サーバーシステム借上料（8台） 3,534千円 ・ ソフトウェア使用料 4,759千円 校務支援システム、ウイルス対策ソフト（1,650台分）ほか</p> <p>○ 備品購入費 ・ ネットワーク機器（ルーター29台ほか） 3,229千円</p>					
主な財源						
成果・課題	<p>○ ネットワークを利用した遠隔操作などにより、小中学校に整備した校内LAN、2,153台のパソコン（校務、普通教室、情報教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。</p> <p>○ 新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業	決算書	P.136
細事業名	01 児童生徒国際交流事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	2,977千円		3,213千円	236千円	92.6%	3,933千円
目的	<p>国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○ 小学生の国際交流 122千円 中学生海外派遣事業で本市と交流のあるニュージージーランドのイングリッシュ小学校と島津小学校の児童が、ライブ交流や手作りのメッセージカード等の交換を行った。</p> <p>○ 小中学生文化体験 小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施した。</p> <p>○ 中学生の海外派遣 2,855千円 学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため海外へ派遣した。</p> <p>派遣先：ニュージージーランド ニュープリマス市 スポーツウッド・カレッジ</p> <p>派遣期間：平成31年3月20日（水）～28日（木）の8泊9日間 派遣生徒：中学2年生 15人（選考により決定）</p> <p>・ 海外派遣 2,676千円 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料、有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか</p> <p>・ その他（事前研修会等）経費 179千円 講師謝金、印刷製本費、消耗品費</p>					
主な財源	繰入金 雑費・まちづくり夢基金繰入金					2,854千円
成果・課題	<p>○ 小学生国際交流、小中学生文化体験及び中学生海外派遣を行い、国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。</p> <p>○ 国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	01外国語指導助手招致事業	決算書	P.136
細事業名	01 外国語指導助手招致事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額		
26,626千円	26,909千円	283千円	98.9%	29,288千円		
目的	外国青年を外国語指導助手 (ALT) として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあるおっせんを受け、外国語指導助手を招致・任用し、その経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語指導助手の報酬及び社会保険料等 (6人分) <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 24,059千円 ・社会保険料、労災保険料、雇用保険料 20,990千円 ○外国語指導助手支援員の賃金等 <ul style="list-style-type: none"> ・賃金 186千円 ・報償金 月額10千円 66千円 ○外国語指導助手の旅費等 <ul style="list-style-type: none"> ・帰国旅費 (2人) 120千円 ・費用弁償、研修旅費 (ALT、職員) 775千円 ○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・住居の敷金、火災保険料 361千円 ・消耗品費、修繕料 (住居の鍵交換) 414千円 ○負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体国際化協会負担金 195千円 ・来日渡航費用負担金等 210千円 					
主な財源	諸収入 ふるさと応援基金繰入金					10,000千円
成果・課題	○外国語指導助手を各中学校に1人ずつ配置することで、児童・生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につなげることができた。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身の負担を軽減するため生活支援等の充実が必要					
所管課	教育委員会事務局 / 教育総務課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	02国際交流員招致事業	決算書	P.136
細事業名	01 国際交流員招致事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額		
3,079千円	3,297千円	218千円	93.3%	3,509千円		
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行った。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬、共済費 2,541千円 <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員報酬 (1人) (243千円×1か月 (平成30年8月)) 2,203千円 (280千円×7か月 (平成30年9月～平成31年3月)) 338千円 ○招致、研修にかかる経費 161千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償、普通旅費 156千円 ・有料道路通行料 5千円 ○国際交流員の賃貸住宅に係る経費 73千円 <ul style="list-style-type: none"> ・住居の敷金、火災保険料 57千円 ・消耗品費、修繕料 (住居の鍵交換) 16千円 ○自治体国際化協会負担金 304千円 <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員人員割、傷害保険負担金 98千円 ・来日渡航費用負担金 145千円 ・来日直後オリエンテーション参加費用負担金 61千円 					
主な財源						
成果・課題	国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を図ることができた。					
所管課	教育委員会事務局 / 学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金事業	決算書	P.136	
細事業名	01 奨学金事業						
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実						
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	4千円	99.9%	19,563千円	
	11,492千円	11,496千円					
目的	<p>経済的に困難している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。</p>						
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困難している世帯（家庭）の勉学意欲のある大学生等を対象に奨学金を給付した。また、平成30年度大学等在学者及び平成31年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p> <p>○奨学金選考・検討委員会委員報酬及び費用弁償（2回開催） ・報酬 60千円 委員 4千円（半日）×（6人×2回）+（1人×1回） 52千円 ・費用弁償 8千円</p> <p>○給付奨学金 ・大学生等 4,200千円 月額12千円×12月×10人 4,200千円 月額10千円×12月×23人 4,200千円</p> <p>○貸付奨学金 ・修学支援金（5人） 7,232千円 大学生等 1,000千円×3人 3,732千円 大学生等 500千円×1人 大学生等 232千円×1人 ・入学支度金（5人） 3,500千円 進学予定者 700千円×5人</p>						
主な財源	<p>繰入金 奨学金繰入金 4,200千円 繰入金 谷口謙・未来応援基金繰入金 7,232千円</p>						
成果・課題	<p>○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組みするための環境を整えることができた。</p> <p>○大学生等を対象とした給付奨学金について、国・府による支援制度を踏まえ、対象者等を一定整理し、平成30年度より修学困難な大学生等を支援する制度へ見直しを行った。</p> <p>○文部科学省における高等教育の無償化制度の設置（令和2年4月実施）に伴い、今後の市奨学金制度の見直し等を検討する必要がある。</p>						
所管課	教育委員会事務局／教育総務課						

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	岡野 勲
学校教育課	松本 晃治
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	3	子どもを健やかに育む教育環境を充実します
基本の方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策や耐震化等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全をまもるための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。 また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。	

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 子どもの安全・安心の確保	①児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ②学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ③児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。
2. 学校施設環境等の整備充実	①学校再配置に伴う拠点校の施設整備を進めます。 ②学校施設耐震化計画に基づき、学校施設の耐震化及び非構造部材の耐震対策を計画的に進めます。 ③学校施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい学校施設の改修・修繕等を計画的に進めます。
3. 個に応じた支援体制の充実	①発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援を行うため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育を進めます。 ②外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。
4. ボランティアによる学習支援の推進	①市民のボランティア意識を高め、自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。 ②市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校施設耐震化計画	耐震化に対する国の動向や財政措置の状況を的確にとらえつつ、本市における学校施設の耐震化を可能な限り早く、計画的に進めていくことを目的に、本計画を定めるもの	平成22年11月	平成22年度～平成26年度	
京丹後市学校再配置基本計画	急速に少子化が進むなか、本市の次代を担っていく子どもたちに、より良い教育環境や教育条件を整えるため、学校力を高めるための学校規模などを考えた学校再配置の取組みを進めていくために策定	平成22年12月	平成23年度～平成32年度	前期(H23～27年度)と後期(H28～32年度)に区分し、段階的に再配置を進める

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN DO CHECK ACT**

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

1. 子どもの安全・安心の確保		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ② 学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ③ 児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。					
1 学校医委嘱事業	学校教育課	24,119	21,368	20,052	現状維持
学校保健安全法に基づき、各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。					
2 学務経費	学校教育課	5,765	5,336	5,125	現状維持
学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。					
3 学校安全対策事業	学校教育課	4,728	6,013	5,329	現状維持
保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守る。					

4	児童教職員健康管理事業	学校教育課	9,151	8,609	8,356	現状維持
児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全な環境を整える。						
5	生徒教職員健康管理事業	学校教育課	5,709	5,263	6,182	現状維持
生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全な環境を整える。						
6	小学校スクールバス運行管理事業	学校教育課	96,719	94,857	111,364	現状維持
小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の安全な通学手段を確保する。						
7	小学校スクールバス購入事業	学校教育課	6,025	16,268	-	現状維持
小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の安全な通学手段を確保する。						
8	小学校通学支援事業	学校教育課	383	292	269	統合(整理)
遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。						
9	中学校スクールバス運行管理事業	学校教育課	80,565	75,815	79,422	現状維持
中学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた生徒の安全な通学手段を確保する。						
10	中学校スクールバス購入事業	学校教育課	3,325	-	-	現状維持
中学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた生徒の安全な通学手段を確保する。						
11	中学校通学支援事業	学校教育課	304	302	223	統合(整理)
自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。						
2. 学校施設環境等の整備充実			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 学校再配置に伴う拠点校の施設整備を進めます。</p> <p>② 学校施設耐震化計画に基づき、学校施設の耐震化及び非構造部材の耐震対策を計画的に進めます。</p> <p>③ 学校施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい学校施設の改修・修繕等を計画的に進めます。</p>						
12	学校再配置推進事業	学校教育課	1,565	3,348	1,064	縮小
京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組みを推進する。						
13	小学校再配置施設整備事業	教育総務課	120,351	-	-	終了・廃止
学校再配置計画に基づく平成30年4月の丹波小学校と新山小学校の再配置に伴い、児童数が増加する新山小学校校舎の増改築工事を行う。(29年度実施)						
14	小学校再配置施設整備事業【繰越】	教育総務課	22,166	-	-	
学校再配置に伴い拠点校となる学校施設の改修を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
15	小・中学校情報教育環境整備事業(基金事業)【再編交付金活用事業】	学校教育課	44,580	44,580	-	統合(整理)
平成26年度に整備した市内の全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、平成30年度分のリース料を支払うもの。						
16	小・中学校情報教育環境整備事業【再編交付金活用事業】	学校教育課	-	86,389	-	終了・廃止
児童生徒の情報教育環境を充実させ一層の教育振興を図るため、全小中学校にICT機器(電子黒板、指導用タブレット等)を整備する。						
17	小学校施設改修事業	教育総務課	486,397	181,402	198,190	現状維持
老朽化している学校施設が多い中、市内小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
18	小学校施設改修事業【繰越】	教育総務課	117,340	-	4,399	縮小
学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
19	小学校施設管理事業	教育総務課	26,284	27,852	27,517	現状維持
学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。						
20	中学校施設改修事業	教育総務課	22,973	18,043	10,030	現状維持
老朽化している学校施設が多い中、市内中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
21	中学校施設管理事業	教育総務課	8,711	9,953	9,956	現状維持
学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。						
22	小学校管理運営事業	学校教育課	144,158	141,719	141,701	現状維持
適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。						
23	小学校事務補助経費	学校教育課	1,412	1,251	982	終了・廃止
学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し、学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。						
24	中学校管理運営事業	学校教育課	60,662	59,613	63,184	現状維持
適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。						

25	中学校事務補助経費	学校教育課	5,028	4,831	3,550	縮小
学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し、学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。						
26	網野給食センター管理運営事業	学校教育課	33,747	36,989	39,447	現状維持
心身の健全な発達に寄与するため、網野幼稚園、小学校4校(網野北・網野南・島津・橋)、網野中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、心身の健全な発達に寄与する。						
27	網野給食センター施設改修事業	教育総務課		1,498	-	現状維持
安全・安心な給食を提供できるよう、網野学校給食センターの改修工事等を行い、適切な施設管理を行う。						
28	小学校給食管理運営事業	学校教育課	138,863	131,013	134,092	現状維持
栄養バランスの取れた給食を提供し、児童の心身の健全な発達に寄与する。						
29	中学校給食管理運営事業	学校教育課	41,012	40,302	40,995	現状維持
栄養バランスの取れた給食を提供し、生徒の心身の健全な発達に寄与する。						
30	学校給食一般経費	学校教育課	1,162	1,155	1,783	現状維持
学校給食全般における衛生管理の徹底を図るとともに、給食献立の研究を通じ、衛生管理と栄養面での充実や食育の推進を図る。						
31	公立学校施設災害復旧事業	教育総務課	-	788	-	縮小
豪雨及び台風等の自然災害により被災した公立学校施設の災害復旧を行う。						
3. 個に応じた支援体制の充実			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援を行うため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育を進めます。						
② 外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。						
31	小学校スクールサポーター等設置事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。						
32	中学校スクールサポーター等設置事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。						
4. ボランティアによる学習支援の推進			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 市民のボランティア意識を高め、自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。						
② 市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。						
33	地域学校協働本部事業	生涯学習課	5,151	4,325	3,875	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	担当課					
34	日用品費等援助事業	子ども未来課	0	47	98	現状維持
低所得世帯を対象に日用品、文房具等の購入に要する費用、食事に要する費用、行事への参加に要する費用等の実費徴収額について、費用の一部を助成する。						
35	児童福祉総務一般経費	子ども未来課	5,222	8,090	985	改善・効率化
児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費						
36	教育委員会一般経費	教育総務課	4,056	3,897	4,080	現状維持
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会を運営する。						
37	事務局一般経費	教育総務課	5,949	13,343	8,313	現状維持
教育委員会事務局の円滑な運営を行う。						
38	学校跡施設管理事業	教育総務課	3,322	6,627	3,370	改善・効率化
学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行う。						
計			1,536,904	1,061,178	933,933	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策や耐震化等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全をまもるための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
	市立小学校の耐震化	%	88.5	H25	100	H30	100	R6
	市立中学校の耐震化	%	93.5	H25	100	H30	100	R6
	非構造部材の耐震対策	%	0(調査中)	H26	100	H30	100	R6
学校支援ボランティア登録者数	人	427	H25	572	H30	500	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	◎	<p>《市立小学校の耐震化》 学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。</p> <p>《市立中学校の耐震化》 学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。</p> <p>《非構造部材の耐震対策》 国が指導する大規模空間(体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等)の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。</p> <p>《学校支援ボランティア登録者数》 ボランティア登録者数は毎年増加しているが、高齢化が進んでいるため、過去の登録者について整理するとともに、学校のニーズに応じた人材の発掘が必要である。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導及び子ども安心パトロール車の運行を継続して実施するとともに、除雪活動や子どもたちを見守る地域ボランティア等の拡充を図る。
	2	学校施設の老朽化に対応し、計画的な維持管理を行うとともに、学習環境の改善を図るため、トイレの洋式化を進める。また、学校施設の長寿命化計画を定め、現行施設を長期的に使用できるよう計画的な改修等を行う。
	3	特別な支援が必要な子どものニーズに対応するため、学校園へのスクールサポーター(介護支援員)を継続配置するとともに、学校園及び保護者、関係機関が連携し、特別支援教育体制整備の推進を図る。
	4	ボランティア人材の発掘・育成・確保に重点を置きながら、より効果的、効率的なコーディネーターの配置等、多様化する学校ニーズに対応できる推進体制整備を図る。

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	04学校医委嘱事業	決算書	P.134																																								
細事業名	01 学校医委嘱事業																																													
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額																																								
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																																								
21,368千円		21,460千円	92千円		99.5%	99.5%																																								
目的	学校保健安全法に基づき、各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。																																													
主要な事務・事業の概要	<p>○報酬</p> <table border="1"> <tr> <td>幼稚園</td> <td>1人</td> <td>244千円</td> <td>21,350千円</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>18人</td> <td>6,362千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6人</td> <td>2,699千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>・歯科医報酬</p> <table border="1"> <tr> <td>幼稚園</td> <td>1人</td> <td>244千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>18人</td> <td>6,361千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6人</td> <td>2,699千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>・薬剤師報酬</p> <table border="1"> <tr> <td>幼稚園</td> <td>1人</td> <td>92千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>18人</td> <td>2,095千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6人</td> <td>554千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>○旅費</p> <table border="1"> <tr> <td>費用弁償</td> <td>18千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						幼稚園	1人	244千円	21,350千円	小学校	18人	6,362千円		中学校	6人	2,699千円		幼稚園	1人	244千円		小学校	18人	6,361千円		中学校	6人	2,699千円		幼稚園	1人	92千円		小学校	18人	2,095千円		中学校	6人	554千円		費用弁償	18千円		
幼稚園	1人	244千円	21,350千円																																											
小学校	18人	6,362千円																																												
中学校	6人	2,699千円																																												
幼稚園	1人	244千円																																												
小学校	18人	6,361千円																																												
中学校	6人	2,699千円																																												
幼稚園	1人	92千円																																												
小学校	18人	2,095千円																																												
中学校	6人	554千円																																												
費用弁償	18千円																																													
主な財源																																														
成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配属により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。																																													
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																													

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	05学務経費	決算書	P.134
細事業名	01 学務経費					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
5,336千円		5,596千円	260千円		95.3%	95.3%
目的	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。					
主要な事務・事業の概要	<p>○学齢簿の管理（学齢簿関連システム保守料）</p> <p>○小中学校音楽フェスティバルの開催（消耗品費、医薬材料費、手数料、会場借上料） 開催日：平成30年11月14日（水）場所：京都府丹後文化会館 参加校：小学校5校（しんざん小、長岡小、橘小、吉野小、かぶと山小） 中学校2校（網野中、久美浜中）</p> <p>○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） ・小学校ふれあい交流会（各中学校区で実施） 実施中学校区：全中学校区</p> <p>・中学校ふれあい交流会（市全体で実施） 開催日：平成30年6月13日（水）場所：大宮中学校 文化交流会 開催日：平成30年11月7日（水）場所：弥栄中学校 参加校：全中学校</p> <p>○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償） ○負担金 ・日本スポーツ振興センター負担金 3,696千円 ・京都府学校保健会負担金、京都府学校保健主事会負担金 66千円 ・京都府特別支援教育研究協議会 10千円 ・教育研究事業負担金 111千円</p> <p>○人権教育研究会（消耗品費、印刷製本費） 90千円 ○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料） 19千円 ○各種通知封筒印刷 40千円</p>					
主な財源						
成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級に在籍する児童生徒の学校間交流を通じて、社会性や豊かな人間性の育成を支援することができた。 ○小中学校音楽フェスティバルについては、児童生徒及び教職員の負担軽減のため、令和元年度より実施しない。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	06学校安全対策事業	06学校安全対策事業	決算書	P.134																																										
細事業名	01 学校安全対策事業																																																
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実																																																
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																																										
	6,013千円		6,124千円		111千円		98.1%																																										
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守る。																																																
主要な事務・事業の概要	<p>○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理 各学校・幼稚園に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理費及び運行経費 <ul style="list-style-type: none"> 燃料費（ガソリン代） 979千円 消耗品費・修繕料（車検、車両消耗品、事故車両修繕ほか） 1,756千円 手数料・保険料・公課費 1,452千円 <p>配車一覧</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>峰山小、長岡小</td><td>8</td><td>いざなぎ小</td><td>15</td><td>峰山中</td></tr> <tr><td>2</td><td>大宮第一小</td><td>9</td><td>網野南小、網野幼</td><td>16</td><td>大宮南小</td></tr> <tr><td>3</td><td>網野中</td><td>10</td><td>橋小</td><td>17</td><td>島津小</td></tr> <tr><td>4</td><td>丹後中</td><td>11</td><td>宇川小</td><td>18</td><td>網野北小</td></tr> <tr><td>5</td><td>大宮中</td><td>12</td><td>弥栄小、吉野小</td><td>19</td><td>間人小、豊栄小</td></tr> <tr><td>6</td><td>高龍小</td><td>13</td><td>久美浜小、久美浜中</td><td>20</td><td>かぶと山小</td></tr> <tr><td>7</td><td>教育委員会事務局</td><td>14</td><td>弥栄中</td><td>21</td><td>しんざん小</td></tr> </table> <p>○スクールガード・リーダー巡回・指導 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。</p> <p>年間巡回活動等の実績：66回×5人＝330回 報償金・保険料（活動謝金、総合補償保険料） 1,757千円</p> <p>○学校の除雪活動 積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。</p> <p>保険料（ボランティア活動保険）・修繕料（除雪機） 69千円 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3） 1,042千円 ふるさと創生基金繰入金 3,000千円 市有自動車損害共済金 249千円</p>							1	峰山小、長岡小	8	いざなぎ小	15	峰山中	2	大宮第一小	9	網野南小、網野幼	16	大宮南小	3	網野中	10	橋小	17	島津小	4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小	5	大宮中	12	弥栄小、吉野小	19	間人小、豊栄小	6	高龍小	13	久美浜小、久美浜中	20	かぶと山小	7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小
1	峰山小、長岡小	8	いざなぎ小	15	峰山中																																												
2	大宮第一小	9	網野南小、網野幼	16	大宮南小																																												
3	網野中	10	橋小	17	島津小																																												
4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小																																												
5	大宮中	12	弥栄小、吉野小	19	間人小、豊栄小																																												
6	高龍小	13	久美浜小、久美浜中	20	かぶと山小																																												
7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小																																												
主な財源	<p>府補 1,042千円 繰入金 3,000千円 諸収入 249千円</p>																																																
成果・課題	<p>○網野幼稚園・各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動や積雪時の除雪活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、園児、児童、生徒の安全につながっている。</p> <p>○子ども安心パトロール車（にこにこカー）やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、更に安全体制の強化を図っていくことが必要である。</p> <p>○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。</p>																																																
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																																

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	04児童教職員健康管理事業	04児童教職員健康管理事業	決算書	P.138
細事業名	01 児童教職員健康管理事業						
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実						
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
	8,609千円		8,643千円		34千円		99.6%
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校教育活動における安全な環境を整える。						
主要な事務・事業の概要	<p>○需用費（保衛生消耗品、医薬材料ほか） 1,136千円</p> <p>○委託料 6,584千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童各種検診・検査 5,333千円 <ul style="list-style-type: none"> 心臓検診委託料 1次 865人（1・4年、経過検診者） 2次 149人 眼科検診委託料 2,513人 耳鼻科検診委託料 2,510人 尿検査委託料（春） 1次 2,517人 2次 23人 尿検査委託料（秋） 1次 2,516人 2次 45人 血液検査委託料 466人（4年、経過観察者） 腎臓病健診委託料 4人（校医抽出者） 結核検診委託料 1人 ・教職員健康診断委託料 1,073千円 ・教職員結核検診委託料 178千円 <p>○使用料及び賃借料 889千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料（検診時医師送迎） 53千円 ・機械借上料（AEDリース） 836千円 全校設置済（小学校18校） 						
主な財源							
成果・課題	健康診断、結核検診の実施など、児童及び教職員の健康の保持増進のほか、全校へAEDを配備するなど、学校の安全な環境整備に努めた。						
所管課	教育委員会事務局/学校教育課						

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	04生徒教職員健康管理事業	決算書	P.140
細事業名	01 生徒教職員健康管理事業					
総合計画	計画項目		26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額		
	5,263千円	5,373千円	110千円	97.9%	6,419千円	
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全な環境を整える。					
主要な事務・事業の概要	<p>○需用費（保衛生消耗品・医薬材料ほか） 679千円</p> <p>○委託料 3,992千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒各種検診・検査 3,215千円 心臓検診委託料 <ul style="list-style-type: none"> 1次 491人（1年、経過検診者） 2次 132人 眼科検診委託料 1,418人 耳鼻科検診委託料 1,428人 尿検査委託料（春） 1次 1,440人 2次 79人 尿検査委託料（秋） 1次 1,435人 2次 52人 血液検査委託料 460人（2年、経過観察者） 脊柱側弯検診委託料 9人（校医抽出者） <p>・教職員健康診断委託料 662千円</p> <p>・教職員総核検診委託料 115千円</p> <p>○使用料及び賃借料 592千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料（検診時医師送迎） 20千円 ・機械借上料（AEDリース） 572千円 全校設置済（中学校6校） 					
主な財源						
成果・課題	健康診断、結核検診の実施など、児童及び教職員の健康の保持増進のほか、全校へAEDを配備するなど、学校の安全な環境整備に努めた。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業	決算書	P.138																															
細事業名	01 小学校スクールバス運行管理事業																																				
総合計画	計画項目		26 未来を拓く学校教育の充実																																		
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額																																	
	94,857千円	94,970千円	113千円	99.8%	100,676千円																																
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。																																				
主要な事務・事業の概要	<p>遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行した。</p> <p>○バス運転委託料 7,089千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転のみを業者委託したもの 高龍小（佐濃南線） 1台 <p>○車両改造委託料 679千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 久美浜中スクールバス1台を市バス使用に変更したもの <p>○スクールバス運行管理委託料 87,066千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>いさご小</td> <td>3台</td> <td>橋小</td> <td>1台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>しんさん小</td> <td>1台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>久美浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>間人小</td> <td>2台</td> <td>高龍小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td>かぶと山小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>計</td> <td>26台</td> </tr> </table> <p>○バス停維持管理経費 10千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料、土地借上料（15.66㎡） <p>○需用費（消耗品費、修繕料） 13千円</p>						いさご小	3台	橋小	1台	弥栄小	3台	しんさん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台	大宮南小	3台	間人小	2台	高龍小	3台	網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台						計	26台
いさご小	3台	橋小	1台	弥栄小	3台																																
しんさん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台																																
大宮南小	3台	間人小	2台	高龍小	3台																																
網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台																																
					計	26台																															
主な財源	<p>繰入金 40,000千円</p> <p>使用料 636千円</p> <p>ふるさと応援基金繰入金</p> <p>市営バス乗車料</p>																																				
成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																																				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																				

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業	決算書	P.138
細事業名	02 小学校スクーパ購入事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額		
	16,268千円	16,303千円	35千円	99.7%	19,875千円	
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。					
主要な事務・事業の概要	<p>遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクーパバスを購入した。</p> <p>○備品購入費(スクーパバス3台) 16,078千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮南小学校 (29人乗り1台) ・丹後小学校 (14人乗り1台、29人乗り1台) <p>○購入に係る諸経費 190千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手数料、保険料、自動車重量税 					
主な財源	国庫市債			7,710千円 8,300千円		
成果・課題	<p>○小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。</p> <p>○スクーパバスの安全な運行を確保するため、計画的に車両を更新する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業	決算書	P.138												
細事業名	03 小学校通学支援事業																	
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実																	
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額														
	292千円	312千円	20千円	93.5%	312千円													
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																	
主要な事務・事業の概要	<p>○遠距離通学補助金 292千円</p> <table border="1"> <tr> <th>小学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>10人</td> <td>144千円</td> </tr> <tr> <td>宇川</td> <td>10人</td> <td>148千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20人</td> <td>292千円</td> </tr> </table>						小学校名	対象児童数	補助金額	大宮南	10人	144千円	宇川	10人	148千円	計	20人	292千円
小学校名	対象児童数	補助金額																
大宮南	10人	144千円																
宇川	10人	148千円																
計	20人	292千円																
主な財源																		
成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。																	
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																	

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業	決算書	P.140																					
細事業名	01 中学校スクーリング入運行管理事業																										
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実																										
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額																							
	75,815千円	75,937千円	122千円	99.8%	80,905千円																						
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。																										
主要な事務・事業の概要	<p>遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行した。</p> <p>○スクールバス運行管理委託料 74,856千円 ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの。</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山中</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大宮中</td> <td>(1台)</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>網野中</td> <td>3台</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>丹後中</td> <td>2台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>弥栄中</td> <td>1台</td> <td>11台</td> </tr> <tr> <td>久美浜中</td> <td>11台</td> <td>18台(19台)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18台</td> <td>(19台)</td> </tr> </table> <p>○車両維持管理経費 906千円 ・ 需用費(消耗品費、修繕料)</p> <p>○バス停・車庫維持管理経費 53千円 ・ 燃料費、火災保険料</p>						峰山中	1台		大宮中	(1台)	3台	網野中	3台	2台	丹後中	2台	1台	弥栄中	1台	11台	久美浜中	11台	18台(19台)	計	18台	(19台)
峰山中	1台																										
大宮中	(1台)	3台																									
網野中	3台	2台																									
丹後中	2台	1台																									
弥栄中	1台	11台																									
久美浜中	11台	18台(19台)																									
計	18台	(19台)																									
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>繰入金</td> <td>ふるさと応援基金繰入金</td> <td>20,000千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>市営バス乗車料</td> <td>1,305千円</td> </tr> </table>						繰入金	ふるさと応援基金繰入金	20,000千円	使用料	市営バス乗車料	1,305千円															
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	20,000千円																									
使用料	市営バス乗車料	1,305千円																									
成果・課題	<p>○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。</p> <p>○より安全なスクールバスの運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。</p>																										
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																										

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業	決算書	P.140																								
細事業名	03 中学校通学支援事業																													
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実																													
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額																										
	302千円	369千円	67千円	81.8%	369千円																									
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に依りてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																													
主要な事務・事業の概要	<p>○通学用ヘルメット購入補助金 302千円</p> <table border="1"> <tr> <td>中学校名</td> <td>対象生徒数</td> <td>補助金額</td> </tr> <tr> <td>峰山</td> <td>118人</td> <td>148千円</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>49人</td> <td>61千円</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>26人</td> <td>38千円</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>13人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>28人</td> <td>35千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>8人</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>242人</td> <td>302千円</td> </tr> </table>						中学校名	対象生徒数	補助金額	峰山	118人	148千円	大宮	49人	61千円	網野	26人	38千円	丹後	13人	12千円	弥栄	28人	35千円	久美浜	8人	8千円	計	242人	302千円
中学校名	対象生徒数	補助金額																												
峰山	118人	148千円																												
大宮	49人	61千円																												
網野	26人	38千円																												
丹後	13人	12千円																												
弥栄	28人	35千円																												
久美浜	8人	8千円																												
計	242人	302千円																												
主な財源																														
成果・課題	<p>自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。</p>																													
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																													

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校再配置事業	決算書 P.134
細事業名	02 学校再配置推進事業				
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額
	3,348千円	3,427千円	79千円	97.6%	5,360千円
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<p>学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に合った児童の交流学習などを行ってきた。また、開・閉校の実施及び閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。</p> <p>平成30年度開校 しんさん小学校 平成30年度閉校 豊栄小学校、間人小学校</p> <p>○式典関連経費 310千円 ・消耗品費（式典用装飾花、看板等） 310千円</p> <p>○開校準備経費 1,499千円 ・報償費（校章・校歌作成記念品） 90千円 ・需用費（掲出用校旗、校名板修繕等） 138千円 ・手数料（フリーニング代） 4千円 ・委託料（設計委託料、校章等更新業務委託料） 619千円 ・備品購入費（式典用校旗、スチーザー文字幕等） 648千円</p> <p>○閉校記念誌補助金（新山小、丹波小） 1,539千円</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向け取り組み、計画通りの再配置を実現することができた。</p> <p>○引き続き、学校再配置基本計画の後期計画に基づき、地域の状況変化に合わせた計画の見直しを継続するとともに、計画の検証・評価を行う必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

事業名称	再編交付金活用事業			決算額
個別事業名	22 小・中学校情報教育環境整備事業（基金事業）			44,580千円
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	14 使用料及び賃借料	パソコン借上料		44,580千円
決算額の内訳	<p>平成26年度に整備した市内の全小中学校27校（小学校20校、中学校7校）の情報教室パソコン等について、平成30年度分のリース料を支出した。</p> <p>○使用料及び賃借料 44,580千円 ・パソコン等機器更新に係るリース料（全小中学校） ・5年リース＜H27.2.1～R2.1.31＞のうち平成30年度分（12か月分） （更新内訳） パソコン（Windows8.1） 798台 サーバー 28台 プリンタ 35台 授業支援システム 27式 学習用統合ソフト 20式</p> <p><参考> 令和元年度以降のリース料 R元 37,150千円 合計 37,150千円</p>			
主要な事務・事業の概要				
主な財源	繰入金	再編交付金事業基金繰入金	43,755千円	
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

事業名称	再編交付金活用事業								
個別事業名	26 未来を拓く学校教育の充実	事業名	小・中学校情報教育環境整備事業						
総合計画	18 備品購入費	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実						
決算額の内訳	備品購入費	決算額	86,389千円						
主要な事務・事業の概要	<p>市内全小中学校（小学3年生から5年生、中学1年生から3年生）の普通教室及び特別支援教室に、電子黒板及び指導用タブレット型パソコンを導入し、ICTを活用した教育環境の充実を図った。（小学6年生教室は、平成29年度に導入済）</p> <p>○備品購入費（導入内訳）</p> <table border="1"> <tr> <td>タッチパネル式電子黒板（70型）</td> <td>128台</td> </tr> <tr> <td>タブレット型パソコン（指導用）</td> <td>128台</td> </tr> <tr> <td>パソコン画面転送用機器</td> <td>128台</td> </tr> </table> <p>86,389千円</p>			タッチパネル式電子黒板（70型）	128台	タブレット型パソコン（指導用）	128台	パソコン画面転送用機器	128台
タッチパネル式電子黒板（70型）	128台								
タブレット型パソコン（指導用）	128台								
パソコン画面転送用機器	128台								
主な財源	国補	再編交付金	86,300千円						
所管課	教育委員会事務局/学校教育課								

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業			
細事業名	01 小学校施設改修事業						
決算書	P.138						
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	執行率	(参考)当初予算額			
決算額	①最終予算額	②不用額	③-①執行率	(参考)当初予算額			
181,402千円	185,994千円	4,592千円	97.5%	278,584千円			
目的	老朽化している学校施設が多い中、市内小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						
主要な事務・事業の概要	<p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 8,056千円 3,489千円 3,716千円 410千円 441千円 <p>○工事請負費</p> <ul style="list-style-type: none"> 172,655千円 158,553千円 2,333千円 2,504千円 1,142千円 8,123千円 <p>○備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> 691千円 <p>■令和元年度への繰越事業</p> <table border="1"> <tr> <td>大宮南小学校プール改修事業</td> <td>平成31年4月完成</td> <td>4,399千円</td> </tr> </table> <p>参考 繰越明許費を除いた最終予算額 181,595千円</p> <p>実質的な予算執行率 99.8%</p>				大宮南小学校プール改修事業	平成31年4月完成	4,399千円
大宮南小学校プール改修事業	平成31年4月完成	4,399千円					
主な財源	<p>市債 129,700千円</p> <p>市債 41,000千円</p> <p>小学校施設整備事業債（過疎対策債）</p> <p>小学校施設整備事業債（合併特例債）</p>						
成果・課題	<p>○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。</p> <p>○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画（行動計画）に則り、個々の学校施設の現状を把握し、長寿命化計画を作成する必要がある。</p>						
所管課	教育委員会事務局/教育総務課						

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校教育費	06小学校施設管理事業
細事業名	01 小学校施設管理事業			決算書 P.138
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額
	27,852千円	28,351千円	499千円	98.2%
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>11,926千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕費 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕 ○各種検査等手数料 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、殺菌消毒処理手数料 ○建物火災保険料 ○施設保守管理等委託料(16業務) <ul style="list-style-type: none"> ・アマンダ監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備、プール給排水設備保守点検、給食施設消毒等業務、PCB収集運搬等、プール循環点検、雑木伐採、貯水槽保守点検、グリストラップ処理、遊具点検、産業廃棄物処理 ○施設用地借上料 <ul style="list-style-type: none"> ・いさご小学校(童童農園用地ほか 751.22㎡) ○施設修繕のための原材料、消耗品 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド用山土、砂、修繕用木材等 ○網野北小学校芝生化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・芝生肥料、草刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 ○備品購入費 <ul style="list-style-type: none"> ・かぶと山小学校カーテン・ブラインド <p>143千円</p> <p>1,018千円</p> <p>13,686千円</p> <p>150千円</p> <p>254千円</p> <p>554千円</p> <p>121千円</p>			
主な財源	市債			
成果・課題	<p>○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。</p> <p>○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校教育費	03中学校施設整備事業
細事業名	01 中学校施設改修事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額
	18,043千円	30,265千円	12,222千円	59.6%
目的	老朽化している学校施設が多い中、市内中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。			
主要な事務・事業の概要	<p>626千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○維持修繕経費 <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校屋上防水改修工事 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・網野中学校外周塀等改修工事設計業務 ・網野中学校渡廊下改修工事設計業務 ・久美浜中学校高圧ガス開閉器等取替工事設計業務 ・網野中学校管理棟空調設備改修工事設計業務 ○工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> ・網野中学校渡廊下改修工事 ・久美浜中学校高圧ガス開閉器等取替工事 ・峰山中学校プール外周フェンス等改修工事 ・その他工事(6工事) <p>1,623千円</p> <p>382千円</p> <p>421千円</p> <p>421千円</p> <p>399千円</p> <p>15,794千円</p> <p>5,396千円</p> <p>2,177千円</p> <p>1,231千円</p> <p>6,990千円</p>			
主な財源	<p>市債</p> <p>令和元年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網野中学校外周塀等改修事業 平成31年4月完成 ・網野中学校管理棟空調機器改修事業 令和元年5月完成 <p>12,220千円</p> <p>5,130千円</p> <p>7,090千円</p>			
成果・課題	<p>○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。</p> <p>○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画(行動計画)に則り、個々の学校施設の現状を把握し、長寿命化計画を作成する必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	06中学校施設管理事業	決算書	P.140
細事業名	01 中学校施設管理事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
決算	① 最終予算額	10,158千円	205千円	97.9%	10,158千円	
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕 ○各種検査等手数料 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査 ○建物火災保険料 ○施設保守管理等委託料(11業務) <ul style="list-style-type: none"> ・テマント監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、雑木伐採、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理、遊具点検 ○施設用地借上料 ○弥栄中学校(給食棟、テニスコート用地 4,922㎡) ○施設修繕のための原材料、消耗品、ごみ処分費 ・グラウンド用山土、砂、修繕用木材等 					
主な財源	諸収入 市有建物償還借入金					173千円
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/教育総務課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業	決算書	P.138
細事業名	01 小学校管理運営事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
決算	① 最終予算額	144,027千円	2,308千円	98.3%	145,664千円	
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。 ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費(事務用品、用紙、コピー、灯油ほか) ・食糧費、印刷製本費(来客用茶、卒業証書印刷ほか) ・電気代 ・水道料 ・修繕費(印刷機、ブルーヒーター等の修繕) ○役員費 <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 ・手数料(ピアノ調律、ミシン調整、ごみ処理ほか)、保険料 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・プール水質検査委託料 ・作業員業務人材派遣委託料(12校、12人) ・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料 ○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 ・印刷機借上料、コピー機借上料 ○備品購入費 <ul style="list-style-type: none"> ・保健器具、特別支援学級備品、ストーブ、ガス警報器 ほか ○負担金、補助及び交付金 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 					
主な財源						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備や維持管理など、児童が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の列挙的な管理運営に努めていく必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業
細事業名	02 小学校事務補助経費			決算書 P.138
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	不用額 (②-①)	執行率
決算	① 最終予算額	1,353千円	102千円	92.4%
目的	<p>1,251千円 (参考) 当初予算額 1,565千円</p> <p>学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し、学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。</p>			
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校 大宮第一小学校 事務補助 (1人) (1日7時間・週4日勤務)</p> <p>○臨時職員賃金 1,083千円 ○共済費 (社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 168千円</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業
細事業名	01 中学校管理運営事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	不用額 (②-①)	執行率
決算	① 最終予算額	60,635千円	1,022千円	98.3%
目的	<p>59,613千円 (参考) 当初予算額 62,661千円</p> <p>適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。</p>			
主要な事務・事業の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <p>○需用費 45,970千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費 (事務用品、用紙、コピー、灯油ほか) 14,653千円 ・食糧費、印刷製本費 (来客用茶、ちりめん卒業証書ほか) 747千円 ・電気代 22,504千円 ・水道料 7,664千円 ・修繕費 (印刷機、プリンター等の修繕) 402千円 <p>○役員費 2,314千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 1,702千円 ・手数料 (ピアノ調律、クリーニング、ごみ処理ほか) 612千円 <p>○委託料 8,290千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科薬品廃棄処分 46千円 ・作業員業務人材派遣委託料 (4校、5人) 8,244千円 <p>○使用料及び賃借料 256千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 91千円 ・印刷機借上料 165千円 <p>○備品購入費 1,754千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健器具、補聴器、ストープ、特別支援学級用備品ほか 1,029千円 ・負担金、補助金及び交付金 ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 			
主な財源				
成果・課題	<p>○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業	02中学校管理運営事業
細事業名	02 中学校事務補助経費				決算書 P.140
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	執行率	(参考) 当初予算額
	4,831千円	4,916千円	85千円	98.2%	4,902千円
目的	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校 峰山中学校 事務補助 (1人) (1日6時間・週5日勤務) 大宮中学校 事務補助 (1人) (1日6時間・週5日勤務)</p> <p>再配置校 久美浜中学校 事務補助 (1人) (1日6時間・週5日勤務)</p> <p>○臨時職員賃金 4,104千円 ○共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 727千円</p>				
主な財源	市債				
成果・課題	○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。 ○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	02網野給食外管理運営事業	
細事業名	01 網野給食外管理運営事業				決算書 P.150
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	執行率	(参考) 当初予算額
	36,989千円	37,309千円	320千円	99.1%	41,293千円
目的	網野幼稚園、小学校4校(網野北・網野南・島津・橘)、網野中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、心身の健全な発達に寄与する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○臨時職員 13,000千円 給食調理員(11人)、事務補助員(1人) ・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 1,074千円 ・賃金 11,926千円 ○給食調理及び配送関連経費等 10,674千円 ・需用費 1,752千円 燃料費 ポイラ用灯油代、ガス代、配送車燃料 3,421千円 光熱水費 電気料金、水道料金 4,572千円 ・役務費 通信運搬費 電話料金 83千円 検便検査手数料、ごみ持ち込み手数料 123千円 ・委託料 配送車運転委託料(3台のうち1台) 723千円 ○施設及び機器類関連経費等 13,315千円 ・需用費 車両関係修繕料 配送車3台、軽トラック点検修理 420千円 施設設備修繕料 合併浄化槽、空調、調理機器ほか 1,706千円 ・役務費 地下タンク検査手数料、自動車損害保険料ほか 444千円 ・委託料 浄化槽維持管理委託料、電気設備保守点検業務委託料 1,475千円 給食施設消毒委託料、消防用設備保守点検委託料 108千円 ・備品購入費 学校給食用連続式自動揚物機1台 7,236千円 給食配送用コンテナ3台、L型運搬車2台ほか 1,123千円 給食用備品(防水デジタル台ほか、二層シンクほか) 673千円 ・その他 自動車重量税、テレビ受信料、旅費、印刷製本費 130千円</p>				
主な財源	市債 学校給食外管理運営費(過疎対策債) 7,200千円				
成果・課題	○網野地域の幼稚園、小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供することができた。 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	03網野給食センター施設整備事業	P.150
細事業名	01 網野給食センター施設改修事業				
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額
決算	額	① 最終予算額	② 2千円	99.8%	2,000千円
1,498千円	1,500千円				
目的	安全・安心な給食を提供できるよう、網野給食センターの改修工事を行い、適切な施設管理を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>1,498千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> ・網野学校給食センター屋上防水改修工事 				
主な財源					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 〇施設の適切な維持管理により、学校給食運営を円滑に行うことができた。 〇給食センターの老朽化が進む中、施設の計画的な改修等を検討する必要がある。 				
所管課	教育委員会事務局/教育給務課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	04小学校給食管理運営事業	P.150
細事業名	01 小学校給食管理運営事業				
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額
決算	額	① 最終予算額	② 226千円	99.8%	131,884千円
131,013千円	131,239千円				
目的	栄養バランスの取れた給食を提供し、児童の心身の健全な発達に寄与する。				
主要な事務・事業の概要	<p>小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇臨時職員 7人(大宮第一小) 6,573千円 <ul style="list-style-type: none"> ・共済費(社会保険料・労災保険料・雇用保険料) 426千円 ・賃金 6,147千円 〇需用費 13,814千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費・修繕料 1,897千円 ・燃料費 11,917千円 〇役務費 377千円 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料(備品移設手数料・包丁研磨手数料・廃家電処理手数料) 377千円 〇委託料 108,675千円 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理業務委託料(13校) <ul style="list-style-type: none"> ・嶺山小・いざなぎ小・しんざん小・長岡小 6,573千円 ・大宮南小・豊栄小・閩人小・宇川小・吉野小・弥栄小 426千円 ・久美浜小・高龍小・かぶと山小 6,147千円 ・給食調理機器等 1,897千円 ・牛乳冷蔵庫(網野北小・橋小) 11,917千円 ・業務用冷凍庫・冷蔵庫(大宮第一小・大宮南小・弥栄小) 377千円 ・洗米機(嶺山小)ほか 108,675千円 〇負担金 26千円 <ul style="list-style-type: none"> ・全国学校栄養士協議会負担金 12千円 ・京都府学校給食研究会負担金 9千円 ・京都府学校栄養士協議会負担金 5千円 				
主な財源	<p>諸収入 小学校給食調理機器類賃付料 4,524千円</p>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 〇給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 〇民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。 〇安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 				
所管課	教育委員会/学校教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	05中学校給食管理運営事業	50学校給食一般経費
細事業名	01	中学校給食管理運営事業			
総合計画	計画項目	26	未来を拓く学校教育の充実		
決算	①	最終予算額	②	不用額	③-①
	40,302千円	40,447千円	145千円	996%	41,209千円
目的	<p>栄養バランスの取れた給食を提供し、生徒の心身の健全な発達に寄与する。</p> <p>中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。</p> <p>○臨時職員 給食調理員 10人 12,315千円 (峰山中4人、大宮中3人、久美浜中3人) ・共済費(社会保険料・労災保険料・雇用保険料) ・賃金 1,631千円 10,684千円 ○需用費 7,447千円 ・消耗品費・修繕料 1,739千円 ・燃料費 5,708千円 469千円 ○役員費 (備品移設手数料・包丁研磨手数料) 18,198千円 ○委託料 1,827千円 ・給食調理業務委託料(2校) 丹後中・弥栄中 ○備品購入費 ・給食調理機器等 牛乳冷蔵庫・洗米機(峰山中) 校食用冷凍庫・業務用冷凍冷蔵庫・トレイ(大宮中) 消毒保管機(弥栄中) ほか 46千円 ○負担金 30千円 ・全国学校栄養士協議会負担金 3千円 ・京都府学校給食研究会負担金 13千円 ・京都府学校栄養士協議会負担金</p>				
主な財源	<p>諸収入 中学校給食調理機器類貸付料 1,152千円</p>				
成果・課題	<p>○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。</p> <p>○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。</p> <p>○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	50学校給食一般経費
細事業名	01	学校給食一般経費		
総合計画	計画項目	26	未来を拓く学校教育の充実	
決算	①	最終予算額	②	不用額
	1,155千円	1,216千円	61千円	94.9%
目的	<p>学校給食全般における衛生管理の徹底を図るとともに、給食献立の研究を通じ、衛生管理と栄養面での充実や食育の推進を図る。</p> <p>○衛生管理の徹底 1,042千円 学校給食衛生管理基準に基づき給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。 ・消耗品費(消毒液、使い捨て手袋、ペーパータオルほか) 783千円 ・給食調理員等検便検査手数料 254千円 ・給食用食材検査手数料 5千円 ○献立研究会運営 99千円 衛生管理面・栄養面についての研究活動を行った。 ・普通旅費 京都府学校給食衛生管理推進研修会参加 16人 京都府学校給食研究協議大会参加 6人 ○負担金 14千円 ・京都府栄養士会負担金</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。</p> <p>○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安心・安全な学校給食を実施していく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	11災害復旧費	03文教施設災害復旧費	01公立学校施設災害復旧費	01公立学校施設災害復旧事業	決算書	P.152
細事業名	01 公立学校施設災害復旧事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	788千円	最終予算額	789千円	② 不用額	②-① 執行率	998%
目的	平成30年7月豪雨により被災した学校施設の復旧を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>〇I事請負費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久美浜中学校テニスコート法面復旧工事 <p>788千円</p>					
主な財源						
成果・課題	平成30年7月豪雨により久美浜中学校テニスコート法面が崩落する災害が発生したが、復旧することができた。					
所管課	教育委員会事務局/教育総務課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	決算書	P.136																																	
細事業名	01 地域学校協働本部事業																																						
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実																																						
決算	4,325千円	最終予算額	4,366千円	② 不用額	②-① 執行率	990%																																	
目的	<p>「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。</p> <p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇実施期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日 〇実施場所 市内全ての小学校（18校）、中学校（6校）、こども園・幼稚園（6園） 〇地域コーディネーターの配置 6人（配置先：6中学校） 〇ボランティア登録者数 572人（平成30年度新規登録者数42人） 〇広報紙の発行 2回（ボランティア募集、活動報告） 〇ボランティア活動 <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動実績等</th> <th>ボランティア登録者数</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校区</td> <td>118人</td> <td>1,040日</td> <td>3,387人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校区</td> <td>92人</td> <td>263日</td> <td>351人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校区</td> <td>147人</td> <td>733日</td> <td>4,297人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校区</td> <td>74人</td> <td>593日</td> <td>2,989人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校区</td> <td>72人</td> <td>306日</td> <td>614人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校区</td> <td>57人</td> <td>559日</td> <td>4,066人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>※市外12人含</td> <td>572人</td> <td>3,494日</td> <td>15,704人</td> </tr> </tbody> </table> <p>〇地域コーディネーター謝金 3,508千円 〇地域コーディネーター旅費 318千円 〇消耗品、印刷製本費 495千円 〇有料道路通行料 4千円</p>						活動実績等	ボランティア登録者数	活動日数	活動人数(延べ)	峰山中学校区	118人	1,040日	3,387人	大宮中学校区	92人	263日	351人	網野中学校区	147人	733日	4,297人	丹後中学校区	74人	593日	2,989人	弥栄中学校区	72人	306日	614人	久美浜中学校区	57人	559日	4,066人	合計	※市外12人含	572人	3,494日	15,704人
活動実績等	ボランティア登録者数	活動日数	活動人数(延べ)																																				
峰山中学校区	118人	1,040日	3,387人																																				
大宮中学校区	92人	263日	351人																																				
網野中学校区	147人	733日	4,297人																																				
丹後中学校区	74人	593日	2,989人																																				
弥栄中学校区	72人	306日	614人																																				
久美浜中学校区	57人	559日	4,066人																																				
合計	※市外12人含	572人	3,494日	15,704人																																			
主な財源	<p>府補 地域で支える学校教育推進事業補助金（2/3） 2,474千円</p>																																						
成果・課題	〇地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がりが、市民の生きがい作りになっている。 〇地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方の「連携・協働」体制に発展させる必要がある。 〇学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を活かした人材（ボランティア登録者）をより多く確保していく必要がある。																																						
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																						

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	04保育支援事業	決算書	P.94
細事業名	02日用品費等援助事業					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率		(参考) 当初予算額	
	47千円	48千円	1千円	97.9%	138千円	
目的	低所得世帯を対象に日用品、文房具等の購入に要する費用、食事に要する費用、行事への参加に要する費用等の実費徴収額について、費用の一部を助成する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○扶助費（日用品費等援助費） 47千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児童数 2人（2世帯） 4歳児（1号認定児）1人、5歳児（2号認定児）1人 事業費 給食費 42,400円（12か月分）×1人 = 42,400円 教材費・行事費等 2人分 4,930円 計 47,330円 					
主な財源	国補 府補					15千円 15千円
成果・課題	低所得世帯の給食費、教材費、行事への参加に要する費用等の一部を助成することで、対象家庭の経済的負担を軽減することに寄与した。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	50児童福祉総務一般経費	決算書	P.92
細事業名	01児童福祉総務一般経費					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率		(参考) 当初予算額	
	8,090千円	8,243千円	153千円	98.1%	872千円	
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 19千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村少子化児童福祉担当者会議、北・中部7市連絡会議等 ○需用費 531千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車燃料代（3台）及び車検（1台）にかかる修繕費用等 ○役務費 151千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車検費用、自動車損害保険料等 ○使用料及び賃借料 9千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路通行料等 ○償還金利子及び割引料 7,355千円 <ul style="list-style-type: none"> ・過年度子ども・子育て支援交付金等返還金（国補助金分） 6,997千円 ・過年度子どもための教育・保育給付費返還金（府補助金分） 358千円 ○公課費 25千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車重量税（1台） 					
主な財源						
成果・課題	支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に遂行することができた。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	01教育委員会費	50教育委員会一般経費	決算書 P.134
細事業名	01 教育委員会一般経費				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	3,897千円	4,080千円	183千円	95.5%	4,080千円
目的	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会を運営する。				
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員の報酬、会議参集や研修費用及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会6回と協議会2回を開催した。また、各種研修や先進地視察・市内学校視察等の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の報酬（4人） 3,456千円 ○旅費等 <ul style="list-style-type: none"> ・府内教育委員研修大会参加に要する経費 83千円 ・先進地視察研修に要する経費（ハーベスト(株)宮津工場、宮津市立宮津中学校） ※視察テーマ <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食のセンター方式による調理現場の運営及び試食等について ・各種研修、会議出席等市内用務出席に要する経費 ・有料道路通行料 ○負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後地方教育委員会連合会負担金 358千円 				
主な財源					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○各種研修会への参加や管内・管外の視察を実施するなど、幅広い識見を得るための積極的な活動を行うことができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策の提案や教育委員会の意思決定に反映させるため、管内視察等の充実を図る。 				
所管課	教育委員会事務局／教育総務課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	50事務局一般経費	決算書 P.136
細事業名	01 事務局一般経費				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	13,343千円	13,691千円	348千円	97.4%	13,642千円
目的	教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行う。また、給食施設の在り方の調査を実施し、今後の整備方法を検討する。				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局運営に係る経費 5,258千円 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員経費（公用車管理員、産休代替、事務補助各1人） 3,863千円 ・40千円 ・教育委員会活動点検評価謝金（2人） 343千円 ・各種協議会等出張旅費（教育長、職員等） 45千円 ・教育委員会交際費 630千円 ・激励金 ・（スポーツ等の国際大会・全国大会に出場する選手を激励） 337千円 ・書籍、消耗品費ほか ○教育振興計画中間見直しに係る経費 223千円 <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会委員謝金及び費用弁償（3回開催） ○学校給食施設整備調査業務委託 6,048千円 ○公用車の維持管理経費 1,656千円 <ul style="list-style-type: none"> 公用車6台（うち車検2台）の燃料費、保険料、車検等経費 ○各協議会、団体への負担金 158千円 <ul style="list-style-type: none"> 全国都市教育長協議会負担金、近畿都市教育長協議会負担金、定時制通信教育振興会負担金、安全運転管理者講習会負担金等 				
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 府補 2,926千円 諸収入 66千円 未来づくり交付金（学校給食施設整備調査事業） 市有自動車損害共済金 				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会事務局の運営について、経費削減に努めながら円滑な事務執行ができた。 ○平成30年度から2か年かけて教育振興計画の中間見直しをするために策定委員会を3回開催し、成果と課題及び計画実現に向けた進捗確認を行った。 ○老朽化が進む学校給食施設の今後の在り方について協議を進める必要がある。 				
所管課	教育委員会事務局／教育総務課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14学校跡施設管理事業	決算書	P.136																												
細事業名	01 学校跡施設管理事業																																	
総合計画	計画項目 29 効率的・効果的な財政運営																																	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-①	執行率	(参考) 当初予算額																													
	6,627千円	6,682千円	55千円	99.1%	10,153千円																													
目的	学校再配置により閑校となった学校施設の維持管理を行う。																																	
主要な事務・事業の概要	<p>792千円</p> <p>○閉校施設修繕料 (6施設) 漏電、漏水改修、ガラス割れ修繕等を行い、施設の適正管理を図った。 修繕施設：旧五箇小・旧大宮第三小・旧橋小 旧黒部小・旧海部小・旧田村小</p> <p>○維持管理経費 貯水槽法定検査手数料 (容量10m³を超える貯水槽2施設)、建物火災保険料 雑木伐採委託料、貯水槽保守点検</p> <p>○委託料 野間小学校旧校舎解体撤去等工事業実施設計業務</p> <p>○工事請負費 学校跡施設 (旧大宮第三小他) ガードフェンス設置工事 旧海部小学校自動火災報知設備取替工事</p> <p>○構立金 学校跡施設整備基金積立金 建物賃貸借料をもとに国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる 旧大宮第三小学校分 128千円 旧三津小学校分 1,247千円 (単位：千円)</p>																																	
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>平成29年度末現在高</td> <td>①</td> <td>803</td> <td></td> <td></td> <td>平成30年度末現在高</td> <td>①-②+③+④</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>②</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>運用利子</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>④</td> <td>1,375</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>④</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,178</td> </tr> </table> <p>府補 74千円 市債 旧小学校施設解体事業債 (合併特例債) 2,500千円</p>						平成29年度末現在高	①	803			平成30年度末現在高	①-②+③+④	繰入金	②	0			運用利子	③	積立金	④	1,375				④			0				2,178
平成29年度末現在高	①	803			平成30年度末現在高	①-②+③+④																												
繰入金	②	0			運用利子	③																												
積立金	④	1,375				④																												
		0				2,178																												
成果・課題	<p>○学校跡施設の管理を適切に行った。</p> <p>○企業立地推進のため、旧三津小学校を民間企業へ有償貸与し、学校跡施設の有効活用を図った。</p> <p>○利活用が進まない施設については、施設の耐震性及び老朽化の状況等を考慮し、解体も含めて検討する必要がある。</p>																																	
所管課	教育委員会事務局 / 教育総務課																																	

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 晃治
生涯学習課	引野 雅文
子ども未来課	服部 智昭

重点目標	4	豊かな人間性・社会性を育みます
基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ②生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ④各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。 ⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。 ②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 ③いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。 ④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。
3. 家庭・地域の教育力の向上	①各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。 ②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 ③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 ④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。 ⑤地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。 ⑥青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	①子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 ②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し)
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照		CHECK	ACT
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		担当課					
<p>① 小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。</p> <p>② 生命を大切にす心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。</p> <p>③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。</p> <p>④ 各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組みを協働して進めます。</p> <p>⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統かつ一貫性のある指導体制を整備します。</p>							
1	小学校教育推進活動実践事業	学校教育課	2,237	2,063	1,934	現状維持	
国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。							
2	中学校教育推進活動実践事業	学校教育課	1,377	1,082	1,161	現状維持	
国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。							
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		担当課					
<p>① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。</p> <p>② 学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。</p> <p>③ いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。</p> <p>④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。</p>							
3	いじめ防止啓発推進事業	学校教育課	194	158	266	現状維持	
「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合かつ効果的に推進する。							
4	いじめ防止対策等運営事業	学校教育課	212	227	389	現状維持	
いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合かつ効果的に推進する。							
5	指導主事設置事業	学校教育課	9,939	9,934	9,964	現状維持	
非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。							
6	就学支援・教育相談事業	学校教育課	1,724	510	250	現状維持	
児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。							
7	教育支援センター管理運営事業	学校教育課	8,308	8,005	9,544	現状維持	
不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。							
8	小学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	48,324	41,902	39,830	現状維持	
スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。							
9	中学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	44,918	32,243	29,201	現状維持	
スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。							
3. 家庭・地域の教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		担当課					
<p>① 各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にす気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。</p> <p>⑤ 地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。</p> <p>⑥ 青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>							
10	家庭こども相談室事業	子ども未来課	533	1,318	3,058	現状維持	
家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。							
11	家庭教育事業	生涯学習課	1,681	1,841	1,938	現状維持	
子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進するため、発達段階に応じた学習機会を提供し、きめ細やかな家庭教育の支援を実施する。							
12	放課後児童健全育成事業	子ども未来課	166,462	163,785	176,242	現状維持	
保護者の就労等により放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。							

13	子ども放課後対策推進事業	子ども未来課	883	891	948	現状維持
放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。						
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)			担当課			
① 子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。						
② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14 放課後子ども総合プラン事業			子ども未来課			
国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会は、任期満了に伴い、必要な審議等を子ども未来まちづくり審議会にて行うこととした。			0	0	-	統合(整理)
			計	286,792	263,959	274,725

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
				年度		年度		年度
	不登校児童の発生率<小学校>	—	5人/0.16%	H25	0.28	H30	減少させる	R6
	不登校生徒の発生率<中学校>	—	47人/2.49%	H25	3.12	H30	減少させる	R6
	いじめの認知件数/発生率<小学校>	—	386件/12.7%	H25	483件 19.1%	H30	減少させる	R6
	いじめの認知件数/発生率<中学校>	—	189件/10.2%	H25	40件 2.8%	H30	減少させる	R6
	認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25	91.0 (いじめの解消要件が定義されたため、平成30年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	H30	100%	R6
	認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25	95.0 (いじめの解消要件が定義されたため、平成30年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	H30	100%	R6
	いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学校>	%	97.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙小6	H25	98.6	H30	増加させる	R6
	いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙中3	H25	96.1	H30	増加させる	R6
学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学校>	%	93.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙小6	H25	86.2	H30	増加させる	R6	
学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙中3	H25	96.7	H30	増加させる	R6	
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.4 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙小6	H25	93.3 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による)	H30	増加させる	R6	

人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	95.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	98.3 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による)	H30	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	96.3	H30	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	93.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	96.9	H30	増加させる	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《不登校児童生徒の発生率》 不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.37%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組強化が更に必要である。</p> <p>《いじめの認知件数/発生率》 いじめの認知率は、小学生で7.9%、中学校で0.7%増加した。特に小学校低・中学年の認知率が増加傾向にあるが、いじめを積極的に認知し指導しているものと捉えている。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。</p> <p>《認知されたいじめの年度内解消率》 平成30年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果では、小学校で9.0%、中学校で5%が未解消であり、解消要件を踏まえ児童生徒に寄り添った指導を継続している。今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく必要がある。</p> <p>《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校ではほぼ横ばい、中学校では増加し小中学校ともに高い水準を維持している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組みの充実を図る必要がある。</p> <p>《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともに減少したが、全国・府平均に比べて高く、各校園の丁寧な指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、規範意識は確実に高まっている。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。</p> <p>《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学生ではやや減少したものの中学生では増加し、小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。</p> <p>《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、小中一貫教育による交流学習や合同行事などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめ学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある道徳・人権教育の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みパトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書支援員の継続配置と学校図書の充足率向上を図る。

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業	決算書	P.138
細事業名	02 小学校教育推進活動実践事業				決算書	P.138
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考) 当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	233千円	89.8%	2,436千円
2,063千円	2,296千円					
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○教育実践研究指定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ1年生体験入学推進事業 府指定：かぶと山小学校 80千円 <p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 1,131千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 546千円、585千円 <p>○学力向上システム開発校</p> <p>学力向上に係る課題に基づき実践上の取組を設定し、課題を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組む。</p> <p>実施校：長岡小学校 実施年度：平成29年度～30年度（2カ年） 250千円</p> <p>○教育研究事業負担金 250千円</p> <p>○修学旅行引率補助金 352千円</p>					
主な財源	<p>府補 KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3) 364千円</p> <p>府補 ちろすぐ1年生体験入学推進事業補助金(1/2) 40千円</p> <p>府委 学力向上プログラム開発事業費委託金(10/10) 250千円</p>					
成果	<p>○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、児童の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業	決算書	P.140
細事業名	02 中学校教育推進活動実践事業				決算書	P.140
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考) 当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	200千円	84.3%	1,282千円
1,082千円	1,282千円					
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 560千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 406千円、154千円 <p>○和装教育推進事業 155千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒 461人 <p>○教育研究事業負担金 112千円</p> <p>○修学旅行引率補助金 255千円</p>					
主な財源	府補 KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3) 260千円					
成果	<p>○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業	決算書	P.136
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
	158千円	167千円	9千円	94.6%	254千円	
目的	<p>「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となりいじめ防止等の対策を総合的に効果的に推進する。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめ防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。更に、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止講演会講師謝金 50千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年11月7日(水) 会場：アグリセンター大宮 講師：丹後ひらり法律事務所 弁護士 平林美沙子氏 参加者：63人 ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 20千円 いじめ防止啓発グッズ (PRカードシール 小学新1年生用 450枚) 14千円 消耗品費 (講演会花代) 6千円 ○役務費 <ul style="list-style-type: none"> いじめ相談専用電話設置費 26千円 <ul style="list-style-type: none"> フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 <p>相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士</p> <p>※いじめ相談件数：0件</p> <p>○インターネットモラル研修会講師謝金 62千円 開催日：平成30年8月7日(火) 会場：アグリセンター大宮 講師：佛教大学 教育学部 教授 原 清治氏 参加者：43人</p>					
主な財源	教育委員会事務局/学校教育課					
成果	<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した講師中層やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業	決算書	P.136
細事業名	02 いじめ防止対策等運営事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
	227千円	257千円	30千円	88.3%	415千円	
目的	<p>いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめ防止等のための対策を総合的に効果的に推進する。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○いじめ問題対策連絡会議経費 (委員数：21人) 27千円 保育所、幼稚園、こども園及び小中学校におけるいじめ防止の防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。</p> <p>開催日：平成30年8月22日(水) 会場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費 (委員謝金) 24千円 ・旅費 (費用弁償) 3千円</p> <p>○いじめ防止対策等専門委員会経費 (委員数：5人) 200千円 いじめ防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する審議を行った。</p> <p>開催日：第1回 平成30年10月6日(土) 第2回 平成31年3月16日(土) 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 112千円 ・旅費 (費用弁償) 78千円 ・消耗品費 10千円</p>					
主な財源	教育支援体制整備事業補助金 (1/3) 66千円					
成果	<p>○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。また、「京丹後市いじめ防止基本方針」の改定において、専門的な助言を受けた。</p> <p>○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業	決算書	P.134
細事業名	01 指導主事設置事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
執行率	99.9%	2千円	9,936千円	2千円	99.9%	9,879千円
目的	非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性・見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事報酬 (166,500円×4人×12か月) 7,992千円 ○共済費 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料、雇用保険料 1,292千円 ○旅費 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 640千円 ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 10千円 					
主な財源						
成果・課題	<p>学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験に基づいた指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業	決算書	P.136
細事業名	01 就学支援・教育相談事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
執行率	99.0%	5千円	515千円	5千円	99.0%	515千円
目的	児童生徒の不登校など学校不登校の状況を発達検査等により把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるよう支援する。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談事業及び研修の実施 <p>各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスを助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員(臨床心理士)による教育相談や研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会場 大宮庁舎及び各小中学校 ・実施回数 毎月2回(大宮庁舎) ・相談件数 適宜実施(各小中学校) ・教育相談担当者研修(年3回)、心の教室相談員研修(年3回) ・事例研修(各学園の教育支援部会等にて実施) ○教育支援に係る発達検査用紙購入費(需用費) WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等 239千円 ○教育支援に係る発達検査器具借上料(使用料及び貸借料) 日本語版感覚統合検査J-PAN感覚処理・行為機能検査 8千円 ○教育支援に係る発達検査備品購入費(備品購入費) WISC-IV知能検査コンピュータセット 新版K式発達検査2001用具セット 263千円 					
主な財源	府補 未来づくり交付金(就学支援・教育相談事業) 161千円					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談及び研修を実施することによって、不登校などの学校不登校が改善された。 ○児童生徒の教育支援を適切に進める上で必要な発達検査や教育相談の進め方について教員対象の研修を更に行う必要がある。 ○不登校の未然防止、解消のため、教育相談を更に充実させる必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業	決算書	P.140
細事業名	01 中学校スクーラー等設置事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考)当初予算額		
	32,243千円	33,100千円	857千円	97.4%	36,305千円	
目的	スクーラーポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○介護職員 4人 (1日7時間、週5日勤務)</p> <p>○講師 (小中一貫コーディネーター) 6人 (1日7時間45分、週4日勤務)</p> <p>○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 6人 (1日7時間45分、週5日勤務)</p> <p>○部活動指導員 6人 (1日2時間、年間245時間)</p> <p>・臨時職員賃金 27,675千円</p> <p>・共済費 (社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 4,558千円</p> <p>・事務費 (研修会参加旅費) 10千円</p>					
	配置一覧					
	学校名	介護	小中一貫コーディネーター	相談員	部活動指導員	計
	峰山中	0人	1人	1人	1人	3人
	大宮中	0人	1人	1人	1人	3人
	網野中	2人	1人	1人	1人	5人
	丹後中	1人	1人	1人	1人	4人
	弥栄中	0人	1人	1人	1人	3人
	久美浜中	1人	1人	1人	1人	4人
	計	4人	6人	6人	6人	22人
主な財源	府補 部活動指導員配置促進事業補助金 (2/3) 1,243千円					市債 過疎地域自立促進特別事業債 (過疎対策債) 15,600千円
成果・課題	○必要に応じてスクーラーポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。					
	○各校に学校図書館支援加配及び部活動指導員を配置することで、学校図書館の充実並びに部活動の質の向上と部活動担当教諭の負担軽減を図ることができた。					
	○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクーラーポーターの配置に努めていく必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	03家庭こども相談室事業	決算書	P.92
細事業名	01 家庭こども相談室事業					
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考)当初予算額		
	1,318千円	1,507千円	189千円	87.4%	2,325千円	
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援が必要な児童や家庭(育児不安・養育力危惧・不登校等)について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。</p> <p>○事業実績額</p> <p>賃金 臨時職員賃金 943千円</p> <p>旅費 要保護児童対策地域協議会講演会講師旅費 34千円</p> <p>調整担当者研修会・担当者会議等 152千円</p> <p>児童福祉司任用資格認定講習会(1人) 81千円</p> <p>講演会花代・事務用品等 40千円</p> <p>職員対応用携帯電話通話料(2台) 58千円</p> <p>負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金 10千円</p>					
	○京丹後市児童相談等取扱件数					
	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数
	養護	児童虐待	218	性格行動		4
	その他		147	不登校		7
	障害	発達障害	3	適性・育児等		4
	非行	く犯行為等	1	計		384
	○要保護児童対策地域協議会運営状況					
	会議名	回数	会議名	回数		
	代表者・実務者会議	2	ケース検討会議	167		
	ケース進行管理会議	6	講演会(11月10日)	1	参加者	131人
主な財源						
成果・課題	○調整担当者研修・児童福祉司任用資格認定講習を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識の向上に努めた。					
	○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行うことができた。					
	○適切な迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めていくことが必要である。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業	決算書 P.142																														
細事業名	01 家庭教育事業																																		
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																		
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額																															
	1,841千円	1,844千円	99.8%	2,081千円																															
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。																																		
主要な事務・事業の概要	<p>乳幼児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。</p> <p>○子育て講座（講師謝金等） 220千円</p> <table border="1"> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> <tr> <td>乳幼児期子育て講座</td> <td>6回</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>就学前、思春期子育て講座</td> <td>5回</td> <td>337人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11回</td> <td>492人</td> </tr> </table> <p>○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金） 721千円</p> <p>子育て経験者や専門的な知識や経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、子育てに悩みや不安を抱えている親に対して、地域課題に即した子育て支援活動を行った。</p> <p>※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計48人</p> <table border="1"> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>29回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td> <td>12回</td> <td>244人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>10回</td> <td>284人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td> <td>17回</td> <td>263人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68回</td> <td>1,351人</td> </tr> </table> <p>※広報誌発行（全チーム） 発行回数：各1回</p> <p>○京丹後市PTA協議会補助金 900千円</p> <p>府研究大会の開催、市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成 622千円</p> <p>府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）</p>					事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	6回	155人	就学前、思春期子育て講座	5回	337人	合計	11回	492人	事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	29回	560人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	244人	子育て広場	10回	284人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	17回	263人	合計	68回	1,351人
事業	回数	延べ参加者数																																	
乳幼児期子育て講座	6回	155人																																	
就学前、思春期子育て講座	5回	337人																																	
合計	11回	492人																																	
事業	回数	延べ参加者数																																	
子育て交流会	29回	560人																																	
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	244人																																	
子育て広場	10回	284人																																	
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	17回	263人																																	
合計	68回	1,351人																																	
主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）																																		
成果・課題	○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めることができた。																																		
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	02放課後児童健全育成事業	決算書 P.94
細事業名	01 放課後児童健全育成事業				
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額	
	163,785千円	164,145千円	99.7%	167,744千円	
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>保護者の就労等により、放課後や長期休業期等の昼間に家庭保育を受けることのできない小児に通学する児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。</p> <p>○開設状況</p> <p>年間開設日数：280日</p> <p>開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～）</p> <p>年間平均児童数：449人（10か所、12支援単位）</p> <p>（峰山52人・長岡20人・いさなこ41人・大宮56人 □大野①51人・□大野②37人・網野南34人・網野北43人 丹後21人・弥栄26人・久美浜①53人・久美浜②15人）</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等） 5,957千円</p> <p>○委託料（消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等） 8,519千円</p> <p>○放課後児童健全育成事業委託料 147,996千円</p> <p>○工事請負費（峰山・□大野エアコン移設工事等） 521千円</p> <p>○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか） 792千円</p>				
主な財源	<p>放課後児童健全育成事業利用料 19,331千円</p> <p>公有財産使用料 10,904千円</p> <p>子ども・子育て支援交付金（1/3） 15,548千円</p> <p>子ども・子育て支援交付金（1/3） 15,548千円</p> <p>市有自動車損害共済金 85千円</p>				
成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育て就労の両立を支援した。				
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	18子ども放課後対策推進事業	決算書	P.144																		
細事業名	01 子ども放課後対策推進事業																							
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進																							
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額																				
	891千円	908千円	17千円	98.1%	908千円																			
目的	放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																							
主要な事務・事業の概要	<p>○委託料 放課後子ども教室運営委託料 (2カ所) 891千円</p> <p>※事業の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>実施場所</td> <td>網野北小学校区放課後子ども教室</td> <td>網野南小学校区放課後子ども教室</td> </tr> <tr> <td>委託先</td> <td>網野北小学校施設内</td> <td>網野南小学校施設内</td> </tr> <tr> <td>参加児童数</td> <td>延べ716人 (1回平均18人)</td> <td>延べ1,695人 (1回平均42人)</td> </tr> <tr> <td>支援員の数</td> <td>延べ287人 (1回平均7人)</td> <td>延べ381人 (1回平均10人)</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="2">平成30年4月～平成31年3月 (授業のある水曜日の放課後) 40回</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td colspan="2">自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど</td> </tr> </table>						実施場所	網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室	委託先	網野北小学校施設内	網野南小学校施設内	参加児童数	延べ716人 (1回平均18人)	延べ1,695人 (1回平均42人)	支援員の数	延べ287人 (1回平均7人)	延べ381人 (1回平均10人)	実施日	平成30年4月～平成31年3月 (授業のある水曜日の放課後) 40回		活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど	
実施場所	網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室																						
委託先	網野北小学校施設内	網野南小学校施設内																						
参加児童数	延べ716人 (1回平均18人)	延べ1,695人 (1回平均42人)																						
支援員の数	延べ287人 (1回平均7人)	延べ381人 (1回平均10人)																						
実施日	平成30年4月～平成31年3月 (授業のある水曜日の放課後) 40回																							
活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど																							
主な財源	府補 京のまなび教室推進事業費補助金 (2/3) 506千円																							
成果・課題	<p>○子どもたちの安全・安心な活動拠点 (居場所) として放課後子ども教室を開設し、子ども達は異年齢の方と交流し、地域住民の協力を得てさまざまな体験活動を実施することができた。</p> <p>○子ども教室の運営は地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。</p>																							
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																							

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	5	生涯にわたる豊かな学びを支援します
------	---	-------------------

基本的方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することができる環境づくりを進めます。	
-------	---	--

1. 施策の方向性

PLAN

1. 生涯学習の体制づくり	①市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。 ②市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。 ③市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。
2. 人権教育の推進	①人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を推進します。 ②さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。
3. 文化芸術活動の推進	①市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館を拠点として、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実します。 ②関係機関及び団体と連携し、地域の特色を活かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。
4. 社会教育施設の整備充実	①公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。 ②老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市子どもの読書活動第二次推進計画	本市の将来を担う子どもたちが、今後も更に本に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるように、子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進するために策定	平成26年6月	平成26年度～平成30年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 生涯学習の体制づくり	決算額(単位:千円)			事務の改善	
	H29決算額	H30決算額	H31予算額		
主な取り組み				評価を踏まえた今後の方向性	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。 ②市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。 ③市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。					
1 社会教育委員設置事業	生涯学習課	547	410	630	現状維持
社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。					
2 社会教育指導員設置事業	生涯学習課	21,359	21,319	19,033	改善・効率化
生涯学習課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、社会教育の推進体制を整備するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。					
3 成人式開催事業	生涯学習課	1,199	1,179	1,238	現状維持
人生の節目としての式典を開催することによって、成人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする新成人を祝い激励する。					
4 青少年教育事業	生涯学習課	2,392	1,900	1,700	現状維持
将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やさまざまな地域活動への参加を促進することによって、心豊かな人間の基礎づくりを推進する。					
5 高齢者教育事業	生涯学習課	2,481	2,489	2,850	現状維持
高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。					
6 中央公民館管理運営事業	生涯学習課	39,928	39,930	38,969	改善・効率化
地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区(自治)公民館活動を支援し、地区の活性化を推進する					

7	峰山地域公民館管理運営事業	生涯学習課	8,402	9,472	9,469	現状維持
峰山地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。						
8	大宮地域公民館管理運営事業	生涯学習課	572	260	193	現状維持
大宮地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。						
9	網野地域公民館管理運営事業	生涯学習課	427	471	414	現状維持
網野地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。						
10	丹後地域公民館管理運営事業	生涯学習課	7,264	6,308	835	現状維持
丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。						
11	弥栄地域公民館管理運営事業	生涯学習課	18,462	9,022	7,295	現状維持
弥栄地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。						
12	久美浜地域公民館管理運営事業	生涯学習課	1,492	1,336	611	現状維持
久美浜地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。						
13	公民館一般経費	生涯学習課	15,102	15,341	15,304	改善・効率化
地域公民館長の配置に係る経費や公民館職員の研修に係る経費及び公用車の維持管理経費、また、公民館行事に関する保険料などの一般経費。						
14	図書館管理運営事業	生涯学習課	48,630	48,650	74,959	現状維持
生涯学習の拠点として資料の収集、整理、保存、提供を行うことで市民の読書、調査研究等の要求に応えるとともに、各種行事等により幅広い年代の利用者拡大を図る。						
15	社会教育総務一般経費	生涯学習課	2,014	2,718	426	現状維持
社会教育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、女性教育活動団体に対し、その活動を支援するための補助金を交付し生涯学習の振興を図る。						
2. 人権教育の推進			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を推進します。						
② さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。						
16	人権教育事業	生涯学習課	224	211	246	現状維持
人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権尊重の精神の涵養を図る。						
3. 文化芸術活動の推進			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館を拠点として、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実します。						
② 関係機関及び団体と連携し、地域の特色を活かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。						
17	芸術文化事業	生涯学習課	32,050	32,590	33,475	現状維持
市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう芸術・文化を育て、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。						
4. 社会教育施設の整備充実			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。						
② 老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。						
18	地区公民館管理運営事業	生涯学習課	4,668	4,414	4,699	改善・効率化
地域住民への学習及びコミュニティ活動の拠点として地区公民館施設を設置し、生活基盤を支える地区の活性化を目指した活動を支援する。						
19	峰山いさなご施設管理運営事業	生涯学習課	7,550	7,456	7,759	現状維持
林業及び農山村地域の振興とあわせて、工芸品づくりやスポーツ活動による高齢者の介護予防、生きがいづくり及び健康づくりを推進し、生活文化の向上を図る。						
20	マスターズビレッジ管理運営事業	生涯学習課	14,617	15,466	14,965	現状維持
大宮ふれあい工房(陶芸・染身体験施設)、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。						
21	マスターズビレッジ管理運営事業【繰越】	生涯学習課	-	4,805	-	終了・廃止
大宮ふれあい工房「あそびの広場」内に設置した遊具の修繕を実施し、利用者の安全を確保するとともに環境整備に努めた。						
22	たちばな会館管理運営事業	生涯学習課	1,171	1,190	1,199	改善・効率化
地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図る。						
23	網野教育会館管理運営事業	生涯学習課	1,218	1,224	1,268	改善・効率化
人権学習や地域の生涯学習・コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図る。						

24 丹後地域公民館耐震診断事業【再編交付金活用事業】	生涯学習課	-	3,514	-	終了・廃止
	生涯学習及びコミュニティ活動の拠点施設としての耐震性能を確認するため、耐震診断業務を実施した。				
計		231,769	231,675	237,537	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することのできる環境づくりを進めます。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度
	青少年の体験活動事業数	事業	42	H25	55	H30	60	R6
	趣味・教養講座数	事業	29	H25	53	H30	35	R6
	地域課題学習講座数	事業	2	H25	10	H30	10	R6
	高齢者大学の参加者数	人	789	H25	824	H30	1,000	R6
	人権学習会の参加者数	人	820	H25	1,297	H30	1,200	R6
	図書の間貸出冊数(市民1人当たり)	冊	5.2	H25	5.14	H30	7.0	R6
文化協会加盟サークル数	団体	170	H25	157	H30	200	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	▲	<p>《青少年の体験活動事業数》 地域公民館等の事業のほか、京都市や府内大学などの関係機関と連携し事業を実施している。効率的な事業運営の観点から複数の地域公民館が合同で実施する講座もあるため事業数としてはほぼ横ばいである。今後も社会教育団体や学校、地域と連携・協力をしながら学習機会を提供する。</p> <p>《趣味・教養講座数》 市民の自発的な学習を支援し継続的な学習活動を促進することができた。講演会や講座などの学習機会と情報の提供を行うことで、今後も市民生活の向上を図る。</p> <p>《地域課題学習講座数》 各町の公民館連絡協議会を中心に地域の現状把握や課題共有に努め講座が行われているが、今後も社会の変化に対応し学習していく必要がある。また、地域の社会教育や地域活動を推進する拠点である地区公民館の中には担い手不足等の課題を抱えている公民館もあり、地区、公民館、行政が、ともに実態に応じた地域コミュニティのあり方について考える必要がある。</p> <p>《高齢者大学の参加者数》 高齢者大学の運営は定着しつつあるが、教養講座といえども自己完結型で終わるのではなく身につけた学びを地域活動や若い世代に伝えるなど、学びの循環が必要。退職によるライフスタイルの変化や、情報化、加齢に伴う心身の衰えや介護問題など、学習者によって抱える課題が多様化しており、より一層のニーズの把握と、対象者への周知が必要である。</p> <p>《人権学習会の参加者数》 インターネット社会における人権の尊重、外国人の人権問題など、身近な生活の場で直面する課題においても日常生活の習慣として身につけ実践することができるよう学習機会の内容や方法の工夫改善に努める。</p> <p>《図書の年間貸出冊数(市民1人当たり)》 住民一人当たりの貸出数は少し増加し、行事等の開催、企画展示の実施などにより、多様な学習機会の提供に寄与した。しかし、利用者数・貸出点数をみると増加しているとは言えず、今後更に図書館に関心を持ち利用につながるよう、運営・事業開催等工夫が必要。また、図書館整備の中で、資料の貸出しに留まることなく、市民の求める居場所としての空間づくりも検討していく必要がある。</p> <p>《文化協会加盟サークル数》 各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施の総合文化祭を通じて、市民のかたへ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつながるよう協会を支援していく。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	中央公民館体制の再構築の下、公民館体制及び新たな地域コミュニティの在り方について、関係機関等との協議等を進める必要がある。併せて生涯学習社会の中核的施設となる図書館整備を検討するとともに、利用者が主役となる図書館活動を展開する。
	2	講演会の参加者が固定化傾向にあるため、講演の内容について、同和問題など継続的な課題はあるものの、インターネットによる人権侵害や自己実現、幸福追求など新たな人権課題にも目を向けながら、幅広く人権について考える機会を提供していく。
	3	関係団体等と連携し、優れた芸術・文化の鑑賞機会の提供、地域の特色を活かした芸術・文化活動を実施並びに支援するとともに、文化活動を支える人材育成を地道に取り組む。
	4	必要な修繕の実施を行うなど、利用者が安心・安全に利用できる環境を整備し、併せて利便性の向上を図るとともに、「公共施設見直し計画」等に基づく施設の見直しを検討、推進する。

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	02社会教育委員設置事業	決算書	P.142
細事業名	01 社会教育委員設置事業					
総合計画	計画項目		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		(参考)当初予算額	
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	656千円	
	410千円	510千円	100千円	80.3%		
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことにより、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>社会教育委員会を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。</p> <p>＜社会教育委員会議の主な内容＞（3回開催）</p> <p>平成29年度社会教育・社会体育事業の概要</p> <p>平成30年度社会教育・社会体育事業計画・予算、協議課題、意見交換</p> <p>研究課題「公民館体制のあり方について」</p> <p>＜社会教育委員研修事業＞</p> <p>京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月29日：大山崎町）</p> <p>丹後地方社会教育委員連絡協議会総会（8月3日：本市）</p> <p>近畿地区社会教育研究大会（和歌山大会）（9月7日：和歌山市）</p> <p>丹後地方社会教育委員連絡協議会研修会（11月12日：宮津市）</p> <p>丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会への参加（3回）</p>					
主な財源	<p>○社会教育委員報酬 272千円</p> <p>・委員：15人（報酬対象：12人）</p> <p>○旅費（費用弁償、研修事業への参加旅費） 43千円</p> <p>○需用費（研修事業資料代、燃料費） 7千円</p> <p>○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 23千円</p> <p>○負担金、補助及び交付金 65千円</p> <p>・京都府及び丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金</p>					
成果・課題	○社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	03社会教育指導員設置事業	決算書	P.142
細事業名	01 社会教育指導員設置事業					
総合計画	計画項目		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		(参考)当初予算額	
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	21,370千円	
	21,319千円	21,370千円	51千円	99.7%		
目的	生涯学習課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、社会教育の推進体制を整備するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>社会教育事業の計画・立案及び運営や、社会教育関係団体等への指導・助言などを行った。</p> <p>○社会教育指導員の配置 全9人</p> <p>・生涯学習課 1人</p> <p>・峰山地域公民館 2人</p> <p>・大宮地域公民館 1人</p> <p>・網野地域公民館 2人</p> <p>・丹後地域公民館 1人</p> <p>・弥栄地域公民館 1人</p> <p>・久美浜地域公民館 1人</p> <p>○社会教育指導員報酬</p> <p>・月額報酬額166,500円×12か月×9人 17,982千円</p> <p>○共済費 2,960千円</p> <p>・社会保険料 2,801千円</p> <p>・労災保険料 53千円</p> <p>・雇用保険料 106千円</p> <p>○旅費（費用弁償） 377千円</p>					
主な財源						
成果・課題	○社会教育指導員の設置により、各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行うことができ、住民のニーズに即えた社会教育活動を推進することができた。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	04成人式開催事業	決算書	P.142
細事業名	01 成人式開催事業					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額	
	1,179千円	1,229千円	50千円	95.9%	1,229千円	
目的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする青年(新成人)を励み激励する。					
主要な事務・事業の概要	<p><開催概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成31年3月17日(日) ・会場 京都府丹後文化会館 ・対象 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業者659人(男355人、女304人) ・出席者 539人(出席率:81.7%) ・内容 アトラクション:丹後吹奏楽団、京丹後市青少年少女合唱団協議会 式典:二十歳の主張、新成人に贈るメッセージ等 記念品:記念写真、慶弔用ひくさ <p>○報償費 925千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトラクション出演謝金 50千円 ・回会謝金 35千円 ・報償物品(記念写真、慶弔用ひくさ) 840千円 <p>○需用費(消耗品費、燃料費) 29千円</p> <p>○役員費(通信運搬費等) 63千円</p> <p>○使用料及び賃借料(会場借上料等) 162千円</p>					
主な財源						
成果・課題	○新成人とその親が「二十歳の親が」「新成人に贈るメッセージ」を発表する中で、改めてお互いに感謝し、自覚、激励する機会となり、新成人にとって有意義な式典となった。 ○昨年度同様80%を超える出席率を維持することができた。引き続きよりの新成人に参加してもらえよう内容や周知方法を検討する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	05青少年教育事業	決算書	P.142
細事業名	01 青少年教育事業					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額	
	1,900千円	1,900千円	0千円	100.0%	1,900千円	
目的	将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やさまざまな地域活動への参加を促進することによって、心豊かな人間の基礎づくりを推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円</p> <p>青少年が健やかに育つことを推進し、関係団体・機関が連携を強化し、地域社会をあげて育成活動を進めることを目的に、青少年の体験活動やあいさつ運動、夏祭りパトロールなどの取組を実施する組織に対し補助金を交付。</p> <p>○少年少女児童合唱団補助金(4団体×150千円) 600千円</p> <p>音楽を通して自分を表現する力や社会性を身に付けるなど、豊かな心を育む活動を支援する。</p> <p>○地域子ども教室補助金(6団体×150千円) 900千円</p> <p>心豊かでたくましい子どもを育むことを目的に、子ども達の居場所を確保し、様々な体験活動、住民との交流活動等の事業を行う教室に対し補助金を交付。</p>					
主な財源						
成果・課題	○青少年の健やかな成長を支援する体験活動を実施また支援することができた。 ○市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を行う必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	09高齢者教育事業	決算書 P.142																																																								
細事業名	01 高齢者教育事業																																																												
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																																												
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額																																																									
	2,489千円	2,742千円	90.7%	3,000千円																																																									
目的	高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。																																																												
主要な事務・事業の概要	<p>○高齢者大学 824人(平成31年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 ・実施地域 各町(各地域公民館主管) <table border="1"> <thead> <tr> <th>学園</th> <th>一般講座</th> <th>延べ参加者</th> <th>延べ回数</th> <th>延べ参加者</th> <th>講座数</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>8回</td> <td>525人</td> <td>125回</td> <td>1,635人</td> <td>10</td> <td>ちぎり絵、コース、民謡、歌謡等</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>7回</td> <td>259人</td> <td>28回</td> <td>274人</td> <td>7</td> <td>庭木剪定、スマホ・タブレット等</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>10回</td> <td>1,074人</td> <td>203回</td> <td>3,331人</td> <td>12</td> <td>陶芸、水彩画、習字、料理等</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>7回</td> <td>328人</td> <td>54回</td> <td>640人</td> <td>9</td> <td>生け花、詩吟、書道、俳句等</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>8回</td> <td>256人</td> <td>55回</td> <td>650人</td> <td>8</td> <td>絵手紙、エコクラフト、料理等</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>7回</td> <td>382人</td> <td>53回</td> <td>583人</td> <td>8</td> <td>健康、古典文学、スケッチ絵画等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47回</td> <td>2,824人</td> <td>518回</td> <td>7,113人</td> <td>54</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○賞金(受講生送迎業務臨時職員) 176千円 ○報償費(一般講座、趣味講座講師謝金) 1,625千円 ○旅費 13千円 ○需用費(消耗品費、燃料費) 251千円 ○委託料(バス運転委託料) 233千円 ○使用料及び賃借料(会場借上料等) 191千円</p>					学園	一般講座	延べ参加者	延べ回数	延べ参加者	講座数	講座内容	峰山	8回	525人	125回	1,635人	10	ちぎり絵、コース、民謡、歌謡等	大宮	7回	259人	28回	274人	7	庭木剪定、スマホ・タブレット等	網野	10回	1,074人	203回	3,331人	12	陶芸、水彩画、習字、料理等	丹後	7回	328人	54回	640人	9	生け花、詩吟、書道、俳句等	弥栄	8回	256人	55回	650人	8	絵手紙、エコクラフト、料理等	久美浜	7回	382人	53回	583人	8	健康、古典文学、スケッチ絵画等	合計	47回	2,824人	518回	7,113人	54	
学園	一般講座	延べ参加者	延べ回数	延べ参加者	講座数	講座内容																																																							
峰山	8回	525人	125回	1,635人	10	ちぎり絵、コース、民謡、歌謡等																																																							
大宮	7回	259人	28回	274人	7	庭木剪定、スマホ・タブレット等																																																							
網野	10回	1,074人	203回	3,331人	12	陶芸、水彩画、習字、料理等																																																							
丹後	7回	328人	54回	640人	9	生け花、詩吟、書道、俳句等																																																							
弥栄	8回	256人	55回	650人	8	絵手紙、エコクラフト、料理等																																																							
久美浜	7回	382人	53回	583人	8	健康、古典文学、スケッチ絵画等																																																							
合計	47回	2,824人	518回	7,113人	54																																																								
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加費 824千円																																																												
成果・課題	○高齢者大学各種講座の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができ、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と、学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。																																																												
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																																												

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01中央公民館管理運営事業	決算書 P.144																																				
細事業名	01 中央公民館管理運営事業																																								
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																								
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額																																					
	39,930千円	39,976千円	46千円	99.8%	39,976千円																																				
目的	地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区(自治)公民館活動を支援し、地区の活性化を推進する。																																								
主要な事務・事業の概要	<p>研修会の実施、地区公民館活動交付金の交付などにより、地区公民館活動の支援を行った。</p> <p>○公民館職員研修会講師謝金 16千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>平成30年6月28日</th> <th>平成30年11月22日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講演</td> <td>「学校配置と公民館の役割」 の場をどう提供するか</td> <td>「地域の活性化に向けて活動」 の場をどう提供するか</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>五箇地区公民館 尾崎 敏氏</td> <td>下宇川地区公民館 小林 文博氏</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>97人</td> <td>86人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○公民館総合(傷害)保険料(53地区館分) 2,061千円 ○地区公民館活動交付金 37,853千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>地区公民館数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町公民館連絡協議会</td> <td>8館</td> <td>8,231千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町公民館連絡協議会</td> <td>15館</td> <td>6,525千円</td> </tr> <tr> <td>網野町公民館連絡協議会</td> <td>12館</td> <td>8,680千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町公民館連絡協議会</td> <td>5館</td> <td>4,114千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町公民館連絡協議会</td> <td>5館</td> <td>3,481千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町公民館連絡協議会</td> <td>8館</td> <td>6,822千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53館</td> <td>37,853千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※構築内訳 地区別 20,000円×225地区 世帯数割 1,400円×22,752世帯 町割(均等) 250,000円×6町</p>					実施日	平成30年6月28日	平成30年11月22日	講演	「学校配置と公民館の役割」 の場をどう提供するか	「地域の活性化に向けて活動」 の場をどう提供するか	講師	五箇地区公民館 尾崎 敏氏	下宇川地区公民館 小林 文博氏	参加者	97人	86人	内訳	地区公民館数	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8館	8,231千円	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,525千円	網野町公民館連絡協議会	12館	8,680千円	丹後町公民館連絡協議会	5館	4,114千円	弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,481千円	久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,822千円	合計	53館	37,853千円
実施日	平成30年6月28日	平成30年11月22日																																							
講演	「学校配置と公民館の役割」 の場をどう提供するか	「地域の活性化に向けて活動」 の場をどう提供するか																																							
講師	五箇地区公民館 尾崎 敏氏	下宇川地区公民館 小林 文博氏																																							
参加者	97人	86人																																							
内訳	地区公民館数	交付金額																																							
峰山町公民館連絡協議会	8館	8,231千円																																							
大宮町公民館連絡協議会	15館	6,525千円																																							
網野町公民館連絡協議会	12館	8,680千円																																							
丹後町公民館連絡協議会	5館	4,114千円																																							
弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,481千円																																							
久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,822千円																																							
合計	53館	37,853千円																																							
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金 10,000千円 市債 過疎地域自立促進特別事業債(過疎対策債) 25,000千円																																								
成果・課題	○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など、地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○各町公民館連絡協議会の取組により、研修や地区公民館同士の情報交流が行われ、それぞれの事業の活性化を図ることができた。 ○公民館体制及び新たな地域コミュニティの在り方について、関係機関等との協議を進める必要がある。																																								
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																								

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	決算書	P.144																																									
細事業名	01 峰山地域公民館管理運営事業																																														
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額																																										
決算額	① 最終予算額	9,521千円	49千円	99.4%	9,152千円																																										
目的	峰山地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。																																														
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報償費、旅費 71千円 ○ 役員費 420千円 ○ 需用費 4,574千円 ○ 通信運搬費 118千円 ○ 消耗品費 292千円 ○ 手物料、保険料 302千円 ○ 光熱水費 3,686千円 ○ 委託料 4,385千円 ○ 修繕料 491千円 ○ 宿日直業務委託料 2,604千円 ○ その他 105千円 ○ 施設清掃委託料 254千円 ○ 使用料及び賃借料 22千円 ○ Iパ・ター保守点検委託料 531千円 ○ その他 996千円 																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年教育</td> <td>夏休み子ども体験事業</td> <td>10回</td> <td>386人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ハーブガーデン講座</td> <td>15回</td> <td>193人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>花とグリーン講座</td> <td>1回</td> <td>19人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エコラフト講座</td> <td>4回</td> <td>58人</td> <td>24千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>お菓子・パン講座</td> <td>3回</td> <td>23人</td> <td>18千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	夏休み子ども体験事業	10回	386人	-		ハーブガーデン講座	15回	193人	6千円	成人教育	花とグリーン講座	1回	19人	6千円		エコラフト講座	4回	58人	24千円		お菓子・パン講座	3回	23人	18千円											
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																																											
青少年教育	夏休み子ども体験事業	10回	386人	-																																											
	ハーブガーデン講座	15回	193人	6千円																																											
成人教育	花とグリーン講座	1回	19人	6千円																																											
	エコラフト講座	4回	58人	24千円																																											
	お菓子・パン講座	3回	23人	18千円																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大会講座</td> <td>606回</td> <td>17,413人</td> <td>和室Ⅱ</td> <td>423回</td> <td>4,476人</td> </tr> <tr> <td>第1会議室</td> <td>351回</td> <td>3,788人</td> <td>料理実習室</td> <td>101回</td> <td>1,816人</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>390回</td> <td>3,656人</td> <td>第2会議室</td> <td>469回</td> <td>3,667人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>357回</td> <td>6,859人</td> <td>視聴覚室</td> <td>19回</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>和室Ⅰ</td> <td>426回</td> <td>4,420人</td> <td>展示室</td> <td>51回</td> <td>900人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td></td> <td>3,193回</td> <td>47,175人</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	大会講座	606回	17,413人	和室Ⅱ	423回	4,476人	第1会議室	351回	3,788人	料理実習室	101回	1,816人	練習室	390回	3,656人	第2会議室	469回	3,667人	講義室	357回	6,859人	視聴覚室	19回	180人	和室Ⅰ	426回	4,420人	展示室	51回	900人	合計				3,193回	47,175人
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																																											
大会講座	606回	17,413人	和室Ⅱ	423回	4,476人																																										
第1会議室	351回	3,788人	料理実習室	101回	1,816人																																										
練習室	390回	3,656人	第2会議室	469回	3,667人																																										
講義室	357回	6,859人	視聴覚室	19回	180人																																										
和室Ⅰ	426回	4,420人	展示室	51回	900人																																										
合計				3,193回	47,175人																																										
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>使用料</td> <td>峰山地域公民館使用料</td> <td>944千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>峰山地域公民館水道使用料負担金</td> <td>237千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>社会教育事業等参加料</td> <td>48千円</td> </tr> </table>					使用料	峰山地域公民館使用料	944千円	諸収入	峰山地域公民館水道使用料負担金	237千円	諸収入	社会教育事業等参加料	48千円	46千円																																
使用料	峰山地域公民館使用料	944千円																																													
諸収入	峰山地域公民館水道使用料負担金	237千円																																													
諸収入	社会教育事業等参加料	48千円																																													
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○ 引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○ 広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。 ○ 施設の老朽化が進行する中、引き続き経費節減と施設の適正な維持管理に努める必要がある。 																																														
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																														

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	決算書	P.144																																													
細事業名	02 大宮地域公民館管理運営事業																																																		
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額																																														
決算額	① 最終予算額	300千円	40千円	86.6%	300千円																																														
目的	大宮地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な学習・交流機会の充実を図る。																																																		
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報償費（講師謝金等） 78千円 ○ 需用費 166千円 ○ 消耗品費 148千円 ○ 修繕料（印刷機修繕料） 18千円 ○ 使用料及び賃借料（印刷機借上料） 16千円 																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年教育</td> <td>お菓子づくりとお作法教室</td> <td>1回</td> <td>34人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ハッピーハロウィン</td> <td>1回</td> <td>17人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おもしろ科学遊び</td> <td>1回</td> <td>19人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>歌こえ講座</td> <td>6回</td> <td>100人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>かな書道講座</td> <td>5回</td> <td>39人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リフレッシュ・ヨガ講座</td> <td>10回</td> <td>125人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ZUMBA講座</td> <td>10回</td> <td>219人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>花とグリーン講座</td> <td>3回</td> <td>54人</td> <td>6千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	お菓子づくりとお作法教室	1回	34人	12千円		ハッピーハロウィン	1回	17人	-		おもしろ科学遊び	1回	19人	-	成人教育	歌こえ講座	6回	100人	6千円		かな書道講座	5回	39人	18千円		リフレッシュ・ヨガ講座	10回	125人	18千円		ZUMBA講座	10回	219人	18千円		花とグリーン講座	3回	54人	6千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																																															
青少年教育	お菓子づくりとお作法教室	1回	34人	12千円																																															
	ハッピーハロウィン	1回	17人	-																																															
	おもしろ科学遊び	1回	19人	-																																															
成人教育	歌こえ講座	6回	100人	6千円																																															
	かな書道講座	5回	39人	18千円																																															
	リフレッシュ・ヨガ講座	10回	125人	18千円																																															
	ZUMBA講座	10回	219人	18千円																																															
	花とグリーン講座	3回	54人	6千円																																															
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料					46千円																																													
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○ 引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○ 広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。 																																																		
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																																		

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	決算書	P.144																									
細事業名	03 網野地域公民館管理運営事業																														
総合計画	計画項目		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		(参考)当初予算額																										
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																									
471千円		636千円		165千円		74.0%																									
目的	<p>網野地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。</p>																														
主要な事務	<p>○報償費(講師謝金) 60千円 ○需用費 194千円 ・消耗品費 175千円 ・燃料費 19千円 ○役務費(通信運搬費、ごみ持込手数料) 31千円 ○委託料(バス運搬委託料) 99千円 ○使用料及び賃借料 87千円 ・会場借上料 73千円 ・テレビ受信料 14千円</p>																														
事業の概要	<p><社会教育事業></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性教育</td> <td>ヒタミン・ハープ講座</td> <td>4回</td> <td>62人</td> <td>26千円</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>京丹後市歴史探訪講座</td> <td>4回</td> <td>109人</td> <td>49千円</td> </tr> <tr> <td>芸術文化</td> <td>網野町ふれあいコンサート</td> <td>1回</td> <td>460人</td> <td>101千円</td> </tr> <tr> <td>青少年教育</td> <td>網野町ワークエント事業 ユタッコ仲間</td> <td>7回</td> <td>213人</td> <td>71千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	女性教育	ヒタミン・ハープ講座	4回	62人	26千円	成人教育	京丹後市歴史探訪講座	4回	109人	49千円	芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	460人	101千円	青少年教育	網野町ワークエント事業 ユタッコ仲間	7回	213人	71千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																											
女性教育	ヒタミン・ハープ講座	4回	62人	26千円																											
成人教育	京丹後市歴史探訪講座	4回	109人	49千円																											
芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	460人	101千円																											
青少年教育	網野町ワークエント事業 ユタッコ仲間	7回	213人	71千円																											
主な財源	<p>府補 土曜日の教員支援体制構築事業補助金(2/3) 60千円 諸収入 社会教育事業等参加料 10千円</p>																														
成果・課題	<p>○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き継ぎ地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。</p>																														
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																														

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	決算書	P.144																																																		
細事業名	04 丹後地域公民館管理運営事業																																																							
総合計画	計画項目		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		(参考)当初予算額																																																			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																																																		
6,308千円		18,471千円		12,163千円		34.1%																																																		
目的	<p>丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。</p>																																																							
主要な事務	<p>○報償費、旅費 57千円 ○使用料及び賃借料 24千円 ○需用費 3,737千円 ○委託料 2,258千円 ・燃料費 128千円 ・電気設備保守管理委託料 216千円 ・光熱水費 2,984千円 ・公民館受付等業務委託料 1,965千円 ・その他 625千円 ・消防設備保守点検委託料 16千円 ○役務費 232千円 ・バス運搬業務委託料 61千円 ・通信運搬費 101千円 ・手数料、火災保険料 131千円</p>																																																							
事業の概要	<p><社会教育事業></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年教育</td> <td>たんごふささと探検隊</td> <td>3回</td> <td>54人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>少年少女意見発表大会</td> <td>1回</td> <td>240人</td> <td>56千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トレッキング</td> <td>3回</td> <td>46人</td> <td>68千円</td> </tr> </tbody> </table> <p><公民館利用状況> ※平成31年1月～臨時休館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大ホール</th> <th>172回</th> <th>6,554人</th> <th>会議室</th> <th>31回</th> <th>1,107人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1研修室</td> <td>208回</td> <td>3,107人</td> <td>和室</td> <td>114回</td> <td>2,135人</td> </tr> <tr> <td>第2研修室</td> <td>67回</td> <td>1,634人</td> <td>茶室</td> <td>34回</td> <td>333人</td> </tr> <tr> <td>第3研修室</td> <td>21回</td> <td>394人</td> <td>調理実習室</td> <td>19回</td> <td>417人</td> </tr> <tr> <td>第4研修室</td> <td>2回</td> <td>23人</td> <td>合計</td> <td>668回</td> <td>15,704人</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	たんごふささと探検隊	3回	54人	12千円	成人教育	少年少女意見発表大会	1回	240人	56千円		トレッキング	3回	46人	68千円	大ホール	172回	6,554人	会議室	31回	1,107人	第1研修室	208回	3,107人	和室	114回	2,135人	第2研修室	67回	1,634人	茶室	34回	333人	第3研修室	21回	394人	調理実習室	19回	417人	第4研修室	2回	23人	合計	668回	15,704人
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																																																				
青少年教育	たんごふささと探検隊	3回	54人	12千円																																																				
成人教育	少年少女意見発表大会	1回	240人	56千円																																																				
	トレッキング	3回	46人	68千円																																																				
大ホール	172回	6,554人	会議室	31回	1,107人																																																			
第1研修室	208回	3,107人	和室	114回	2,135人																																																			
第2研修室	67回	1,634人	茶室	34回	333人																																																			
第3研修室	21回	394人	調理実習室	19回	417人																																																			
第4研修室	2回	23人	合計	668回	15,704人																																																			
主な財源	<p>令和元年度への繰越事業 丹後地域公民館地盤等調査事業 令和元年5月完了 12,000千円 使用料 丹後地域公民館使用料 30千円</p>				<p>参考 繰越明許費を除いた最終予算額 6,471千円 実質的な予算執行率 97.4%</p>																																																			
成果・課題	<p>○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き継ぎ地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。 ○耐震等改修工事に着手し、地域住民の活動場所の早急な確保に努めるほか、休館中に学習活動が低下しないよう、工夫等に努める必要がある。</p>																																																							
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																																							

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	決算書	P.144																															
細事業名	05 弥栄地域公民館管理運営事業																																				
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																			
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考)当初予算額																																	
9,022千円	9,204千円	182千円	98.0%	10,566千円																																	
目的	弥栄地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。																																				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報償費 42千円 ○ 委託料 3,562千円 ○ 需用費 3,319千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿日直業務委託料 2,604千円 ・ 施設清掃委託料 380千円 ○ 燃料費 59千円 ○ 光熱水費 2,680千円 ○ 修繕料 356千円 ○ その他 224千円 ○ 役員費 564千円 ○ 通信運搬費 72千円 ○ 手数料、保険料 492千円 																																				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷機借上料 293千円 ・ 印刷機借上料 55千円 ・ 土地借上料他 238千円 ○ 工事請負費 1,242千円 ・ 屋内消火栓設備設置工事 																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">青少年教育</td> <td>親子パン教室</td> <td>1回</td> <td>18人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>お菓子づくりとお作法教室</td> <td>1回</td> <td>6人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成人教育</td> <td>剪定講座</td> <td>4回</td> <td>38人</td> <td>24千円</td> </tr> <tr> <td>築38回即歩こう会</td> <td>1回</td> <td>22人</td> <td>20千円</td> </tr> <tr> <td>お菓子教室</td> <td>2回</td> <td>17人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>花とグリーン講座</td> <td>1回</td> <td>13人</td> <td>6千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	親子パン教室	1回	18人	-	お菓子づくりとお作法教室	1回	6人	-	成人教育	剪定講座	4回	38人	24千円	築38回即歩こう会	1回	22人	20千円	お菓子教室	2回	17人	12千円	花とグリーン講座	1回	13人	6千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																																	
青少年教育	親子パン教室	1回	18人	-																																	
	お菓子づくりとお作法教室	1回	6人	-																																	
成人教育	剪定講座	4回	38人	24千円																																	
	築38回即歩こう会	1回	22人	20千円																																	
	お菓子教室	2回	17人	12千円																																	
	花とグリーン講座	1回	13人	6千円																																	
主な財源	<p><公民館利用状況></p> <table border="1"> <tr> <td>和室(1階)</td> <td>101回</td> <td>2,591人</td> <td>大会講室</td> <td>256回</td> <td>4,458人</td> </tr> <tr> <td>和室(2階)</td> <td>87回</td> <td>3,157人</td> <td>小会議室</td> <td>287回</td> <td>7,379人</td> </tr> <tr> <td>大ホール</td> <td>273回</td> <td>12,362人</td> <td>調理実習室</td> <td>83回</td> <td>3,221人</td> </tr> <tr> <td colspan="6">合計</td> </tr> </table> <p>使用料 弥栄地域公民館使用料 84千円 諸収入 社会教育事業等参加料 10千円</p>						和室(1階)	101回	2,591人	大会講室	256回	4,458人	和室(2階)	87回	3,157人	小会議室	287回	7,379人	大ホール	273回	12,362人	調理実習室	83回	3,221人	合計												
和室(1階)	101回	2,591人	大会講室	256回	4,458人																																
和室(2階)	87回	3,157人	小会議室	287回	7,379人																																
大ホール	273回	12,362人	調理実習室	83回	3,221人																																
合計																																					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○ 引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○ 広報の工夫、充実を図る必要がある。 ○ 施設の老朽化が進行する中、引き続き経費削減と施設の適正な維持管理に努める必要がある。 																																				
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	決算書	P.144																												
細事業名	06 久美浜地域公民館管理運営事業																																	
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考)当初予算額																														
1,336千円	1,524千円	188千円	87.6%	1,524千円																														
目的	久美浜地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。																																	
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報償費 67千円 ○ 委託料 68千円 ○ 需用費 1,032千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備委託料 61千円 ・ 除草作業委託料 4千円 ○ 消耗品費 152千円 ○ 燃料費 141千円 ○ 光熱水費 699千円 ○ 修繕料 40千円 ○ その他 224千円 ○ 役員費 564千円 ○ 通信運搬費 72千円 ○ 手数料、保険料 492千円 																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷機借上料 10千円 ・ 印刷機借上料 10千円 ・ 土地借上料他 1千円 ○ 工事請負費 14千円 ・ 屋内消火栓設備設置工事 																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数(延べ)</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">青少年教育</td> <td>夏休み子ども陶芸教室</td> <td>1回</td> <td>19人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Twinびーるエクスサイズ教室</td> <td>2回</td> <td>28人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成人教育</td> <td>グラフィックデザイン講座</td> <td>4回</td> <td>66人</td> <td>28千円</td> </tr> <tr> <td>親子のふるさと教室</td> <td>3回</td> <td>61人</td> <td>21千円</td> </tr> <tr> <td>家庭教育</td> <td>産後ママの身体メンテナンス教室</td> <td>1回</td> <td>30人</td> <td>6千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	参加者数(延べ)	決算額	青少年教育	夏休み子ども陶芸教室	1回	19人	-	Twinびーるエクスサイズ教室	2回	28人	12千円	成人教育	グラフィックデザイン講座	4回	66人	28千円	親子のふるさと教室	3回	61人	21千円	家庭教育	産後ママの身体メンテナンス教室	1回	30人	6千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	参加者数(延べ)	決算額																														
青少年教育	夏休み子ども陶芸教室	1回	19人	-																														
	Twinびーるエクスサイズ教室	2回	28人	12千円																														
成人教育	グラフィックデザイン講座	4回	66人	28千円																														
	親子のふるさと教室	3回	61人	21千円																														
家庭教育	産後ママの身体メンテナンス教室	1回	30人	6千円																														
主な財源	<p><社会教育事業></p> <p>諸収入 社会教育事業等参加料 19千円</p>																																	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○ 引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○ 広報の工夫、充実を図る必要がある。 																																	
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																	

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	50公民館一般経費	決算書	P.144	
総事業名	01 公民館一般経費						
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実						
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①	執行率	
15,341千円		15,399千円	58千円		99.6%		
目的	地域公民館長の配置に係る経費や公民館職員の研修に係る経費及び公用車の維持管理経費、また、公民館行事に関する保険料などの一般経費						
主要な事務・事業の概要	<p>地域公民館長の配置、公民館関係の研修並びに事業に必要な事務経費及び公用車の維持管理に要する経費を支出した。</p> <p>○地域公民館長の配置 ・報酬(166,500円×12か月×6人) 13,894千円 ・共済費 社会保険料、労災保険料、雇用保険料、雇用保険料 1,906千円</p> <p>○旅費 278千円 ○需用費 714千円 全国・近畿・府公民館大会参加等 公民館大会参加経費(資料代)、公民館資料代 公用車燃料、食糧費(来客用お茶)、車検修理代</p> <p>○役員費 236千円 自動車登録手数料、自動車損害保険料 ○委託料 37千円 ハス運転手委託料 ○使用料及び賃借料 104千円 公民館大会参加有料道路通行料・駐車料 AED借上料</p> <p>○負担金 34千円 京都府公民館連絡協議会分担金 ○公課費 44千円 自動車重量税</p>						
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金					61千円	
成果・課題	地域公民館の安定的な運営体制と、公民館職員としての研修機会を確保することができた。						
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課						

予算科目	10教育費	05社会教育費	03図書館費	01図書館管理運営事業	決算書	P.144																																
総事業名	01 図書館管理運営事業																																					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①	執行率																																
48,650千円		48,849千円	199千円		99.5%																																	
目的	生涯学習の拠点として、市民の読書、調査研究等の要求に 대응できるよう、資料の収集、整理、保存、提供を行うとともに、各種行事等により幅広い年代の利用者拡大を図る。																																					
主要な事務・事業の概要	<p>○図書館協議会委員報酬・費用弁償(委員10人、2回開催) 73千円</p> <p>○図書館(2館)、図書室(4室)の管理運営 48,577千円</p> <p>・臨時職員賃金(臨時職員18人及び臨時代行職員) 27,812千円</p> <p>・図書購入費(AV資料含む) 9,279千円</p> <p>・雑誌新聞購入費 1,274千円</p> <p>・図書システム保守料 326千円</p> <p>・図書館専用サイト使用料 1,505千円</p> <p>・その他経費(共済費、旅費、光熱水費、コピー機借上料) 8,381千円</p> <p>空調設備保守点検委託料ほか)</p> <p><利用状況等></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>蔵書数</th> <th>(年度末時点)</th> <th>年間貸出冊数</th> <th>年間貸出者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山図書館</td> <td>80,062点</td> <td>76,635点</td> <td>15,227人</td> </tr> <tr> <td>あみの図書館</td> <td>106,240点</td> <td>112,507点</td> <td>21,483人</td> </tr> <tr> <td>大宮図書室</td> <td>35,693点</td> <td>66,304点</td> <td>11,786人</td> </tr> <tr> <td>弥栄図書室</td> <td>27,165点</td> <td>31,153点</td> <td>6,026人</td> </tr> <tr> <td>丹後図書室</td> <td>27,421点</td> <td>26,313点</td> <td>5,278人</td> </tr> <tr> <td>久美浜図書室</td> <td>28,660点</td> <td>39,248点</td> <td>7,325人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>305,241点</td> <td>352,160点</td> <td>67,125人</td> </tr> </tbody> </table> <p><具体的なサービス内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料(図書・AV資料・雑誌新聞)の収集・整理・保存・貸出 レファレンスサービス(読書案内、利用者の調査研究等の援助) 図書館相互協力(主に京都府内の図書館との資料の貸借) 読み聞かせ、おはなし会、科学あそび教室、大人を対象とした朗読等の行事開催 学校、幼稚園、保育所、こども園等との連携による読書推進事業 						蔵書数	(年度末時点)	年間貸出冊数	年間貸出者数	峰山図書館	80,062点	76,635点	15,227人	あみの図書館	106,240点	112,507点	21,483人	大宮図書室	35,693点	66,304点	11,786人	弥栄図書室	27,165点	31,153点	6,026人	丹後図書室	27,421点	26,313点	5,278人	久美浜図書室	28,660点	39,248点	7,325人	合計	305,241点	352,160点	67,125人
蔵書数	(年度末時点)	年間貸出冊数	年間貸出者数																																			
峰山図書館	80,062点	76,635点	15,227人																																			
あみの図書館	106,240点	112,507点	21,483人																																			
大宮図書室	35,693点	66,304点	11,786人																																			
弥栄図書室	27,165点	31,153点	6,026人																																			
丹後図書室	27,421点	26,313点	5,278人																																			
久美浜図書室	28,660点	39,248点	7,325人																																			
合計	305,241点	352,160点	67,125人																																			
主な財源	補助金 ふるさと応援寄附金 1,300千円 繰入金 ふるさと応援基金繰入金 5,000千円																																					
成果・課題	○6館(室)により市内全域にサービスを行い、市民ニーズを反映した、利用しやすく親しみの持てる図書館に近づけるよう、小中学校との連携、事業の開催など、図書を利用した多様な学習機会の提供を図った。 ○今後も未利用者などへの図書館活動の周知に努めるなど、利用拡大を図る必要がある。 ○丹後図書館の移転整備を進めるとともに、中心となる図書館の在り方について、引き続き検討する必要がある。																																					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	50社会教育総務一般経費	決算書	P.144
細事業名	01 社会教育総務一般経費					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	③-④
	2,718千円	2,763千円	45千円	98.3%		2,902千円
目的	社会教育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、女性教育活動団体に対し、その活動を支援するための補助金を交付し生涯学習の振興を図る。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通旅費（研修会参加等） 27千円 ○ 需用費（消耗品費、修繕費） 163千円 ○ 委託料（事務補助業務人材派遣委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣人数：1人 ・ 派遣期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 ○ 使用料及び賃借料（有料道路通行料） 9千円 ○ 京丹后市連合婦人会活動補助金 361千円 活動内容：避難所運営ゲーム指導、管外研修、講演会、各種ボランティア ほか 					
主な財源	諸収入 市有自動車庫賃借金					61千円
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育関係職員の高質向上を図るための研修機会を確保することができた。 ○ 事務補助業務人材派遣を受け入れることにより、社会教育関連の事務事業を円滑に進めることができた。 ○ 市連合婦人会においては、活動を通じて得た知識・経験等を活かし、さらに地域の活性化・まちづくりにつなげる必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	12人権教育事業	決算書	P.144
細事業名	01 人権教育事業					
総合計画	計画項目 22 人権を尊重するまちづくり					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	③-④
	211千円	244千円	33千円	86.4%		244千円
目的	人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができるとともに、社会の発展に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権尊重の精神の涵養を図る。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権に関する多様な課題について、身近で気軽に参加できる学習機会を設けるとともに、障害者の社会参加、交流を促進する研修会を実施した。 ○ 人権教育研究京丹后市大会 163千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会 実施日 平成30年8月21日 会場：京都府丹後文化会館 演題 「人権教育の裾野～その1～」 講師 演 喜代日 氏（京都府人権教育研究協議会顧問） 参加者 315人 ○ 障害者交流研修会 34千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害者交流研修会 実施日 平成30年6月22日 会場：峰山地域公民館 内容 カローリング体験、ふるしき（リュックサック・帽子づくり）講座 参加者 31人 ・ 聴覚障害者交流研修会 実施日 平成30年11月9日 会場：峰山地域公民館 内容 カローリング体験、踊り「東京五輪音頭-2020-」、グラスアート講座 参加者 37人 ○ その他事務費等 14千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通旅費、消耗品費等 					
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 国補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/2） 11千円 府補 人権問題啓発事業費補助金（1/2） 82千円 府補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/4） 4千円 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権講演会の実施により、市民が人権問題について理解と認識を深める機会とすることができた。 ○ 人権教育は重要であるが、参加者を集めることが難しい傾向にある。時代に合った興味関心を持たれるテーマ等を設定し、市内の各種団体や組織の連携を図るなど、更に多くの市民に人権について考えてもらう機会を提供することが必要である。 					
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	11芸術文化事業	決算書	P.144
細事業名	01 芸術文化事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額		
32,590千円	32,590千円	0千円	100.0%	32,590千円		
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう芸術・文化を育て、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。					
主要な事務	芸術・文化活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実に努めた。					
事業の概要	<p>○京都：Re-Search実行委員会負担金 500千円 アーティスト5人が本市に滞在して地域を調査し、アート作品の構想を立てた。</p> <p>○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円 映画上映やコンサート、公演など多くの事業を実施し、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及に努めた。</p> <p>○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 ・加盟団体 157団体、2,062人 ※平成31年3月末現在 総合文化祭として、「舞台芸術祭」や「総合作品展」を実施したほか、支部事業等を多数実施し、市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動の場を提供した。</p> <p>○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門(7事業)、展示部門(2事業)、セミナー(2事業)を実施した。</p> <p>○小町ろまん短歌大会開催補助金 125千円 ・開催日、会場 平成30年12月2日(日)、アグリセンター大宮 ・短歌投稿 一般の部688首、高校生の部877首、中学生の部1,905首 小学生の部549首 (合計) 4,019首</p> <p>・大会内容 添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・講評 ・参加人数 110人</p> <p>○京丹後郷土芸術祭事業補助金 165千円 ・開催日、会場 平成30年10月21日(日)、京都府丹後文化会館 ・内容 「丹後の祭り」5団体の発表、入場者250人</p>					
主な財源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 285千円					
成果・課題	○子どもから大人まで、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実に努めた。 ○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立した運営に向けて指導していく必要がある。 ○京丹後市文化芸術振興条例制定に伴い、文化芸術に関する施策の総合的、計画的な推進方策等を検討する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	03地区公民館管理運営事業	決算書	P.144																								
細事業名	01 地区公民館管理運営事業																													
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																												
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額																										
4,414千円	4,762千円	348千円	92.6%	4,981千円																										
目的	地域住民への学習及びコミュニティ活動の拠点として地区公民館施設を設置し、生活基盤を支える地区の活性化を目指した活動を支援する。																													
主要な事務	網野地域の地区公民館の施設管理費、経常経費補助金など、維持管理にかかる経費を支出した。																													
事業の概要	<p>○地区公民館施設管理費 480千円 ・地区公民館施設管理委託料(1館分)</p> <p>・地区公民館火災保険料等補助金(7館分) 1,909千円 ・その他地区公民館管理経費(9館分) 2,025千円 報償費(地区公民館管理謝金) 936千円 需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 1,032千円 役員費(通信運搬費、手教料、保険料) 48千円 委託料(消防設備等保守点検) 9千円</p>																													
利用状況	<p>○利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>利用回数</td> <td>利用者数</td> </tr> <tr> <td>大広間</td> <td>135回</td> <td>5,287人</td> </tr> <tr> <td>大会講室</td> <td>118回</td> <td>3,210人</td> </tr> <tr> <td>小会議室</td> <td>143回</td> <td>3,168人</td> </tr> <tr> <td>公民館会議室</td> <td>24回</td> <td>460人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>159回</td> <td>1,208人</td> </tr> <tr> <td>調理室</td> <td>6回</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>585回</td> <td>13,402人</td> </tr> </table>						区分	利用回数	利用者数	大広間	135回	5,287人	大会講室	118回	3,210人	小会議室	143回	3,168人	公民館会議室	24回	460人	和室	159回	1,208人	調理室	6回	69人	合計	585回	13,402人
区分	利用回数	利用者数																												
大広間	135回	5,287人																												
大会講室	118回	3,210人																												
小会議室	143回	3,168人																												
公民館会議室	24回	460人																												
和室	159回	1,208人																												
調理室	6回	69人																												
合計	585回	13,402人																												
主な財源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 285千円																													
成果・課題	○利用者の利便を確保するため、適正に維持管理を行うことにより、施設の機能を維持確保することができた。 ○網野地域には、地区集会所の一部を公民館施設として活用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、市負担の軽減・廃止に向けて調整を図る必要がある。																													
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																													

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	01峰山いさなご施設管理運営事業	決算書	P.146																
細事業名	01 峰山いさなご施設管理運営事業																					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																					
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額																		
	7,456千円	7,584千円	128千円	98.3%	7,584千円																	
目的	林業の振興ほか、スポーツ及びレクリエーション活動による高齢者の介護予防、生さがいづくりを推進し、市民福祉の向上を図る。																					
主要な事務・事業の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持管理を行った。																					
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">＜利用状況＞</th> <th>利用回数</th> <th>利用人数</th> </tr> <tr> <td>林業センター</td> <td>160回</td> <td>2,508人</td> </tr> <tr> <td>いさなご工房</td> <td>288回</td> <td>1,135人</td> </tr> <tr> <td>いさなごコート</td> <td>382回</td> <td>6,773人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>830回</td> <td>10,416人</td> </tr> </table>						＜利用状況＞		利用回数	利用人数	林業センター	160回	2,508人	いさなご工房	288回	1,135人	いさなごコート	382回	6,773人	合計	830回	10,416人
＜利用状況＞		利用回数	利用人数																			
林業センター	160回	2,508人																				
いさなご工房	288回	1,135人																				
いさなごコート	382回	6,773人																				
合計	830回	10,416人																				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理者経費及び臨時職員賃金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理者報酬(1人) 4,681千円 ・ 共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 1,998千円 ・ 臨時職員賃金(2人) 2,301千円 ・ 旅費 45千円 ○ 管理運営経費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料) 2,775千円 ・ 役務費(通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料) 2,269千円 ・ 委託料(消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料) 158千円 ・ 使用料及び賃借料(テレビ受信料、機械器具借上料) 298千円 ・ 50千円 																					
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>使用料</td> <td>峰山林業総合センター-使用料</td> <td>93千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>峰山いさなご工房使用料</td> <td>669千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>峰山いさなごコート使用料</td> <td>239千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>公有財産使用料</td> <td>56千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>峰山林業総合センター-木工教室等材料代、太陽光発電余剰電力料</td> <td>285千円</td> </tr> </table>					使用料	峰山林業総合センター-使用料	93千円	使用料	峰山いさなご工房使用料	669千円	使用料	峰山いさなごコート使用料	239千円	使用料	公有財産使用料	56千円	諸収入	峰山林業総合センター-木工教室等材料代、太陽光発電余剰電力料	285千円		
使用料	峰山林業総合センター-使用料	93千円																				
使用料	峰山いさなご工房使用料	669千円																				
使用料	峰山いさなごコート使用料	239千円																				
使用料	公有財産使用料	56千円																				
諸収入	峰山林業総合センター-木工教室等材料代、太陽光発電余剰電力料	285千円																				
成果・課題	適切な施設管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通じて、市民の学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。																					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																					

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	02アスターヒップ管理運営事業	決算書	P.146																									
細事業名	01 アスターヒップ管理運営事業																														
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																														
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額																											
	15,466千円	15,780千円	314千円	98.0%	14,538千円																										
目的	大宮ふれあい工房(陶芸・染色体験施設等)、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。																														
主要な事務・事業の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持管理を行った。																														
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">＜利用状況＞</th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">ふれあい工房</td> <td>展示室</td> <td>3,612人</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>1,223人</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>973人</td> </tr> <tr> <td>(内体験者数)</td> <td>(649人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">染色体験</td> <td>入場者数</td> <td>1,069人</td> </tr> <tr> <td>(内体験者数)</td> <td>(762人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふれあいスポーツ広場</td> <td>利用者数</td> <td>2,489人</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>7,502人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>16,868人</td> </tr> </table>						＜利用状況＞		利用者数	ふれあい工房	展示室	3,612人	会議室	1,223人	入場者数	973人	(内体験者数)	(649人)	染色体験	入場者数	1,069人	(内体験者数)	(762人)	ふれあいスポーツ広場	利用者数	2,489人	利用者数	7,502人	合計		16,868人
＜利用状況＞		利用者数																													
ふれあい工房	展示室	3,612人																													
	会議室	1,223人																													
	入場者数	973人																													
	(内体験者数)	(649人)																													
染色体験	入場者数	1,069人																													
	(内体験者数)	(762人)																													
ふれあいスポーツ広場	利用者数	2,489人																													
	利用者数	7,502人																													
合計		16,868人																													
	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスターヒップ施設管理運営委託料 <ul style="list-style-type: none"> 委託先：(一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部 10,756千円 ○ 施設維持管理経費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等) 3,191千円 ・ 2,514千円 ・ 役務費(通信運搬費、火災保険料) 119千円 ・ 委託料(電気設備保安管理委託料、卓刈委託料等) 500千円 ・ 使用料及び賃借料(テレビ受信料、清掃用具借上料等) 58千円 ○ 施設修繕工事費(高圧ケーブル改修工事) 1,188千円 ○ 体験事業経費(材料代) 331千円 																														
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>使用料</td> <td>大宮ふれあい工房使用料</td> <td>1,747千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>大宮ふれあい林-那広場使用料</td> <td>274千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>大宮ふれあい工房関係収入</td> <td>44千円</td> </tr> </table>					使用料	大宮ふれあい工房使用料	1,747千円	使用料	大宮ふれあい林-那広場使用料	274千円	諸収入	大宮ふれあい工房関係収入	44千円																	
使用料	大宮ふれあい工房使用料	1,747千円																													
使用料	大宮ふれあい林-那広場使用料	274千円																													
諸収入	大宮ふれあい工房関係収入	44千円																													
成果・課題	○ 陶芸、染色実習室、展示、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進に寄与することができた。 ○ 効率的・効果的な運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、運営方法の見直しなどについて検討する必要がある。																														
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																														

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	02ア79-ア7.ヒ797 管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 ア79-ア7.ヒ797 管理運営事業 (繰越)					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額		
	4,805千円	5,162千円	357千円	93.0%	5,162千円	
目的	部分的な異常があり使用停止としていた「あそびの広場」内の遊具について、必要な修繕を行う。					
主要な事務・事業の概要	<p>○ 需用費 (修繕費) 4,449千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大宮ふれあい工房遊具修繕 (支柱・床板・鉄柵等交換、支柱木材・金物補強、隙間是正、プランコ撤去ほか) <p>○ 委託料 356千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大宮ふれあい工房遊具改修工事実施設計・監理業務委託料 					
主な財源						
成果・課題	遊具を修繕したことにより安心して利用できる環境が整備できた。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	03たちはな会館管理運営事業	決算書	P.146																											
細事業名	01 たちはな会館管理運営事業																																
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額																													
	1,190千円	1,207千円	17千円	98.5%	1,207千円																												
目的	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図る。																																
主要な事務・事業の概要	<p>地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持・管理を行った。</p> <p><利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議室等 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>区分</th><th>利用回数</th><th>利用者数</th></tr> <tr><td>会議室</td><td>56回</td><td>671人</td></tr> <tr><td>料理実習室</td><td>24回</td><td>333人</td></tr> <tr><td>和室1</td><td>91回</td><td>769人</td></tr> <tr><td>和室2</td><td>91回</td><td>769人</td></tr> <tr><td>多目的ホール</td><td>129回</td><td>2,168人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>391回</td><td>4,710人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>開室日数</th><td>245日</td></tr> <tr><th>利用者数</th><td>35人</td></tr> <tr><th>貸出冊数</th><td>210冊</td></tr> </table> <p>○ 施設維持管理費 1,190千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 (消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 645千円 ・ 役員費 (通信運搬費、火災保険料) 65千円 ・ 委託料 (施設管理委託料) 480千円 						区分	利用回数	利用者数	会議室	56回	671人	料理実習室	24回	333人	和室1	91回	769人	和室2	91回	769人	多目的ホール	129回	2,168人	合計	391回	4,710人	開室日数	245日	利用者数	35人	貸出冊数	210冊
区分	利用回数	利用者数																															
会議室	56回	671人																															
料理実習室	24回	333人																															
和室1	91回	769人																															
和室2	91回	769人																															
多目的ホール	129回	2,168人																															
合計	391回	4,710人																															
開室日数	245日																																
利用者数	35人																																
貸出冊数	210冊																																
主な財源	諸収入 たちはな会館光熱水費負担金 315千円																																
成果・課題	○ 地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を進めることができた。 ○ 公共施設見直し計画等に基づき検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き地元の意向を聞きながら進めていく必要がある。																																
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	04網野教育会館管理運営事業	決算書	P.146																								
細事業名	01 網野教育会館管理運営事業																													
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																												
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率		(参考)当初予算額																									
1,224千円	1,264千円	40千円	96.8%		1,264千円																									
目的	人権学習や地域の生涯学習・コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図る。																													
主要な事務・事業の概要	<p>地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持・管理を行った。</p> <p><利用状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1階和室</td> <td>90回</td> <td>1,014人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>2回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>32回</td> <td>124人</td> </tr> <tr> <td>2階和室</td> <td>1回</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>大ホール</td> <td>248回</td> <td>1,818人</td> </tr> <tr> <td>全館</td> <td>18回</td> <td>1,104人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>391回</td> <td>4,079人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○施設維持管理費 1,224千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 536千円 ・役員費（通信運搬費、火災保険料等） 47千円 ・委託料（施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料等） 627千円 ・使用料及び賃借料（テレビ受信料） 14千円 						区分	利用回数	利用者数	1階和室	90回	1,014人	料理実習室	2回	14人	講義室	32回	124人	2階和室	1回	5人	大ホール	248回	1,818人	全館	18回	1,104人	合計	391回	4,079人
区分	利用回数	利用者数																												
1階和室	90回	1,014人																												
料理実習室	2回	14人																												
講義室	32回	124人																												
2階和室	1回	5人																												
大ホール	248回	1,818人																												
全館	18回	1,104人																												
合計	391回	4,079人																												
主な財源																														
成果・課題	<p>○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。</p> <p>○公共施設見直し計画等に基づき検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き地元の意向を聞きながら進めていく必要がある。</p>																													
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																													

事業名称	再編交付金活用事業			決算額	
個別事業名	13 丹後地域公民館耐震診断事業			3,514千円	
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
12 役員費	耐震診断判定手数料				324千円
13 委託料	耐震診断委託料				3,190千円
決算額の内訳					
主要な事務・事業の概要	<p>丹後地域公民館の耐震性能を確認するため、耐震診断業務を実施した。その結果、施設の耐震性能が満たされていないことが判明したため、すみやかに地域公民館と図書室の移転等を実施した。</p> <p>○丹後地域公民館耐震診断経費 3,514千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後地域公民館耐震診断判定料 324千円 ・丹後地域公民館耐震診断業務委託料 3,190千円 <p>■耐震診断結果：s値（構造耐震指標）</p> <p>丹後地域公民館 0.02</p> <p>喫茶店 0.82</p> <p>※s値0.3未満の建物は、「震度6以上の大規模な地震が発生した際に倒壊または崩壊する危険性が高い」とされる。なお、喫茶店は建物全体のs値としては耐震性能を満たしているものの、部分的に耐力を有していないとの結果。</p>				
主な財源					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課				

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保護課	新谷 勝行

重点目標	6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます
基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。 ②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。 ③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。
2. 文化財の保護と活用	①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。 ②京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。 ③京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。 ④古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。
3. 資料館施設の整備充実	①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。 ②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。 ③郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。 ④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	CHECK	ACT
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
①	京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。				
②	子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。				
③	文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。				
1	文化財保護啓発事業	文化財保護課			
	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。		885	-	-
					統合(整理)

2. 文化財の保護と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
<p>① 市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>② 京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③ 京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④ 古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>						
2 市指定文化財等補助金		文化財保護課	2,500	2,000	2,000	現状維持
文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。						
3 史跡等維持管理事業		文化財保護課	1,409	1,357	1,203	現状維持
指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。						
4 遺跡整備事業		文化財保護課	11,371	13,301	31,290	拡大
丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。						
5 遺跡発掘調査等事業		文化財保護課	3,501	4,331	6,249	拡大
発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護・活用につなげる。						
6 遺跡発掘調査等事業【繰越】		文化財保護課	-	2,317	-	縮小
平成29年度より実施した途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画に伴う途中ヶ丘遺跡の試掘調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行することにより文化財保護を図るとともに活用につなげる。						
3. 資料館施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
<p>① 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>② 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③ 郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>						
7 郷土資料館管理運営事業		文化財保護課	9,701	5,981	7,459	拡大
民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。						
8 古代の里資料館管理運営事業		文化財保護課	8,736	9,529	15,561	拡大
郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。						
9 指定管理施設運営事業		文化財保護課	8,346	8,505	8,436	現状維持
琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績) 担当課		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓						
10 文化財保護審議会委員設置事業		文化財保護課	219	191	235	改善・効率化
文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。						
11 文化財保護一般経費		文化財保護課	345	295	397	拡大
文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。						
計			47,013	47,807	72,830	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	1,384	H30	1,700	R6
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	14,730	H30	15,000	R6
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	H30	8	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 文化財セミナー(2回)、京丹後史博士育成講座(10回)、網野銚子山古墳発掘調査現地説明会、「小牧源太郎・上前智祐遺作展～京丹後市が生んだ二人の前衛画家の軌跡～」等の講座・展覧会の参加者(760名)のほか、高齢者大学・出前講座等の対応(29回、624名)があり、29年度末の数字を上回ることができた。魅力ある講座や企画を打ち出し、目標値に近づけるようにしたい。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 旧郷小学校へ移転した郷土資料館が平成30年4月にオープンし、初年度は網野郷土資料館時代と比べて多くの入館者があった。一方で丹後古代の里資料館の入館者は微減し、琴引浜鳴き砂文化館の入館者は2,000人近く減少した。 各館ともに、魅力ある企画を打ち出し、今後の集客増につなげていきたい。</p> <p>《史跡整備》 京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施した。これを踏まえ、30年度より5年計画で整備事業を進めている。30年度は、当該年度の環境整備工事の実施設計および工事を行った。31年度以降も引き続き、実施設計および工事を進める予定である。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	京丹後史博士育成講座、文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な展示、体験事業を開催するとともに、出前講座への積極的な対応も行き、学習する機会の充実を図る。
	2	網野銚子山古墳の整備事業では、墳丘の補修、園路整備、周濠整備のほか、進入道路、駐車場等の整備を行う予定である。これにより、市民や外からの観光客に、日本海側最大の前方後円墳の姿を示し、地域学習や観光スポットとしての活用をはかる。
	3	丹後古代の里資料館、郷土資料館、琴引浜鳴き砂文化館を適切に維持管理するとともに、それぞれ収蔵資料の内容から機能分化し、市民や外からの観光客に、地域学習や観光スポットとしての活用を図る。

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.146
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額
	2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。			
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、府指定・登録文化財補助金該当 14件 2,000千円 ・京都府社寺等文化資料保全補助金該当 (京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの) 5件 833千円 <p>事業対象は神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、郷土芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などで、事業費の総額は、16,523千円であった。</p> <p>※参考 平成29年度事業実績 補助件数 26件 補助金額 2,500千円 事業総額 35,328千円</p>			
主な財源				
成果・課題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。			
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額
	1,357千円	1,451千円	94千円	93.5%
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>○コウノトリモナリング事業報償費 213千円 天然記念物のコウノトリが市内で営巣・産卵したため、監視員を置き観察・記録するとともに巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。 (述べ25日、25人)</p> <p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 928千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、湯舟坂2号墳、竹野神社など15件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 89千円 郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持経費 64千円 火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設) 25千円</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等修繕事業(土地借上、修繕費) 23千円 国・府指定文化財の看板1基(大田南5号墳)の修繕を行った。また従前から設置している看板(比治麻奈為神社案内、月の輪田・清水戸案内、鳴き砂案内)の土地借上料を支出した。</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業(工事請負費) 104千円 国・府指定文化財をもつ大宮売神社への案内看板の設置工事を行った。</p>			
主な財源				
成果・課題	○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。 ○課題として、指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、適時整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。			
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡整備事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	13,301千円		33,761千円	20,460千円	39.3%	53,615千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
主要な業務	<p>国史跡網野鈿子山古墳について、平成23年に策定した「網野鈿子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図りつつ整備を行ったため、史跡整備検討委員会を2回開催した。検討委員会及び文化庁等の指導を受け、平成30年度整備工事予定部分について「網野鈿子山古墳環境整備実施設計」を行い、工事を実施した。</p> <p>なお、平成30年度整備工事は、工法の検討に時間を要し、年度内に工事を完了が見込めなかったため、令和元年度に繰越した。</p>					
事業の概要	<p>○網野鈿子山古墳整備事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬費 13,301千円 ・旅費 118千円 ・業務費 159千円 ・材料費 27千円 ・委託料 793千円 <p>・工事請負費 鈿子山古墳環境整備工事実施設計委託料 2,484千円</p> <p>・工事請負費 鈿子山古墳環境整備工事費(前金払分) 9,720千円</p>					
主な財源	<p>国補 国史重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 6,142千円</p> <p>市債 遺跡整備事業費(過疎対策債) 6,000千円</p>					
成果・課題	史跡整備検討委員会の指導を受け、網野鈿子山古墳の保存を図るとともに、環境整備工事を円滑に進め、必要に応じて実施設計を作成できた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	4,331千円		4,408千円	77千円	98.2%	3,792千円
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。					
主要な業務	<p>整備に先立って網野鈿子山古墳発掘調査を実施した。また開発対応として、府営農業競争力強化基金整備事業に伴う発掘調査、市道整備計画に先立って林・大將軍遺跡の範囲確認調査を実施し、調査報告書を発行したほか、遺跡分布調査を実施した。</p> <p>○網野鈿子山古墳発掘調査 3,497千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成30年5月21日～12月25日 調査補助員賃金、共済費 1,611千円 作業員派遣委託料 1,555千円 需用費 プルシート、写真現像経費等 216千円 旅費 10千円 使用料及び賃借料 役務費 券電機借上、トイレ借上等 105千円 <p>・調査成果 後丹部では良好な状態の心き石や道輪列を確認し、整備のための材料を得た。くひれ部から心き石が良好に残ることを確認した。</p> <p>○女布遺跡発掘調査 509千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成30年7月22日～7月19日 調査補助員賃金、共済費 114千円 作業員派遣委託料 136千円 需用費等 プルシート、写真現像経費、印刷製本費等 84千円 使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上、役務費等 175千円 <p>・調査成果 調査を行った範囲では、あきらかな遺構は見つからなかった。</p> <p>○林・大將軍遺跡発掘調査 209千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成30年9月25日～9月28日 調査補助員賃金、共済費 37千円 需用費等 印刷製本費 29千円 使用料及び賃借料 重機借上 143千円 <p>・調査成果 調査の結果、遺跡の範囲や残存状況を確認できた。</p> <p>○市内遺跡分布調査 116千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成31年1月9日～2月27日 調査補助員賃金、共済費 116千円 					
主な財源	<p>国補 国史重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 2,000千円</p> <p>市債 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4) 1,000千円</p>					
成果・課題	<p>○網野鈿子山古墳の発掘調査では、残りの良い遺構を確認することができ、今後の整備につなげる知見を得た。また、くひれ部の調査は次年度に継続することとなった。</p> <p>○開発に先立って発掘調査、確認調査では、遺跡の範囲や残存状況を確認できた。今後の開発事業との調整のための資料を得た。</p> <p>○市内遺跡分布調査では、将来の開発に備えた補足調査を実施することができ、今後の遺跡地図作成と文化財保護に役立つ知見を得た。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業（線越）					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			執行率	(参考)当初予算額	
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	2,317千円		4,194千円	1,877千円	55.2%	4,194千円
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。					
主要な事務	平成29年度より実施した途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画に伴う途中ヶ丘遺跡の試掘調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行した。					
・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○途中ヶ丘遺跡発掘調査事業 ・現地調査期間 平成30年1月15日～5月2日 需用費 途中ヶ丘遺跡発掘調査報告書印刷製本費 43千円 委託料 途中ヶ丘遺跡発掘調査掘削及び現状復旧業務委託料 2,274千円 ・調査成果 調査地の大部分は、公園造成による盛土であったが、遺跡の中心に近い西側の試掘トレンチでは、調査・工事履歴のない遺物を含む層を確認した。 					
主な財源						
成果・課題	試掘調査の実施および報告書の刊行により、今後計画されるグラウンド整備工事などの開発事業に対し、文化財保護を図りつつ円滑な調整を行うための資料を得ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			執行率	(参考)当初予算額	
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
	5,981千円		6,136千円	155千円	97.4%	7,606千円
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
主要な事務	網野郷土資料館の老朽化に伴い、旧郷小学校校舎へ資料を移転し、平成30年4月に開館した。豊富に残る寄贈を受けた市所蔵の民俗資料を適切に保管・公開するとともに、「戦時中のくらし」や「むかし装い展」、「こどもの前向き」などの企画展示を開催し、文化財の普及啓発活動を行った。また、体験ができるイベントとして「郷土資料館まつり」を行い、周知活動をするとともに、資料館の維持管理運営を行った。					
・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○人件費 1,082千円 ・臨時職員賃金、共済費 2,690千円 臨時職員2人分の賃金七労災保険料 1,064千円 ○維持管理経費 405千円 ・光熱水費 93千円 ・消耗品費、燃料費、印刷製本費 82千円 ・通信運搬費等 344千円 ・機械整備委託料 576千円 ・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等） 52千円 ・修繕料（消防設備不良修繕等） 74千円 ・保険料（火災保険） 2,172千円 ・その他管理経費（コピー機リース料、テレビ受信料） ○旧郷土資料館関係経費 ・工事設計委託料（旧網野郷土資料館解体等費用） 37千円 ○体験用経費 19千円 ・原材料費（体験キット） 18千円 ・報償費（郷土資料館まつり謝礼） 					
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 使用料 郷土資料館入館料 54千円 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○網野郷土資料館から旧郷小学校校舎へ資料等を移転し、「京丹後市立郷土資料館」として平成30年4月に開館した。 ○市内小学生の社会科見学を受け入れを行い、実物に触れさせるなどさまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につなげた。 ○今後、展示物の配置や展示の仕方などを工夫、改善していくことが必要である。 					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		執行率	(参考) 当初予算額	
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-①	執行率	
	9,529千円	9,643千円	114千円	98.8%		9,475千円
目的	郷土の文化遺産に関する住民の関心を高め、文化にふれあひ、歴史を学ぶ機会を提供する。					
主要な事務・事業の概要	<p>市所蔵者古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るため、夏休みの市内小学生入館無料、「新指定文化財」「墓石がでさるまで～中世墓地の展開と近世墓地の成立～」、「丹後震災を描く」と題した企画展示等を開催するとともに、丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成30年度入館者数 3,259人 (平成29年度入館者数 3,491人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人件費 <ul style="list-style-type: none"> 資料館長報酬、共済費、費用弁償 5,744千円 資料館長報酬 2,438千円 資料館員賃金、共済費 3,306千円 臨時職員賃金、共済費 3,680千円 ○維持管理経費 <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費 1,217千円 消耗品費、燃料費、印刷製本費 434千円 通信運搬費等 145千円 機械整備委託料 84千円 施設管理委託料 (浄化槽維持管理、電気設備保守管理等) 535千円 土地借上料 (2,915㎡) 304千円 修繕料 (排水用中ポンプ修繕等) 821千円 保険料 (火災保険) 27千円 その他管理経費 (清掃用具借上・コピー機リース等) 113千円 ○体験用経費 <ul style="list-style-type: none"> 105千円 70千円 35千円 原材料費 (勾玉作り材料及び陶芸体験用材料) 報償費 (窯焼謝礼) 					
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 使用料 531千円 諸収入 17千円 諸収入 94千円 諸収入 182千円 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○考古・歴史資料を紹介する企画展示等を開催し、文化財の普及啓発を図った。 ○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後より一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。 ○開館から20年以上経過しているため、屋内外の設備更新及び屋外施設 (竪穴式住居等) の修繕等が今後の検討課題である。 					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	01 指定管理施設運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		執行率	(参考) 当初予算額	
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-①	執行率	
	8,505千円	8,506千円	1千円	99.9%		8,346千円
目的	<p>琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。</p> <p>鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理制度により、掛津区が管理運営を行っている。教育施設の性格を持つとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。</p> <p>平成30年度入館者数 9,787人 (平成29年度入館者数 11,705人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 7,100千円 ○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び駐車場用地賃借料 1,245千円 ○備品購入費 (事務用パソコン1台) 160千円 					
主な財源						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。一方、観光業者との連携に努めたものの、館への誘客に結びつかなかったため、前年度と比べ入館者減となった。 ○リピーターを含む市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕など市の施設として適正な運営に努める必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会設置事業	決算書	P.146
細事業名	01文化財保護審議会委員設置事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		執行率	(参考)当初予算額	
決算	額	①最終予算額	②不用額	③-①執行率	(参考)当初予算額	
	191千円	218千円	27千円	87.6%	218千円	
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費 132千円 市文化財の指定、市指定文化財の管理・現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため、審議会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 半日×2回(4千円×15人) 116千円 ・費用弁償 1日×1回(7千円×8人) 16千円 <p>○両丹文化財保護連絡協議会の参加経費 59千円 平成30年度は与謝野町で開催。 事前の打ち合わせ会議の出席(平成30年6月18日) 会長1人 当日の協議会(平成30年10月23日)への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 53千円 事前打ち合わせ 半日×1人(4千円×1人) 協議会出席 1日×7人(7千円×7人) ・費用弁償 6千円 					
主な財源						
成果・課題	<p>○文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。</p> <p>○新たな文化財指定について審議を行い、現地調査を行った。次年度以降の指定に向け、審議を進めることができた。</p> <p>○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において報告や意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	決算書	P.146
細事業名	01文化財保護一般経費					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		執行率	(参考)当初予算額	
決算	額	①最終予算額	②不用額	③-①執行率	(参考)当初予算額	
	295千円	325千円	30千円	90.7%	325千円	
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財関係加盟団体経費 70千円 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 40千円 ・全史協近畿地区協議会 10千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 20千円 <p>○文化財収蔵施設維持管理費 76千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費(成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 36千円 ・火災保険料 17千円 ・卓立委託料 23千円 <p>○一般事務経費 149千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 46千円 ・旅費(史跡整備市町村協議会会議出席等) 103千円 					
主な財源						
成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 晃治
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	7	たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 健康な体づくり	<p>①子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。</p> <p>②喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。</p> <p>③食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。</p> <p>④児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。</p> <p>⑤学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。</p>
2. 地域スポーツ活動の推進	<p>①スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。</p> <p>②市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。</p> <p>③市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。</p>
3. 競技力の向上	<p>①学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。</p> <p>②体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。</p> <p>③市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。</p> <p>④青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。</p>
4. 社会体育施設の整備充実	<p>①社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。</p> <p>②社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市スポーツ推進計画	年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正やライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定するもの	平成26年3月	平成26年度～平成29年度	第2次京丹後市スポーツ推進計画(平成30年度～平成39年度)
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力を全ての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
①	子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。				
②	喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。				
③	食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。				
④	児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。				
⑤	学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。				
1	小中一貫教育推進事業《再掲》 学校教育課				
	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。	-	-	-	現状維持

2. 地域スポーツ活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。						
② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。						
③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。						
2	スポーツ推進委員活動事業	生涯学習課	3,160	3,374	4,540	現状維持
市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図る。						
3	保健体育総務一般経費	生涯学習課	287	300	670	現状維持
社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を運営し、市民の声を反映したスポーツ活動の推進を図る。						
4	地域スポーツ推進事業	生涯学習課	9,330	6,163	6,690	現状維持
気軽に親しめるスポーツ大会等を実施するなど、スポーツを通じた市民交流の機会を提供することで、全ての市民の健康の増進や活力ある生活を目指す。						
3. 競技力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。						
② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。						
③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。						
④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。						
5	社会体育団体育成事業	生涯学習課	20,075	20,140	20,029	現状維持
スポーツ団体及び青少年スポーツ教室を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに青少年の健全育成と体力の向上を図る。						
4. 社会体育施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。						
② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。						
6	体育施設管理運営事業	生涯学習課	56,003	48,633	52,024	改善・効率化
市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理運営することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。						
7	体育施設管理運営事業【繰越】	生涯学習課	-	9,126	-	終了・廃止
グラウンド内の部分的陥没が発生した豊栄山村広場グラウンドの原因調査を行い、復旧工事の方策の検討を進める。						
8	社会体育用学校開放施設管理運営事業	生涯学習課	1,717	2,836	1,299	現状維持
地域住民の身近なスポーツ施設である学校体育施設を開放することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。						
9	竹野体育館改修事業【再編交付金活用事業】	生涯学習課	36,118	-	-	終了・廃止
社会体育施設として活用している竹野体育館について、耐震診断の結果、耐震等の改修を行う必要があると判断されたことにより、改修工事を行う。						
10	保健体育施設災害復旧事業	生涯学習課	2,629	697	-	終了・廃止
豪雨及び台風等の自然災害により被災した保健体育施設の災害復旧を行う。						
11	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業	生涯学習課		12,940	291,867	拡大
スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実を推進するため、日本陸連第3種公認陸上競技場として整備を行う。						
12	スポーツ施設整備基金	生涯学習課		560	15,361	拡大
峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業の推進のため、京都府の補助金を財源に基金積立するもの。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	担当課					
13	スポーツイベント推進事業	生涯学習課		11,669	10,227	現状維持
観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。						
14	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業	生涯学習課		6,694	1,844	拡大
2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、スポーツによる地域の活性化を図る。						
15	ワールドマスターズゲームズ関西推進事業	生涯学習課		723	6,156	拡大
ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG関西)関連事業を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、スポーツによる地域の活性化を図る。						
計		129,319	123,855	410,707		

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。							
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
主な目標指標				年度		年度		年度
	朝食を毎日食べる児童の割合<小学校>	%	97.8 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	96.5	H30	100	R6
	朝食を毎日食べる生徒の割合<中学校>	%	91.1 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	92.5	H30	95%以上	R6
	平日、午前7時より前に起きる児童の割合<小学校>	%	88.4 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	89.7 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による)	H30	100	R6
	平日、午前7時より前に起きる生徒の割合<中学校>	%	77.2 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	88.3 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による)	H30	85%以上	R6
	平日、午後11時より前に寝る児童の割合<小学校>	%	91.6 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	96.4 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による	H30	100	R6
	平日、午後11時より前に寝る生徒の割合<中学校>	%	45.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	85.5 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による	H30	50%以上	R6
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中7種目	H25	8種目中4種目	H30	全種目	R6
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中4種目	H25	8種目中3種目	H30	全種目	R6
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6 市民アンケート調査結果	H24	30.6 (参考値)	H30	65.0 (国の目標)	R6
	京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 京都府民総合体育大会結果	H25	4	H30	10	R6
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253 公共施設利用状況調査結果	H24	12,199	H30	13,000	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		<p>《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学生ともにやや減少したが高い水準で推移している。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきている。今後も保護者との連携を更に密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組みを進めていく必要がある。</p> <p>《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》 平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、中学生が4.7%減少したものの小中学生ともに高い水準で推移している。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p> <p>《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》 平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合は、小学生はやや減少したものの中学生では大きく増加し、小中学生ともに高い水準である。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

	○	<p>《小学生（5年生）の体カテスト全国平均以上》 小学校では、握力、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回り、前年度に比べて全国平均を上回る種目が減少した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組み等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。</p> <p>《中学生（2年生）の体カテスト全国平均以上》 中学校では、握力、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回り、前年度に比べて全国平均を上回る種目が減少した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組み等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。</p> <p>《成人の週1回以上のスポーツ実施率》 日常の中にスポーツを取り入れ、健康増進と体力の向上を図るため、スポーツ推進委員を中心に地域でのニュースポーツ教室等を開催するとともに、チャレンジデーイベントに初めて取り組み、気軽にスポーツに接する機会を提供した。 ニュースポーツ教室の参加者は減少傾向にあるため、仕事や家事、育児、介護等でスポーツをすることが難しい世代、また障害者、高齢者に配慮した魅力ある行事の開催とスポーツ教室に関する情報の提供が課題である。</p> <p>《京都府民総合体育大会入賞競技数》 入賞競技数は減少したものの市町村対抗の総合順位は9位となり、前年の11位から順位を上げた。今後は、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を契機とし、競技力の向上を目指す。特に将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。</p> <p>《公共スポーツ施設の利用回数》 スポーツの推進を図るため、積極的に体育施設の開放を行い、利用者の拡大に努めた。平成29年を境に公共施設の利用者は減少傾向にあり、施設の老朽化による機能性の低下や市民のスポーツ種別が多様化したものと推測される。今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりと機会の提供が求められる。</p>
--	---	---

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの基本的な生活習慣を確立させるため、学校園が連携し、発達段階に応じた指導を継続するとともに、丹後学を通じた学習や、地産地消・給食指導など、家庭、地域と連携した食育の取組みを更に推進する。
	2	市民のニーズに合ったスポーツの推進や、各地区の事業やPTA活動への協力を行うなど、多くの方がスポーツに親しめる機会を設ける。また、競技性の高いスポーツについては体育協会と連携し活動する機会を支援する。
	3	京丹后市体育協会へ財政支援を行うことにより、各種スポーツ大会の実施や府民総合体育大会への出場選手の拡大を図り、競技力の向上を目指す。
	4	市内には多くの社会体育施設が点在しているが、地域の大切なコミュニティの場としての役割も大きいと、計画的な施設の修繕を実施する一方、利用が少ない施設の維持管理などについて見直しを行う。
	5	交流人口の増加等、地域活性化を図るため、事業効果の高いスポーツイベントを推進するとともに、東京2020大会、WMG関西に向け、ホストタウンとしての取組、必要な施設整備を推進する。

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	01スポーツ推進委員活動事業	決算書 P.148
細事業名	01 スポーツ推進委員活動事業				
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考)当初予算額	
3,374千円	3,440千円	66千円	98.0%	3,839千円	
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>スポーツ推進委員52人を委嘱し、スポーツ推進のため、住民の求めに即応し、ディック・ウォーキング体験会やニュースポーツ体験会を開催した。また、スポーツの実技指導を行うため、各種研究大会へ参加し、資質向上に努めた。</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノルディック・ウォーキング体験会の開催 (年間34回、326人参加) ・ ニュースポーツ体験会の開催 (ビーチボール/ハレーほか 年間85回、1,191人参加) ・ 地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導 (ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体カテストほか) ・ スポーツ大会への協力 (丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか) <p>○スポーツ推進委員報酬 (市職員1人を除く51人分) 2,538千円</p> <p>○旅費 (スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費) 546千円</p> <p>○需用費 (消耗品費、燃料費) 19千円</p> <p>○役務費 (スポーツ安全保険料) 96千円</p> <p>○委託料 (バス運転委託料) 60千円</p> <p>○使用料及び賃借料 (有料道路通行料、駐車場使用料) 29千円</p> <p>○負担金、補助及び交付金 86千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 46千円 ・ 京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金 18千円 ・ 近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金 22千円 				
主な財源	<p>諸収入 市有自動車損害共済金 162千円</p> <p>諸収入 市有自動車損害賠償金 66千円</p>				
成果・課題	<p>○「ノルディック・ウォーキング」、「ニュースポーツ」の普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。</p> <p>○今後は、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を図る必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)				

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費	決算書 P.148
細事業名	01 保健体育総務一般経費				
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考)当初予算額	
300千円	485千円	185千円	61.8%	256千円	
目的	社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進委員会を開催し、市民の声を反映したスポーツ施策の推進を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>京丹後市スポーツ推進委員会を開催し、「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づくスポーツ推進に関する各種施策の進捗確認等を行った。</p> <p>○スポーツ推進審議会委員報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員：12人、開催回数：1回 (12月18日) 36千円 <p>○旅費 (費用弁償、普通旅費) 6千円</p> <p>○消耗品費 30千円</p> <p>○公用車修繕料 (丹後ウルトラマラソン出動車両) 228千円</p>				
主な財源	<p>諸収入 市有自動車損害共済金 162千円</p> <p>諸収入 市有自動車損害賠償金 66千円</p>				
成果・課題	<p>「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づきスポーツ環境の整備等を推進する一方、一定の方針に基づく施設の見直しを進める必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)				

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01スポーツのまちづくり推進事業	決算書	P.148
細事業名	01 地域スポーツ推進事業					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					(参考)当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率			
	6,163千円	6,303千円	140千円	97.7%	6,614千円	
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>市民を対象とした各種スポーツ大会の実施及び支援を行った。</p> <p>○報償費</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会等審判員謝金 84千円 はしうと杯卓球選手権大会 (12月9日) 参加者113人 18千円 各種スポーツ大会入賞記念品 66千円 京丹後市総合体育大会、弥栄町文化祭駅伝大会、はしうと杯卓球選手権大会 5千円 <p>○旅費 (職員旅費)</p> <ul style="list-style-type: none"> 321千円 <p>○需用費 (消耗品費、燃料費、食糧費)</p> <ul style="list-style-type: none"> 71千円 <p>○役務費 (通信運搬費、手数料)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「京丹後チャレンジ2019」プレイベント (10月31日、参加者 17,245人) 930千円 ○委託料 ・カヌー・スプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会運営委託料 795千円 ・市長杯中学生野球大会開催委託料 (6月2・3日) 市内6校参加 101千円 ・弥栄町文化祭駅伝大会バス運搬委託料 (11月3日) 220人参加 17千円 ・府民総合体育大会バス運搬委託料 (2月10日) 17千円 <p>○使用料及び賃借料 (有料道路使用料)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4千円 <p>○負担金、補助金及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> 4,748千円 <p>○府民総合体育大会 (8月～2月) 15競技参加 1,448千円 ・市民総合体育大会 (9月2日) 23種目 2,000人参加 3,300千円 </p>					
主な財源						
成果・課題	○市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。 ○今後は、障害のある人や配慮が必要な様々な人が参加できるスポーツの普及にも努めた。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)					

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	03社会体育団体育成事業	決算書	P.148
細事業名	01 社会体育団体育成事業					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					(参考)当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率			
	20,140千円	20,256千円	116千円	99.4%	20,429千円	
目的	スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民のスポーツ振興を図るとともに、青少年の健全育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>本市の体育振興の中心的な組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、京丹後市スポーツ少年団に対して、スポーツによる青少年の健全育成の観点から支援を行った。</p> <p>○旅費、需用費、使用料及び賃借料 19千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市体育協会の法人化検討に向けた先進地視察の実施 視察先：綾部市体育協会、亀岡市体育協会、向日市体育協会 <p>○京丹後市体育協会補助金 15,727千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育事業の開催、支援 ・市民総合体育大会 各競技への支援 (年間) 府民総合体育大会 (10月18日) ・広報紙発行 (年3回) <p>○京丹後市スポーツ少年団活動補助金 3,894千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入団体数 : 69団体 ・参加児童生徒数 : 1,535人 ・指導者数 : 361人 <p>○子どもスポーツ推進事業補助金 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助団体 : 京丹後市スポーツ少年団、野村克也杯学童野球大会実行委員会 					
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 3,000千円					
成果・課題	○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○青少年のスポーツ活動への参加促進を引き続き支援するとともに、統括組織としての京丹後市スポーツ少年団の在り方、活動内容等の見直しを検討する必要がある。 ○京丹後市体育協会のさらなる組織強化、効果的な事業実施に向け、法人化等の方策の検討を支援する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)					

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	01体育施設管理運営事業	決算書	P.148																														
細事業名	01 体育施設管理運営事業																																			
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				(参考)当初予算額																														
決算	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																														
48,633千円	49,657千円	1,024千円	97.9%																																	
目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。																																			
主要な	市民がスポーツに親しみやすい環境を整えるため、体育施設の維持管理を行った。																																			
業務	○ 需用費 (消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料)	28,925千円																																		
・	○ 役務費 (通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等)	1,278千円																																		
事業	○ 委託料 (運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等)	15,084千円																																		
の	○ 使用料及び賃借料 (土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料)	575千円																																		
概要	○ 工事請負費 (大宮自然運動公園芝生補修工事ほか5件)	2,398千円																																		
	○ 備品購入費 (テニスネット等)	373千円																																		
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">＜利用状況＞</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>紅葉ヶ丘運動場 (テニスコート)</td> <td></td> <td>483件</td> </tr> <tr> <td>大宮自然運動公園 (グラウンド、テニスコート)</td> <td></td> <td>976件</td> </tr> <tr> <td>大宮社会体育館</td> <td></td> <td>526件</td> </tr> <tr> <td>網野グラウンド (グラウンド、屋内ゲートボール場)</td> <td></td> <td>1,248件</td> </tr> <tr> <td>網野体育センター (体育室、柔・剣道室、テニスコート)</td> <td></td> <td>460件</td> </tr> <tr> <td>丹後社会体育館</td> <td></td> <td>1,601件</td> </tr> <tr> <td>弥栄総合運動公園 (体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場など)</td> <td></td> <td>959件</td> </tr> <tr> <td>久美浜中央運動公園 (グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場など)</td> <td></td> <td>4,097件</td> </tr> <tr> <td>その他の体育施設 (31施設)</td> <td>合計</td> <td>10,355件</td> </tr> </table>						＜利用状況＞		5件	紅葉ヶ丘運動場 (テニスコート)		483件	大宮自然運動公園 (グラウンド、テニスコート)		976件	大宮社会体育館		526件	網野グラウンド (グラウンド、屋内ゲートボール場)		1,248件	網野体育センター (体育室、柔・剣道室、テニスコート)		460件	丹後社会体育館		1,601件	弥栄総合運動公園 (体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場など)		959件	久美浜中央運動公園 (グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場など)		4,097件	その他の体育施設 (31施設)	合計	10,355件
＜利用状況＞		5件																																		
紅葉ヶ丘運動場 (テニスコート)		483件																																		
大宮自然運動公園 (グラウンド、テニスコート)		976件																																		
大宮社会体育館		526件																																		
網野グラウンド (グラウンド、屋内ゲートボール場)		1,248件																																		
網野体育センター (体育室、柔・剣道室、テニスコート)		460件																																		
丹後社会体育館		1,601件																																		
弥栄総合運動公園 (体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場など)		959件																																		
久美浜中央運動公園 (グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場など)		4,097件																																		
その他の体育施設 (31施設)	合計	10,355件																																		
主な	使用料	2,631千円																																		
財	使用料	341千円																																		
源	諸収入	36千円																																		
	諸収入	487千円																																		
	諸収入	145千円																																		
成果	○ 施設の適切な維持管理を行うことで、市民スポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○ スポーツ活動拠点の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。																																			
課題																																				
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)																																			

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	01体育施設管理運営事業	決算書	P.148
細事業名	01 体育施設管理運営事業 (繰越)					
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				(参考)当初予算額
決算	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
9,126千円	10,425千円	1,299千円	87.5%			
目的	グラウンド内の部分的陥没が発生した豊栄山村広場グラウンドの原因調査を行い、利用再開に向けた復旧工事の方策の検討を進める。					
主要な	○ 豊栄山村広場変状地質調査業務委託料					
業務	(地質調査の内容)					
・	機械ボーリング	オールコアボーリング	33,00m			
事業	標準貫入試験		30回			
の	比抵抗法2次元探査		960m			
概要	9,126千円					
主な	9,126千円					
財						
源						
成果	地質調査によりグラウンドの地質、陥没の原因をほぼ把握することができ、対策の検討につながった。					
課題						
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)					

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	02社会体育用学校開放施設管理運営事業	決算書	P.148																																																																																																																																
細事業名	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業																																																																																																																																					
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		執行率	(参考)当初予算額																																																																																																																																	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④	執行率	(参考)当初予算額																																																																																																																																	
	2,836千円	2,963千円	127千円	95.7%	2,044千円																																																																																																																																	
目的	<p>地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。</p> <p>市民がスポーツに親しみやすい環境を整えるため、体育施設の維持管理を行った。</p> <p>○消耗品費 体育館フックス、水銀灯・レフランプ、南京錠等 327千円</p> <p>○修繕料 1,483千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網野中学校大体育館水銀灯等球取替 151千円 ・久美浜中学校体育館照明用ランプ取替え修繕工事 332千円 ・網野北小学校体育館照明球替工事 222千円 ・弥栄中学校体育館電球交換 ほか 778千円 <p>○工事請負費 間人小学校ナイター照明取付工事 1,026千円</p> <p><利用状況></p>																																																																																																																																					
主要な事務・事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>峰山</th> <th>大宮</th> <th>網野</th> <th>丹後</th> <th>弥栄</th> <th>久美浜</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>1,676</td> <td>741</td> <td>1,176</td> <td>375</td> <td>274</td> <td>782</td> <td>5,024</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>620</td> <td>259</td> <td>468</td> <td>313</td> <td>281</td> <td>181</td> <td>2,122</td> </tr> <tr> <td>格技場</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>447</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>447</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>544</td> <td>292</td> <td>192</td> <td>44</td> <td>211</td> <td>149</td> <td>1,432</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>9</td> <td>236</td> <td>104</td> <td>75</td> <td>249</td> <td>116</td> <td>789</td> </tr> <tr> <td>格技場</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>0</td> <td>150</td> <td>26</td> <td>231</td> <td>0</td> <td>78</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="6">施設数 56</td> <td>利用件数 10,299</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td colspan="6">小学校施設使用料</td> <td>1,096千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td colspan="6">中学校施設使用料</td> <td>632千円</td> </tr> </tbody> </table>							峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	体育館	4	2	4	3	2	3	18	利用件数	1,676	741	1,176	375	274	782	5,024	グラウンド	4	2	4	3	2	3	18	利用件数	620	259	468	313	281	181	2,122	格技場	0	0	2	0	0	0	2	利用件数	0	0	447	0	0	0	447	体育館	2	1	1	1	1	1	7	利用件数	544	292	192	44	211	149	1,432	グラウンド	1	1	1	2	1	1	7	利用件数	9	236	104	75	249	116	789	格技場	0	1	1	1	0	1	4	利用件数	0	150	26	231	0	78	485	合計	施設数 56						利用件数 10,299	使用料	小学校施設使用料						1,096千円	使用料	中学校施設使用料						632千円
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																																																																																																															
体育館	4	2	4	3	2	3	18																																																																																																																															
利用件数	1,676	741	1,176	375	274	782	5,024																																																																																																																															
グラウンド	4	2	4	3	2	3	18																																																																																																																															
利用件数	620	259	468	313	281	181	2,122																																																																																																																															
格技場	0	0	2	0	0	0	2																																																																																																																															
利用件数	0	0	447	0	0	0	447																																																																																																																															
体育館	2	1	1	1	1	1	7																																																																																																																															
利用件数	544	292	192	44	211	149	1,432																																																																																																																															
グラウンド	1	1	1	2	1	1	7																																																																																																																															
利用件数	9	236	104	75	249	116	789																																																																																																																															
格技場	0	1	1	1	0	1	4																																																																																																																															
利用件数	0	150	26	231	0	78	485																																																																																																																															
合計	施設数 56						利用件数 10,299																																																																																																																															
使用料	小学校施設使用料						1,096千円																																																																																																																															
使用料	中学校施設使用料						632千円																																																																																																																															
主な財源	600千円																																																																																																																																					
成果・課題	<p>平成30年7月豪雨及び台風被害からの復旧工事を行うことにより、スポーツ・レクリエーション環境の維持整備を行うことができた。</p>																																																																																																																																					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)																																																																																																																																					

予算科目	11災害復旧費	03文教施設災害復旧費	03保健体育施設災害復旧費	01保健体育施設災害復旧事業	決算書	P.152
細事業名	01 保健体育施設災害復旧事業					
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		執行率	(参考)当初予算額	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④	執行率	(参考)当初予算額	
	697千円	697千円	0千円	100.0%	0千円	
目的	<p>平成30年7月豪雨及び台風24号により被災した大宮自然運動公園の復旧を図るもの。</p> <p>○工事請負費 697千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮自然運動公園園路法面復旧工事 (平成30年7月豪雨、台風7号) 535千円 ・大宮自然運動公園園路法面復旧工事 (平成30年台風24号) 162千円 					
主要な事務・事業の概要	<p>市債 保健体育施設災害復旧事業債 600千円</p>					
主な財源	600千円					
成果・課題	<p>平成30年7月豪雨及び台風被害からの復旧工事を行うことにより、スポーツ・レクリエーション環境の維持整備を行うことができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)					

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業	決算書	P.128
細事業名	02 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額		
	12,940千円	22,600千円	9,660千円	57.2%	0千円	
目的	第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」等を推進するため、日本陸連第3種公認陸上競技場として整備する。					
主要な事務・事業の概要	<p>陸上競技場及び附属施設の改修に向け、必要となる設計及び測量等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第3種公認陸上競技場改修整備 <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場改修工事設計業務 7,981千円 ・地形測量業務 5,638千円 ・基本図面作成業務 2,268千円 ○附属施設等改修整備 <ul style="list-style-type: none"> ・附属施設等改修工事実施設計業務 4,949千円 (既存屋外トイレ及び管理棟改修、公共下水道接続、東側駐車場防犯灯設置) 4,841千円 ・新築工事に係る敷地図作成及び面積確認業務 108千円 ○その他経費 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門図書購入 (送料含む) 					
主な財源	市債			都市公園整備事業債 (過疎対策債)		
				12,800千円		
成果・課題	日本陸連第3種公認陸上競技場に必要となる改修等に係る設計及び測量等を計画的に実施した。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)					

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	03スポーツ施設整備基金	決算書	P.148									
細事業名	01 スポーツ施設整備基金														
総合計画	計画項目 29 効率的・効果的な行政運営														
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額											
	560千円	560千円	0千円	100.0%	0千円										
目的	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業の推進にあたり、京都府の補助金をスポーツ施設整備基金に積み立てるもの。														
主要な事務・事業の概要	<p>○スポーツ施設整備基金横立金 560千円 (単位:千円)</p> <p>(参考) 基金の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>平成29年度末現在高</td> <td>平成30年度中増減額</td> <td>平成30年度末現在高</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>繰入金 ② 運用利子 ③ 横立金 ④</td> <td>①-②+③+④</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0 0 560</td> <td>560</td> </tr> </table> <p>※平成31年2月 京丹後市スポーツ施設整備基金条例制定</p>						平成29年度末現在高	平成30年度中増減額	平成30年度末現在高	①	繰入金 ② 運用利子 ③ 横立金 ④	①-②+③+④		0 0 560	560
平成29年度末現在高	平成30年度中増減額	平成30年度末現在高													
①	繰入金 ② 運用利子 ③ 横立金 ④	①-②+③+④													
	0 0 560	560													
主な財源	府補			広域的スポーツ施設充実支援事業補助金 (1/3)											
				560千円											
成果・課題	スポーツ施設の整備のための基金を造成し、積立を行った。														
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課 (スポーツ推進室)														

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	02国際スポーツ推進事業	決算書	P.148
細事業名	02ワールドマスターズゲームズ関西推進事業					
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額		
723千円	754千円	31千円	95.8%	1,534千円		
目的	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMIG)の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり並びに地域の活性化を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>WMIGの開催に向け、競技運営に係る情報収集や大会運営に必要な施設整備のため、視察調査や国際力又一連盟の視察受入れを行うとともに、情報発信のための啓発チラシを作成した。</p> <p>○WMIG啓発チラシ(日本語版・英語版)作成 ・印刷製本費 39千円 ・リーフレット作成委託料 313千円 352千円</p> <p>○WMIG審判養成講習会(11月2日～4日、5人参加) ・旅費(費用弁償、特別旅費) 124千円 ・需用費(燃料費) 3千円 127千円</p> <p>○国際力又一連盟会長視察受入れ等 ・旅費(普通旅費) 46千円 ・需用費(消耗品費) 7千円 ・使用料及び賃借料(有料道路通行料) 19千円 72千円</p> <p>○WMIG京都府実行委員会負担金 172千円</p>					
主な財源						
成果・課題	<p>○大会視察等を行い、競技運営に必要な情報、設備等について確認することができた。</p> <p>○審判養成講習会の中で、審判員としての技能習得に加え、障害者スポーツについての知識を習得し、今後の大会運営等で役立てることが可能となった。</p> <p>○市内における大会の周知・啓発及び国内外に向けた大会情報等の発信を強化する必要がある。</p> <p>○力又一競技場内の施設・設備の改修など、計画的に環境整備を進める必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課(スポーツ推進室)					